

奄美群島国立公園（仮称）

指 定 書
及 び
公 園 計 画 書

（環境省原案）

平成 年 月 日

環 境 省

奄美群島国立公園（仮称）

指 定 書

（環境省原案）

平成 年 月 日

環 境 省

目 次

1	奄美群島国立公園（仮称）の指定理由	1
2	地域の概要	3
	（1）景観の特性	3
	ア 地形・地質	3
	イ 植生	4
	ウ 野生動植物	5
	エ 海域	7
	オ 文化景観	7
	（2）利用の現況	8
	（3）社会経済的背景	9
	ア 土地所有別	9
	イ 人口及び産業	9
	ウ 権利制限関係	10
3	公園区域	18

1 奄美群島国立公園（仮称）の指定理由

① 景観（同一風景中、我が国の風景を代表する傑出した自然の風景地）

奄美群島は鹿児島県の南部に位置し、奄美大島、加計呂麻島、請島、与路島、喜界島、徳之島、沖永良部島及び与論島等の島嶼で構成される地域である。当該地域は、世界的にも数少なく国内では最大規模の亜熱帯照葉樹林、日本列島の形成過程を反映して形成されたこれらの島々の地史を背景に生息・生育する固有動植物及び希少動植物、世界有数の速度で今も隆起するサンゴ礁段丘、琉球石灰岩の海食崖やカルスト地形、世界的北限に位置するサンゴ礁、マングローブや干潟等多様な自然環境を有している。

近年、照葉樹林、干潟、サンゴ礁等の景観に対する関心の高まりにより、様々な希少な生物が生息し、その雰囲気を感じられる豊かな生態系を有する地域や海域そのものに対する風景の評価が高まっており、国立公園として評価することが必要となっている（「国立・国定公園の指定及び管理運営に関する提言」平成19年3月、国立・国定公園の指定及び管理運営に関する検討会）。

また、平成22年度に国立・国定公園総点検事業の結果が公表され、当該地域の自然環境が我が国を代表する傑出した地域であると評価され、新規に国立公園の指定を行う候補地として選定された。

以上を踏まえ、奄美群島は、日本列島の形成過程を反映して形成された島々の地史を背景に多くの固有種が集中して分布する国内最大規模の亜熱帯照葉樹林の生態系を中心として、自然性の高い河川景観、干潟・マングローブ生態系、サンゴ礁生態系といった多様な生態系が複合的に一体となった景観を風景型式とし、これらと一体的なリアス海岸の景観や琉球石灰岩のカルスト地形の景観、人と自然の関わりを示す有形無形の文化景観をも有する、我が国を代表する傑出した地域である。

② 規模（区域面積が原則として1万ha以上（島嶼））

本国立公園の区域面積は42,294ha（陸域）である。

③ 自然性（原生的な景観核心地域が原則として約2,000ha以上）

本国立公園の原生的な景観核心地域は、住用川及び川内川中流部、湯湾岳、井之川岳、丹発山などであり、その合計区域面積は15,487haである。

<参考：特別保護地区：5,229ha、第1種特別地域：9,133ha、海域公園地区：1,125ha>

④ 利用（大人数による利用が可能）

景勝地や海浜巡り、亜熱帯照葉樹林の散策、カヌー体験、ダイビング、グラスボートによる懐中景観探勝や海水浴などが行われている。このほか、アマミノクロウサギなど本地域固有の動物等の観察を目的とした利用も行われており、利用性に富んでいる。

⑤ 地域社会の共存（地域社会の理解の獲得）

住民説明会の開催や関係市町村の同意を経て、指定するものである。

以上、「国立公園及び国定公園の候補地の選定及び指定要領（平成25年5月17日付け環自国発第

1305171号「環境省自然環境局長通知」に記載される要件を満たすことから、本地域を国立公園に指定する。

また、本国立公園のテーマを「生命にぎわう亜熱帯のシマ～森と海と島人の暮らし～」とし、琉球弧の形成の歴史を示す海岸等の優れた景観を保全し、地史を反映して進化をとげた固有の動植物等で構成される亜熱帯照葉樹林生態系を積極的に管理してその健全性の維持・回復と希少動植物の絶滅リスクの回避、低減を図るとともに、地域特有の自然や伝統的な自然とのかかわりを感じることができ、質の高い自然体験や環境学習の場と機会を提供することにより、地球の生物の多様性の確保に寄与し、地域の暮らし・営みと自然環境保全のバランス維持に貢献する国立公園を目指す。

なお、既に奄美群島国定公園に指定されている地域の一部は本国立公園の区域に編入し、国定公園の指定を解除する。

2 地域の概要

奄美群島は、トカラ列島と沖縄諸島の上に飛び石状に点在する島嶼群で、南北は北緯 27 度 0 分 53 秒から同 28 度 32 分 30 秒、東西は東経 130 度 02 分 16 秒から同 128 度 23 分 50 秒の海域に位置し、有人 8 島で構成される。総面積は、1,231.39 km²で、それぞれ奄美大島 712.47 km²、加計呂麻島 77.39 km²、請島 13.34 km²、与路島 9.35 km²、喜界島 56.93 km²、徳之島 247.77 km²、沖永良部島 93.64 km²、与論島 20.47 km²となっている。

この群島は九州から台湾まで約 1,200km にわたって連なる弧状列島に属し、ユーラシアプレートとフィリピン海プレートの接点に位置する。現在の姿は主に新生代の新第三紀からの隆起・沈降と、第四紀のサンゴ礁の発達に伴う琉球石灰岩の堆積によって形成され、ユーラシア大陸や日本列島との接続と分断を繰り返しながら形成された島嶼だと考えられている。

このような地史により、大陸等と接続している時代に生物が移動定着し、その後の分断により隔離されることで遺伝的な変異を蓄積させて独自の進化を遂げ、古い形質を残したまま現在まで生き残った固有種（固有亜種）の多い生物相が形成されたとされている。

気候帯としては温帯的要素と熱帯的要素を併せ持つ「亜熱帯」に属し、黒潮の影響も受けて一年を通じて温暖・多湿で降水量が多く、特に奄美大島は年平均降水量が 3,000 ミリ近い国内有数の多雨地帯となっている。

こうした地理的な要因から、奄美群島は世界の動物地理区の旧北区と東洋区の境界となっており、植物地理区の全北区界と旧熱帯植物界の境界にもなっており、生物地理的に南方系要素と北方系要素が混在する生物分布の地理的移行帯となっている。

(1) 景観の特性

ア 地形・地質

奄美群島の島々の地形は、主にその地史の違いから山地のある高島と低く平らな低島の 2 種に大別される。高島と低島の違いは、島の水環境や土地利用の違いにも関連している。

奄美大島（加計呂麻島、請島、与路島を含む。以下同じ。）と徳之島が相当する高島は、新生代第三紀より古い地層から構成される島で、主として中生代の粘板岩や砂岩でできた山地が多く起伏が大きい。一般に山地が海岸線まで迫り、周囲は切り立った崖をなして平地が少なく、比較的短い急な流れを有した河川水系が存在する。また、海岸線は変化に富んでおり、奄美大島ではリアス海岸を見ることができる。

喜界島、沖永良部島、与論島は低島であり、第四紀に形成された琉球石灰岩からなり、山地がなく低平な島で、海岸線は一般に出入りが少ない。低島の要素は徳之島南西部にも見られる。段丘地形がよく発達しており、数段の階段状をした段丘を見ることができる。世界有数の速度で隆起する喜界島は、特に段丘地形が発達しており、みごとなテーブル状をした段丘や海拔 10m 以下の高さに新しい時代の離水サンゴ礁からなる段丘を見ることができる。

また、低島では、琉球石灰岩が非常に水に溶けやすいことから地下水系が発達しているほか、鍾乳洞、ドリネなどのカルスト地形も見ることができ、沖永良部島で顕著である。

イ 植生

奄美群島の山地帯の大部分を占める自然植生は、スダジイを優占種とする常緑広葉樹林で、奄美大島の常緑広葉樹林は亜熱帯照葉樹林としては国内最大規模を誇る。

奄美大島や徳之島の山地の中腹部一帯の適潤地ではケハダルリミノキースダジイ群集に属する群落で覆われている。ここでは、山腹や谷沿いの適潤地でオキナワウラジロガシの優占度が高い群落が見られることもある。海拔約 400m以上のやや標高の高い湿潤な立地にはアマミテンナンショウスダジイ群集が発達し、奄美大島と徳之島の最高峰である湯湾岳（694.4m）及び井之川岳（644.8m）の山頂部一帯には、タイミンタチバナミヤマシロバイ群集が見られる。このほか、沖永良部島の大山山頂付近にはアオバナハイノキースダジイ群集が分布している。過去に森林伐採を行った場所などには低木層や草本層の発達が悪いギョクシンカースダジイ群集が広く分布している。

常緑広葉樹林は、主に奄美大島中南部や徳之島北部から中央部などに分布が見られるほか、沖永良部島の大山山頂部付近でも見ることができる。これらのほとんどは、過去に伐採された二次林であり、比較的人手が入っていない自然林は奄美大島の湯湾岳や住用川中流部、徳之島の三京などごく限られた地域でしか見られず、奄美大島で全体の 6.5%、徳之島で 3.5%を占めている。奄美大島では、昭和 30 年代以降、約 7 割の森林が伐採されたが、近年は大規模な森林伐採があまり行われていないことから森林は回復途上にある。

森林を伐採した跡地等の多くは、リュウキュウマツ群落となっている。同群落は奄美大島北部及び外縁部、徳之島中部から北部にかけて広がっており、奄美大島では全体の 19.9%、徳之島では 16.4%を占める。また、伐採跡地周辺には、アカメガシワやリュウキュウエノキなどを主とする落葉広葉樹林が見られるほか、過湿な斜面や谷状地には木生シダのヒカゲヘゴの群落が発達する。沿岸の風衝地には、シャリンバイ、アカテツ、ハマヒサカキなどを主構成種とする風衝低木林が見られ、タイワンヤマツツジの優占度の高い群落も局所的に存在するほか、岩崖地にはソテツが自生する。

低地帯の自然植生は、アコウ、ガジュマル、ハマイヌビワ、アカテツ、オオバギ、クスノハガシワ、タブノキなどで構成される常緑広葉樹林で、喜界島、徳之島南西部、沖永良部島、与論島の顕著な隆起サンゴ礁地帯でよく発達している。

低地植生と海浜植生の接触する地域には、モンパノキークサトベラ群集、アダン群集などが帯状に発達し、各島で見られる小規模な砂浜では、ハマグルマ群落、ハマゴウ群落、ツキイゲ群落などが見られる。また、喜界島、徳之島南西部、沖永良部島、与論島などには隆起サンゴ礁からなる海岸が存在し、テンノウメ、ハリツルマサキ、モクビヤッコウ、ミズガンピ、イソマツなどが隆起サンゴ礁特有の群落を形成している。

奄美大島では、このほか、入り江となった河口の泥湿地にメヒルギを主とするマングローブ群落が発達しており、オヒルギ、サキシマスオウノキ、サガリバナ、ハマボウなどが見られる。

ウ 野生動植物

① 動物

i) 哺乳類

奄美群島に生息する哺乳類は、これまでに 20 種が確認されており、うち 10 種が在来種で、残り 10 種が外来種である。

在来種のうち、アマミノクロウサギ、アマミトゲネズミ、トクノシマトゲネズミ、オリイジネズミは奄美群島の固有種、オリイコキクガシラコウモリは固有亜種である。また、ケナガネズミ、リュウキュウユビナガコウモリは奄美群島と沖縄諸島の固有種、リュウキュウイノシシは固有亜種である。これらの固有種及び固有亜種のほとんどは奄美大島と徳之島に分布しており、この 2 島は固有性の高い地域となっている。

アマミノクロウサギやアマミトゲネズミ、トクノシマトゲネズミ、ケナガネズミは、奄美群島が陸橋として大陸と繋がっていた第四紀以前に奄美大島や徳之島に侵入定着し、その後大陸と分断されて隔離され、今も生き残っている遺存種と考えられている。

在来種の多くは、環境省のレッドリストで絶滅危惧種として掲載されており、アマミノクロウサギ、アマミトゲネズミ、ケナガネズミなどは IUCN（国際自然保護連合）のレッドリストにも掲載され国際的にも絶滅が懸念されている。これらの種は、主に山地の常緑広葉樹林に生息しているが、ファイリマングース、ノイヌやノネコといった外来生物による捕食やロードキルによる個体数減少が確認されており、生態系への悪影響が懸念されている。また、主に海岸部でノヤギによる植生や在来植物への悪影響が懸念されている。

ii) 鳥類

奄美群島では、これまで日本で記録された鳥類 555 種の 60%弱を占める約 330 種以上の鳥類が記録されている。これは、温暖な気候により冬期でも餌となる木の実や昆虫類、小動物が比較的多く存在することや、飛び石状に連なる奄美群島が多く渡り鳥の通過地域及び一時的な避難場所の役割を果たしていることによると考えられている。

奄美大島の森林では、ルリカケス、アマミヤマシギ、オーストンオオアカゲラやオオトラツグミなどの固有種又は固有亜種が生息している。ルリカケスは、古い時代からの生き残りである遺存種とされ、アマミヤマシギ、オーストンオオアカゲラ、オオトラツグミなどは環境省のレッドリストで絶滅危惧種として掲載されている。

各島の海岸の岩場や岩礁は、夏期に渡来するエリグロアジサシやベニアジサシなどの繁殖地となっているほか、奄美大島ではアナドリやオオミズナギドリが繁殖を行っていることが確認されている。また、奄美大島や徳之島では冬期に干潟などでクロツラヘラサギの渡来も確認されている。

iii) 両生類・は虫類

奄美群島には 11 種の在来の両生類が生息しており、これは日本国内に生息する両生類の約 20%に相当する。このうち、オットンガエルとアマミイシカワガエルは奄美大島、アマミハナサキガエルは奄美大島と徳之島の固有種である。オットンガエルは、沖縄島に生息するホルストガエルと共通の祖先種を持つとされ、それぞれに隔離されて分化したものと考えられている。アマミイシカワガエルは奄美大島のみが生息する固有種で、近年まで沖縄島北部のものと同種とされていたが、遺伝的に異なるとされて 2011 年に新種記載された。なお、オットンガエル、アマミイシカワガエル及びイボイモリが遺存種と考えられており、これらを含む多くの種が環境省及び IUCN 両方のレッドリストで絶滅危惧種に位置づけられている。

爬虫類は 20 種が確認されており、日本国内に生息する爬虫類（ウミガメ等海生のものを除く）全体の約 30%を占める。そのなかでもオビトカゲモドキは、遺存種で徳之島にのみ生息する固有種である。なお、奄美大島及び徳之島には猛毒を持つハブが生息しており公園利用上の注意を要する。

iv) 魚類

奄美群島の淡水魚類の正確な種数は不明だが、調査が進んでいる奄美大島では、河川上流部から河口部までに 136 種が記録されている。そのうち、ハゼ科魚類が最も多く、37.5%を占めている。これらの多くは、河川下流から河口に至る場所で出現しており、リュウキュウアユ、ハゼ、ヨシノボリなどが見られる。リュウキュウアユは、沖縄島で放流個体による再導入個体群が生息しているが、唯一、奄美大島では役勝川、住用川や河内川などで野生個体群が生息している。

v) 昆虫類

奄美大島に生息する昆虫類は、現在までに約 2,500 種が記録されているが、今後もかなり多くの未記載種や分布新記録種の発見が予想される。

奄美群島の昆虫相は、島嶼が成立する過程で、大陸と結合した際に分布が拡大してきたもの、トカラ列島と分離する以前に北方から分布が拡大してきたもの、さらに島嶼として成立してから海流によって東南アジアやオーストラリアなどから分布が拡大してきたものなど複数の経路で種を受け入れており、ヒマラヤ系、中国系の遺存種や分布南限種、固有種・固有亜種も多く存在する。

森林に生息するアマミマルバネクワガタ等のクワガタ類やカミキリムシ類などは採集者が多く、幼虫の生息環境である樹木の洞や根元の堆積物や樹木の部位ごと持ち去ったり、破壊されることもあり、個体数の大幅な減少が懸念されているものも見られる。

② 植物

奄美群島に分布する維管束植物の種数は、全体で 1,300~1,500 種にのぼるとされており、日本全土の面積の 0.26% にすぎない奄美群島に、日本全土に生育する種の約 35% が分布することとなる。

奄美群島の植物種は、南方系の種と北方系の種が混在すること、南方系の種の多くの種の分布北限となっていること及び固有種が多いこと等が特徴である。奄美大島を分布の北限とする種は、120 種以上にのぼる。また、固有種・固有亜種は約 60 種が確認されており、これらの多くは奄美大島及び徳之島の常緑広葉樹林などに生育する。

奄美群島の植物種中、環境省のレッドリストで絶滅危惧種として位置づけられているものは 200 種を越える。群島の中でも奄美大島及び徳之島、特に奄美大島は絶滅危惧種の種数が多い。奄美大島や徳之島ではこうした固有種・固有亜種や絶滅危惧種の採取が生物多様性保全上の課題となっており、いくつかの種では採取による絶滅が懸念されている。

エ 海域

奄美群島は、海岸部の大部分でサンゴ礁が発達しており、まとまった規模の礁を形成するサンゴ群集としてはほぼ世界の北限に位置している。奄美群島のサンゴ礁はほとんどが裾礁だが、与論島では堡礁が見られ、島の北東部には海岸から沖合約 1 km の範囲内に広大な礁湖が広がり、美しい海域景観を呈している。

奄美群島の造礁サンゴ相は、220 種を数える。奄美群島のサンゴ礁の総面積（礁湖の面積で算出）は、約 18,300ha で、サンゴ群集の占める面積は約 6,000ha となっている。このうち、被度 5% 未満の群集が 37.0%、被度 5~50% の群集が 53.9%、被度 50~100% の群集が 9.2% の面積を占めている。しかし、白化現象やオニヒトデ等の食害による影響を受けて海中の景観に大きな変化が生じてきた経緯を有する。

また、海岸の砂浜の多くはアカウミガメやアオウミガメの産卵場として利用されているほか、奄美大島北部に見られる泥質干潟では、シオマネキ等甲殻類、ナマコ類、貝類等や冬場の渡りで渡来するシギ・チドリなどの渡り鳥の姿を見ることができる。

オ 文化景観

奄美群島では、島嶼故に人の生活圏域と森林地域や海域が近接し、生活はこれらの自然と密接にかかわりを持ってきた。このため、集落内外にこれらを示す痕跡を見ることができ、現在のくらしや風習の中にも古から続く自然との関わりを見ることができる。

群島の各地に、神の降り立つ山（神山）や、集落を訪れる海の神が立ち寄る小島（立神と呼ばれる）、山（森）、島（岩礁）があり、これらの言い伝えが山岳の風景や海域の風景を見る際により豊かな体験をもたらす。

集落内では、神の通る道や、祭祀を行うアシャゲやトネヤといった建造物、これらを中心とした集落構造、クラゴーやホーといった採水地が残されている。また、家屋周辺のサンゴ石垣とガ

ジュマル等の樹林や辻々に立てかけられた用心棒（ハブ対策のための道具）は、島の人々が台風やハブといった自然の脅威とどのように折り合いをつけて暮らしてきたかを目の当たりにすることができる風景である。

集落に近接したりーフや河川では、日常的に魚類、貝類、藻類やエビ・カニ類等を採集する風景を見ることができ、今も続く島の人々と自然とのかかわりを感じたり体験することができる。また、山中にはかつての生活で利用されていた古道や、耕作地跡、炭窯跡等を見ることができ、これらがかつての島の人々の暮らしと自然とのかかわりを想起させるものとなっている。

これらの人と自然とのかかわりを示す風景（環境文化景観）は、自然景観とあいまって奄美群島での自然体験をより深く豊かなものになっている。

（２）利用の現況

奄美群島を訪れる入域客（奄美群島外から奄美群島域へ入ってきた人数）は、年間延べ 560,432 人（平成 27 年）で、空路による入域と海路による入域が可能だが、約 80%の入域客が空路で来島する。空路は、東京、大阪などからの直行便が奄美大島に乗り入れており、東京から約 2 時間 30 分、大阪から約 1 時間 30 分で来島することができるほか、鹿児島と各島を直行便が結んでいる。

平成 27 年の各島の入込客数（奄美群島外から奄美群島域に入ってきた人数及び奄美群島内において各島間を移動した人数の合計）は、奄美大島 422,527 人、喜界島 55,481 人、徳之島 129,806 人、沖永良部島 87,121 人、与論島 62,952 人となっており、奄美大島への入込が最も多く、群島全体の入込客数の 5 割強を占める。入込客数は、近年増加傾向となっている。

月別の入込状況では島によって大きな違いはなく、7・8 月の入込が最も多く、全体の 20%強がこの期間に訪れるが、各月ともそれぞれ 6～9%程度の入込があり、年間を通じて入込は平準化している。

利用形態は、奄美大島では大島海峡や笠利湾を展望する海岸沿いの景勝地や海浜巡り、金作原、湯湾岳や奄美自然観察の森での亜熱帯照葉樹林の散策、住用マングローブでのカヌー体験などが一般的であるが、大島海峡などでのシーカヤックやダイビング、グラスボートによる海中景観探勝を体験することもできる。また、夜間の林道でアマミノクロウサギをはじめ固有の動物等を観察するツアーなども行われている。奄美群島の中では自然ガイドが多く、各社が体験プログラムを提供している。

他の島では、主に海岸沿いの景勝地や砂浜を巡る利用を主として、ダイビングも行うことができるほか、沖永良部島では昇竜洞での鍾乳洞の散策、与論島では広大な礁湖でのグラスボートによる海中探勝や干潮時に出現する百合が浜での海水浴、喜界島などではサンゴ石垣等昔ながらの集落の面影をとどめた集落景観探訪などが特徴的である。

奄美大島や徳之島にはアマミノクロウサギ等固有種が生息する亜熱帯照葉樹林が広がるが、これまであまり活用されているとは言い難い。これらの森林の魅力を引き出すような利用施設を整備することのほか、資源を損なうことがないよう適切な仕組みを構築した上で適正な利用を推進し、良好な自然体験の場と機会を提供することが課題となっている。また、各島で集落やその周辺を中心

に見ることができる島人の風習や暮らしの中での自然とのかかわりを観光資源として活用することも課題の一つである。

(3) 社会経済的背景

ア 土地所有別

本区域は、公園区域42,294ha(陸域)のうち、国有地7,036ha(16.6%)、公有地9,552ha(22.6%)、私有地等25,706ha(60.8%)である。

イ 人口及び産業

奄美群島の人口は、推定で118,773人(平成22年国勢調査)とされており、減少傾向が続いている。島別に見ると全人口の約55.4%に相当する65,770人が奄美大島に集中し、喜界島8,169人(約6.9%)、徳之島25,587人(約21.5%)、沖永良部島13,920人(約11.7%)、与論島5,327人(約4.5%)となっている。

年齢構成は、15歳未満15.0%、15～64歳55.9%、65歳以上29.1%となっており(平成22年国勢調査)、全国平均に比べて15歳未満(13.2%)と65歳以上(23.0%)の割合が高く、15～64歳(63.8%)の割合が低い。

産業については、奄美群島全体の産業別就業者数の割合では第3次産業の割合(約69%)が第1次産業(約16%)、第2次産業(約15%)を大きく上回るが、奄美大島以外の島の農業就業者数割合は20～30%で全国平均(3.6%)を大きく上回り、農業が主要産業と見なすことができる(平成22年度国勢調査)。

農業は、さとうきび、野菜(ばれいしょ等)、畜産などで、沖永良部島では花き栽培も盛んである。林業は、奄美大島においてパルプ・チップのための林業が行われており、産業別就業者数割合では0.1%程度となっている。

水産業は、産業就業者数割合で1.4%程度だが、カツオ、マグロ、ソデイカ等が水揚げされるほか、追込漁も行われている。また、クロマグロ、カンパチ、クルマエビ、真珠やもずく等の養殖業も盛んで、中でもクロマグロ養殖は国内を代表する生産地となっている。

その他、産業上の特徴として建設業就業者割合が各島とも10%前後と全国平均(7.6%)より高く、製造業就業者割合(約4.2%)が全国平均(15.9%)に比べてかなり低いことが上げられる。(平成22年度国勢調査)

観光業は、奄美大島や与論島でこれまでも取り組みが行われているものの、概して地域全体の主要産業とまでは言い難い状況であるが、地域の有する資源や社会経済状況に鑑みれば、今後育成を図るべき産業分野だと考えられ、近年各島とも取り組みに力を入れ始めたところである。

区域内には、奄美大島12集落、喜界島2集落、徳之島3集落が含まれている。農業に従事する住民が多いものと考えられる。

ウ 権利制限関係

(ア) 保安林

(国有林)

種 類	位 置	重複面積 (ha)	指定年月日	
【奄美大島】 水源かん養 保健	鹿児島県奄美市名瀬地内	295	昭43. 10. 14	
	鹿児島県奄美市住用町地内	642	昭46. 1. 10 平16. 8. 31	
	鹿児島県大島郡宇検村地内	667	昭46. 1. 10	
	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	804	昭46. 1. 10 平16. 8. 31	
	鹿児島県奄美市名瀬地内	121	昭58. 12. 22	
	【徳之島】 水源かん養	鹿児島県大島郡徳之島町地内	568	昭46. 1. 10 昭58. 5. 13 平16. 8. 31
		鹿児島県大島郡天城町地内	558	昭46. 1. 10 平16. 8. 31
		鹿児島県大島郡伊仙町地内	326	昭46. 1. 10
				平 2. 12. 5

(公有林)

種 類	位 置	重複面積 (ha)	指定年月日
【奄美大島】 水源かん養	鹿児島県奄美市名瀬地内	763	昭42. 8. 19
	鹿児島県奄美市住用町地内	393	昭43. 3. 1 昭44. 9. 18 昭50. 2. 27 平 7. 8. 28
	鹿児島県大島郡大和村地内	460	昭43. 3. 1 昭44. 12. 27 平10. 1. 14
	鹿児島県大島郡宇検村地内	1, 439	昭44. 9. 18 昭46. 3. 25
	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	165	昭45. 7. 14

	鹿児島県大島郡龍郷町地内	243	昭58. 7. 19 昭42. 8. 19 昭44. 9. 18 平10. 1. 14
土砂流出防備	鹿児島県大島郡宇検村地内	4	昭58. 2. 4
	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	2	昭58. 6. 23
土砂崩壊防備	鹿児島県奄美市住用町地内	1	平18. 6. 6
潮害防備	鹿児島県奄美市笠利町地内	1	昭63. 5. 18
	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	1	平7. 12. 20
魚つき	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	12	大7. 11. 8
飛砂防備	鹿児島県奄美市笠利町地内	10	昭39. 9. 2
保健	鹿児島県奄美市笠利町地内	1	平3. 12. 20
	鹿児島県大島郡大和村地内	82	平3. 9. 20
	鹿児島県大島郡龍郷町地内	67	昭55. 3. 21
干害防備	鹿児島県大島郡龍郷町地内	74	昭55. 3. 21 昭62. 9. 11
【喜界島】			
水源かん養	鹿児島県大島郡喜界町地内	94	昭45. 7. 14
土砂崩壊防備	鹿児島県大島郡喜界町地内	1	平13. 5. 15
潮害防備	鹿児島県大島郡喜界町地内	10	昭56. 9. 7
保健	鹿児島県大島郡喜界町地内	10	昭56. 9. 7
【徳之島】			
水源かん養	鹿児島県大島郡徳之島町地内	224	昭45. 7. 14
	鹿児島県大島郡伊仙町地内	14	大3. 4. 7
防風	鹿児島県大島郡伊仙町地内	7	昭55. 5. 14 昭62. 1. 14
保健	鹿児島県大島郡伊仙町地内	7	昭55. 5. 14 昭62. 1. 14
【沖永良部島】			
水源かん養	鹿児島県大島郡知名町地内	96	昭46. 3. 22 平8. 10. 22
潮害防備	鹿児島県大島郡知名町地内	7	大2. 11. 8
防風	鹿児島県大島郡和泊町地内	1	—

	鹿児島県大島郡知名町地内	3	—
【与論島】			
潮害防備	鹿児島県大島郡与論町地内	0.1	昭52. 1. 5
飛砂防備	鹿児島県大島郡与論町地内	16	昭39. 9. 2
保健	鹿児島県大島郡与論町地内	16	昭56. 5. 29

(民有林)

種 類	位 置	重複面積(ha)	指定年月日
【奄美大島】			
水源かん養	鹿児島県奄美市名瀬地内	541	昭42. 8. 19
	鹿児島県奄美市住用町地内	557	昭43. 3. 1
			昭44. 9. 18
			昭50. 2. 27
			平7. 8. 28
	鹿児島県大島郡大和村地内	813	昭43. 3. 1
			昭44. 12. 27
			昭47. 11. 14
	鹿児島県大島郡宇検村地内	160	平10. 1. 14
			昭58. 6. 21
鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	529	昭11. 5. 28	
		昭45. 7. 14	
鹿児島県大島郡龍郷町地内	389	昭58. 7. 19	
		昭42. 8. 19	
		昭44. 9. 18	
土砂流出防備	鹿児島県奄美市住用町地内	47	平10. 1. 14
			昭44. 12. 27
	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	21	昭2. 7. 27
			昭15. 3. 20
土砂崩壊防備	鹿児島県大島郡龍郷町地内	0.1	昭56. 7. 10
			昭57. 1. 27
			昭58. 6. 23
			平8. 5. 10
			平2. 8. 15
鹿児島県奄美市住用町地内	1	平2. 8. 15	
鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	2	平7. 2. 16	
鹿児島県大島郡龍郷町地内	0.1	平7. 7. 10	

魚つき	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	2	昭8.10.10
保健	鹿児島県大島郡大和村地内	49	平3.9.20
干害防備	鹿児島県大島郡宇検村地内	51	昭61.11.7
	鹿児島県大島郡龍郷町地内	20	昭62.9.11
			昭63.5.18
【喜界島】			
水源かん養	鹿児島県大島郡喜界町地内	1	昭45.7.14
土砂流出防備	鹿児島県大島郡喜界町地内	2	昭57.6.18
			平1.1.23
土砂崩壊防備	鹿児島県大島郡喜界町地内	3	平13.5.15
潮害防備	鹿児島県大島郡喜界町地内	19	昭52.1.5
			昭56.9.7
防風	鹿児島県大島郡喜界町地内	4	昭53.11.22
保健	鹿児島県大島郡喜界町地内	10	昭56.9.7
【徳之島】			
水源かん養	鹿児島県大島郡徳之島町地内	363	昭45.7.14
			平3.4.17
			平7.12.20
	鹿児島県大島郡天城町地内	115	昭45.7.14
			平7.12.21
土砂流出防備	鹿児島県大島郡徳之島町地内	1	昭54.10.3
			平1.1.23
土砂崩壊防備	鹿児島県大島郡天城町地内	0.3	平17.6.3
飛砂防備	鹿児島県大島郡伊仙町地内	5	昭39.9.2
【沖永良部島】			
防風	鹿児島県大島郡知名町地内	6	昭53.11.22
【与論島】			
潮害防備	鹿児島県大島郡与論町地内	1	昭52.1.5

(イ) 鳥獣保護区

名 称	位 置	重複面積(ha)	当初指定年月日
国指定湯湾岳鳥獣保護区	鹿児島県大島郡大和村及び宇 検村地内	320 (うち特保103)	昭40.11.1

県指定母間鳥獣保護区	鹿児島県大島郡徳之島町地内	127	昭41.11.2
県指定百之台鳥獣保護区	鹿児島県大島郡喜界町地内	365	昭51.11.1
県指定笠利崎鳥獣保護区	鹿児島県奄美市笠利町地内	129	昭52.10.31
県指定大山鳥獣保護区	鹿児島県大島郡知名町地内	179	昭54.10.12
県指定犬田布鳥獣保護区	鹿児島県大島郡伊仙町地内	235	昭55.10.17
県指定長雲峠鳥獣保護区	鹿児島県大島郡龍郷町地内	35	昭58.10.7
県指定八津野鳥獣保護区	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	302	昭59.10.24
県指定住用鳥獣保護区	鹿児島県奄美市住用町地内	378	昭59.10.24
県指定山間鳥獣保護区	鹿児島県奄美市住用町地内	73	昭60.10.16
県指定大瀬海岸鳥獣保護区	鹿児島県奄美市笠利町地内	124	平2.10.12
県指定ホノホン鳥獣保護区	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	289	平7.10.30
県指定金作原鳥獣保護区	鹿児島県奄美市名瀬地内	297	平9.10.31
県指定金川岳鳥獣保護区	鹿児島県奄美市住用町地内	158	平10.10.30
県指定蒲生崎鳥獣保護区	鹿児島県奄美市笠利町地内	39	平11.11.1

(ウ) 史跡名勝天然記念物

区 分	名 称	位 置	指定年月日
国指定特別天然記念物	アマミノクロウサギ	地域を定めず指定	昭38.7.4
国指定天然記念物	ルリカケス	地域を定めず指定	大10.3.3
国指定天然記念物	神屋・湯湾岳	奄美市住用町、宇検村	昭43.11.8
国指定天然記念物	アカヒゲ	地域を定めず指定	昭45.1.23
国指定天然記念物	オカヤドカリ	地域を定めず指定	昭45.11.12
国指定天然記念物	オオトラツグミ	地域を定めず指定	昭46.5.19
国指定天然記念物	カラスバト	地域を定めず指定	昭46.5.19
国指定天然記念物	オーstonオオアカゲラ	地域を定めず指定	昭46.5.19
国指定天然記念物	トゲネズミ	地域を定めず指定	昭47.5.15
国指定天然記念物	ケナガネズミ	地域を定めず指定	昭47.5.15
国指定天然記念物	隆起サンゴ礁上植物群落	喜界町荒木・中里海岸	平26.3.18
県指定天然記念物	昇竜洞	知名町吉野平川	昭42.3.31
県指定天然記念物	イボイモリ	地域を定めず指定	平15.4.22
県指定天然記念物	イシカワガエル	地域を定めず指定	平15.4.22
県指定天然記念物	オビトカゲモドキ	地域を定めず指定	平15.4.22
県指定天然記念物	オットンガエル	地域を定めず指定	平17.4.19
県指定天然記念物	請島のウケユリ自生地	瀬戸内町請島池地	平20.4.22
県指定天然記念物	アマミハナサキガエル	地域を定めず指定	平23.4.19

県指定天然記念物	沖泊海岸の大型有孔虫化石密集層	知名町下城須原	平24. 4. 20
県指定天然記念物	大津勘のビーチロック	知名町大津勘	平24. 4. 20
市指定天然記念物	根瀬部地区自生タイワンヤマトツジ	奄美市名瀬字根瀬部	昭45. 3. 3
市指定天然記念物	手花部メヒルギ群落	奄美市笠利町手花部	昭46. 9. 1
市指定天然記念物	マングローブ群落	奄美市住用町石原	平4. 9. 1
市指定天然記念物	モダマ自生地	奄美市住用町東仲間	平4. 9. 1
町指定史跡・名勝	喜念浜一帯	伊仙町喜念	昭53. 2. 23
町指定史跡・名勝	義名山の森	伊仙町伊仙	昭53. 2. 23
町指定史跡・名勝	犬田布岬	伊仙町犬田布	昭53. 2. 23
町指定名勝	国頭的美瀬の浜一帯	和泊町国頭	昭42. 4. 10
町指定名勝	国頭フーチヤ	和泊町国頭	昭42. 4. 10
町指定名勝	ホノホシ海岸	瀬戸内町蘇刈浦底	昭53. 12. 6
町指定名勝・天然記念物	ウケ百合	瀬戸内町池地	昭53. 12. 6
町指定天然記念物	ウケジママルバネクワガタ	瀬戸内町池地	平8. 11. 6
町指定天然記念物	水連洞	知名町大勘津	昭41. 8. 26
町指定天然記念物	沖泊アダンの自然林	知名町新城	昭41. 8. 26
町指定天然記念物	大津勘海岸ビーチロック	知名町大勘津	昭41. 8. 26

(エ) その他

(海岸保全区域)

名称	位置	重複延長(m)	指定年月日
用海岸	鹿児島県奄美市笠利町地内	930	昭33. 4. 1
奄美市笠利町海岸(用)	鹿児島県奄美市笠利町地内	1,137	平10. 8. 12
辺留海岸	鹿児島県奄美市笠利町地内	75	昭62. 10. 30
奄美市笠利町海岸(崎原)	鹿児島県奄美市笠利町地内	390	平10. 8. 12
奄美市海岸(芦花部)	鹿児島県奄美市地内	75	昭36. 8. 21
大和村海岸(ヒエン)	鹿児島県大島郡大和村地内	881	昭49. 2. 9
大和村海岸(徳浜)	鹿児島県大島郡大和村地内	165	昭47. 8. 16
瀬戸内町海岸(白浜)	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	606	平2. 12. 19
古仁屋港海岸	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	11,090	昭42. 6. 28
知之浦海岸	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	383	昭39. 3. 25
秋名海岸	鹿児島県大島郡龍郷町地内	550	昭34. 12. 2
阿伝海岸	鹿児島県大島郡喜界町地内	826	昭48. 1. 19
金見海岸	鹿児島県大島郡徳之島町地内	370	昭39. 3. 25
天城町海岸(千間)	鹿児島県大島郡天城町地内	676	平1. 11. 17

美瀬海岸	鹿児島県大島郡和泊町地内	330	昭50. 8. 4
沖泊海岸	鹿児島県大島郡知名町地内	604	平 2. 9. 5
屋子母海岸	鹿児島県大島郡知名町地内	1,870	昭60.12. 9
皆田	鹿児島県大島郡与論町地内	190	昭37. 6. 1
クズレ	鹿児島県大島郡与論町地内	402	昭37. 6. 1

(河川区域 (2級河川))

名 称	位 置	重複延長(km)
芦花部川	鹿児島県奄美市名瀬地内	0.8
大川	鹿児島県奄美市名瀬地内	1.7
金久田川	鹿児島県奄美市住用町地内	0.2
住用川	鹿児島県奄美市住用町地内	7.7
役勝川	鹿児島県奄美市住用町地内	6.1
山間川	鹿児島県奄美市住用町地内	0.1
名音川	鹿児島県大島郡大和村地内	2.0
勝浦川	鹿児島県大島郡瀬戸内町地内	0.1
秋名川	鹿児島県大島郡龍郷町地内	3.6
ウワナル川	鹿児島県大島郡伊仙町地内	0.5

3 公園区域

(表 1 : 公園区域 (陸域) 表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
鹿児島県	奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 10 林班、202 林班から 204 林班まで及び 206 林班から 217 林班までの全部並びに 205 林班の一部 奄美市笠利町 大字字宿、大字笠利、大字喜瀬、大字佐仁、大字須野、大字外金久、大字手花部、大字屋仁及び大字用の各一部 奄美市住用町 大字石原、大字市、大字神屋、大字川内、大字城、大字摺勝、大字西仲間、大字東仲間、大字見里、大字役勝、大字山間及び大字和瀬の各一部 奄美市名瀬 大字朝戸、大字芦花部、大字伊津部町、大字金久町、大字小宿、大字小湊、大字大熊、大字知名瀬、大字西仲勝及び大字根瀬部の各一部	13,059 〔 国 2,088 公 4,035 私 6,207 不※ 729 〕
	大島郡大和村内 国有林鹿児島森林管理署 230 林班の全部 大島郡大和村 大字今里、大字大金久、大字大棚、大字思勝、大字国直、大字志戸勘、大字津名久、大字戸円、大字名音、大字大和浜及び大字湯湾釜の各一部	5,329 〔 国 72 公 1,156 私 3,909 不 192 〕
	大島郡宇検村内 国有林鹿児島森林管理署 226 林班、227 林班及び 230 林班の全部並びに 228 林班及び 229 林班の各一部 大島郡宇検村 大字芦検、大字田検及び大字湯湾の各一部	4,147 〔 国 668 公 1,789 私 1,666 不 24 〕

※…土地所有者不明の意味。以下同様。

都道府県名	区 域	面積 (ha)
鹿児島県	大島郡瀬戸内町内 国有林鹿児島森林管理署218林班から224林班までの全部 大島郡瀬戸内町 大字阿木名、大字阿鉄、大字網野子、大字阿室釜、大字池地、大字生間、大字押角、大字勝浦、大字勝能、大字嘉鉄、大字嘉徳、大字久慈、大字管鈍、大字久根津、大字花天、大字花富、大字古志、大字小名瀬、大字古仁屋、大字薩川、大字実久、大字篠川、大字芝、大字諸数、大字諸鈍、大字清水、大字瀬相、大字節子、大字蘇刈、大字武名、大字手安、大字渡連、大字西阿室、大字西古見、大字俵、大字三浦、大字油井及び大字与路の各一部	9,347 国 981 公 780 私 6,973 不 613
	大島郡龍郷町 大字秋名、大字芦徳、大字安木屋場、大字幾里、大字浦、大字円、大字大勝、大字嘉渡、大字久場、大字瀬留及び大字龍郷の各一部	2,597 国 0 公 1,068 私 1,290 不 239
	奄美大島小計	34,479 国 3,809 公 8,828 私 20,045 不 1,797
	大島郡喜界町 大字阿伝、大字荒木、大字浦原、大字大朝戸、大字小野津、大字嘉鈍、大字川嶺、大字花良治、大字佐手久、大字志戸桶、大字白水、大字滝川、大字中里及び大字西目の各一部	975 国 0 公 158 私 259 不 558
	喜界島小計	975 国 0 公 158 私 259 不 558

都道府県名	区 域	面積 (ha)
鹿児島県	大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 231 林班から 233 林班まで、240 林班、255 林班、256 林班から 260 林班までの全部並びに 239 林班及び 254 林班の各一部 大島郡徳之島町 大字井之川、大字金見、大字亀津、大字亀徳、大字花徳、大字山、大字下久志、大字白井、大字手々、大字轟木及び大字母間の各一部	2,921 国 1,178 公 230 私 1,327 不 186
	大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 234 林班、235 林班及び 241 林班から 249 林班までの全部並びに 236 林班及び 238 林班の各一部 大島郡天城町 大字天城、大字大津川、大字岡前、大字兼久、大字瀬滝、大字当部、大字西阿木名、大字松原及び大字与名間の各一部	2,459 国 1,764 公 110 私 498 不 87
	大島郡伊仙町内 国有林鹿児島森林管理署 250 林班及び 251 林班の各一部 大島郡伊仙町 大字阿権、大字阿三、大字伊仙、大字糸木名、大字犬田布、大字面縄、大字喜念、大字木之香、大字検福、大字小島、大字崎原、大字佐弁、大字中山、大字馬根、大字古里及び大字八重竿の各一部	691 国 285 公 25 私 130 不 251
	徳之島小計	6,071 国 3,227 公 365 私 1,955 不 524
	大島郡和泊町 大字国頭及び大字西原の各一部	57 国 0 公 8 私 0 不 49

都道府県名	区 域	面積 (ha)
鹿児島県	大島郡知名町 大字大津勘、大字上城、大字上平川、大字下城、大字新城、大字住吉、大字瀬利覚、大字田皆、大字徳時及び大字屋子母の各一部	586 〔 国 0 〕 公 177 私 120 不 289
	沖永良部島小計	643 〔 国 0 〕 公 185 私 120 不 338
	大島郡与論町 大字茶花、大字那間、大字古里及び大字麦屋の各一部	126 〔 国 0 〕 公 16 私 10 不 100
	与論島小計	126 〔 国 0 〕 公 16 私 10 不 100
	これらの地域の地先海岸、地先島嶼及び地先岩礁を含む。	
合 計	42,294 〔 国 7,036 〕 公 9,552 私 22,389 不 3,317	

(表 2 : 公園区域 (海域) 表)

区 域	面積 (ha)
鹿児島県 奄美市、大島郡大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、喜界町、徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町及び与論町の地先海面の一部	33,099
合 計	33,099

奄美群島国立公園（仮称）

公園計画書

（環境省原案）

平成 年 月 日

環境省

目 次

1	基本方針	1
2	規制計画	10
(1)	保護規制計画及び関連事項	10
ア	特別地域	10
(ア)	特別保護地区	14
(イ)	第1種特別地域	21
(ウ)	第2種特別地域	37
(エ)	第3種特別地域	54
イ	海域公園地区	61
ウ	関連事項	65
(ア)	捕獲等規制動植物及び区域	65
(イ)	普通地域	92
エ	面積内訳	95
3	事業計画	99
(1)	施設計画	99
ア	保護施設計画	99
イ	利用施設計画	100
(ア)	集団施設地区	100
(イ)	単独施設	102
(ウ)	道路	109
a	車道	109
b	歩道	111

1 基本方針

(1) 保護に関する基本方針

奄美群島国立公園は、特徴の異なる8つの島々で構成されており、固有又は希少な動植物が生息・生育する亜熱帯照葉樹林、リアス海岸、砂浜、干潟、海食崖などの多様で自然性の高い海岸や世界的北限に位置するサンゴ礁の海のほか、隆起段丘、鍾乳洞やカルスト地形、人と自然のかかわりを感じさせる文化景観など多様性に富んだ景観を有している。このため、公園全体では、「個々の景観要素の維持回復を図ることにより自然環境と景観の多様性及びそこで体験できる自然体験の質（自然体験を通じて得られる利用者の満足感や達成感）を維持向上する」ことを目標とし、それぞれの景観要素については次のとおり保護を図ることとする。

(ア) 亜熱帯照葉樹林

スタジイ等を主とする奄美大島及び徳之島の亜熱帯照葉樹林は、アマミノクロウサギをはじめとする多くの固有又は希少な動植物等で構成される生態系が存在し、これらの生息地・生育地として国際的にもその保護の重要性が高い。

しかしながら、奄美大島及び徳之島では固有又は希少な動植物の捕獲採取や交通事故による減少、外来生物による悪影響が危惧されている。また、奄美大島では主としてパルプ・チップ用材確保のための林業が行われており、生態系保全と森林施業の両立が課題となっている。

このため、当該地域では、亜熱帯照葉樹林の生態系を積極的に管理し「生態系の健全性が維持されて、固有又は希少な動植物の絶滅のリスクが低下し生息・生育状況が安定的で、生態系や生物多様性の豊かさが感じられる状態」とすることを目標として次の方針により保護を図ることとする。

a 固有又は希少な動植物の保護

- ・捕獲採取や交通事故といった人為的な要因による固有又は希少な動植物の減少を防止する。
- ・外来生物による固有又は希少な動植物への悪影響を排除・抑制する。
- ・固有又は希少な動植物の生息・生育に著しい支障を及ぼさぬよう生息地・生育地を保全する。

b 森林の保護管理

- ・固有又は希少な動植物の生息・生育する高齡林及び高齡林分を含む森林を厳正に保護する。
- ・森林施業における生態系保全への配慮を徹底する。
- ・過去に伐採された照葉樹二次林や林種転換された林分の高齡照葉樹林への誘導、転換を図る。

c 河川の保護管理

- ・リュウキュウアユをはじめとする水生生物の移動や繁殖活動に配慮して保護管理を行う。
- ・森林と河川を生息地とする両生類の生息に配慮して保護管理を行う。
- ・溪流植物や高い空中湿度を必要とする着生植物の生育や汽水域のマングローブの保護に配慮して保護管理を行う。

d 人の入込みのコントロール

- ・固有又は希少な動植物が多く生息・生育している等の生物多様性保全上特に重要な場所や、利用過剰や利用の集中により自然環境や自然体験の質に悪影響を及ぼしている、又は及ぼすおそれの

ある場所については、必要に応じて人の入込のコントロールを検討する。

e 科学的・順応的な保護管理

- ・森林や固有又は希少な動植物等に関するデータ収集に努め、森林生態系の科学的な保護管理を行う。
- ・森林生態系の保全や希少動植物の種の保存のためのモニタリングを行い、得られた情報に基づいて順応的に保護管理を行う。

(イ) 海岸及び海域

奄美群島の海岸は、砂浜、干潟、海食崖、リアス海岸等多様な自然景観を有しているほか、海鳥やウミガメの繁殖地としても重要な場所となっている。

また、海域においては世界的な北限となるサンゴ礁が見られ、魚類等の生息地となっており、漁り（冬の大潮の夜にリーフ内で行う小魚やタコ等を捕る風習のこと）や浜下れ（一年で最も潮が引く旧暦3月3日に浜に出かけて貝拾い等を楽しむ風習のこと）などが行われ、島民の生活と密接なかわりを保っている。

当該地域では、開発行為による海岸景観の改変、オニヒトデ被害や白化現象によるサンゴの衰退等の懸念事項が存在している。このため、「自然性がよく維持された海岸景観を鑑賞でき、海域では水の透明度が高く様々な生物に彩られた水中景観を楽しむとともに、くらしの中での資源利用を持続的に行うことができる状態」とすることを目標として、次の方針により保護を図ることとする。

a 海岸部における特徴的な地形と自然植生の保護

- ・海食崖やリアス海岸をはじめ、海岸部の地形等の改変を抑制・防止して景観維持を図る。
- ・多様な生物の生息地、渡来地となっている干潟の改変・減少を抑制・防止する。
- ・海岸から後背地に至る自然植生の連続性の維持に配慮して保護管理を行う。
- ・外来生物による自然植生や固有又は希少な植物への悪影響を排除・抑制する。

b 固有又は希少な動植物の保護

- ・ウミガメの産卵や海鳥の繁殖に配慮して保護管理を行う。
- ・採取（人為的要因）による固有又は希少な植物や景観を特徴づける植物の減少を防止する。

c 海域環境の保護と再生

- ・赤土流出や海岸部の破壊等、陸域起因による海域環境への悪影響防止に配慮して保護管理を行う。
- ・魚類等海生生物の生息地としての役割も担うサンゴの保護・再生を図る。
- ・海域景観を構成する動植物や海域環境の浄化の役割を担う生物で商業採取による乱獲のおそれのあるものの保護を図る。

(ウ) その他

本公園には、上記のほか隆起段丘、鍾乳洞やカルスト地形などの自然景観や人と自然のかかわりを示す文化景観や集落景観が含まれる。

自然景観については、その自然的特徴と公園利用の形態に配慮した保護管理を行い、文化景観、

集落景観については、人と自然とのかかわりを示す景観の維持や住民生活に配慮して適正な保護を図ることとする。

なお、奄美群島の国際的にも貴重な自然の価値、固有又は希少な動植物の保護、外来生物による悪影響等について、住民や公園利用者を対象として普及啓発を行うこととする。

(2) 保護規制計画

本公園は、島ごとに景観の特性が異なり多様な自然景観を有することが特徴となっているため、公園の保護についても島ごとの景観特性に合わせて行っていく必要がある。このため、以下のとおり島ごとに保護規制計画等の方針を定める。

(ア) 奄美大島

本区域は、アマミノクロウサギをはじめとする固有で希少な動植物の生息地・生育地である亜熱帯照葉樹林、マングローブ、リアス海岸や笠利湾の海岸景観、鳥類や海生生物が見られる干潟、サンゴ礁及び海浜といった多様な景観が見られる。

i) 奄美大島中南部及び北部に見られる固有で希少な野生動植物が生息・生育する亜熱帯照葉樹林は、それらの生息地・生育地保全を行う。奄美大島の風致景観維持や生物多様性保全上最も重要な中南部山地については、特に重要な地域は厳正な保護を図る。

亜熱帯照葉樹林の多くは過去に伐採された二次林であり、また局所的にスギ等の植林がなされている。これらについては、必要に応じて原生的な亜熱帯照葉樹林への再生を図るほか、森林施業に際しては、伐期、伐区、伐採方法の設定や保存林の確保等により生態系保全や固有又は希少な動植物の生息・生育環境保全への配慮を行う。

また、中南部の風致景観及び生息地・生育地保全上特に重要な地域については、道路通行の制限等により利用の調整を図る。

ii) 国内2番目の面積を誇り、優占種が沖縄と異なる住用マングローブについては、その特異な景観と海生生物等の生息地・生育地を厳正に保護する。

iii) 奄美大島本島と加計呂麻島にまたがる大島海峡のリアス海岸については、視点場及び道路沿線からの風致維持を図るとともに、サンゴの良好な生息海域である加計呂麻島地先海域の一部は海域景観の保護を図る。

また、請島、ハミヤ島及び加計呂麻島風崎については鳥類や固有動植物の保護を図る。

iv) 奄美大島北部の笠利湾については、視点場からの風致維持を図り、湾内の手花部干潟についても生物の生息地・生育地保全を図る。

iv) サンゴ礁と良好な海岸を有する笠利半島東海岸、大浜、宮古崎及びヒエン浜については、風致維持を図る。なお、サンゴの良好な生息海域である笠利半島東海岸の一部及び大浜摺子崎は海域景観の保護を図るとともに、海域景観の主要な構成要素をなす種や魚類等海生生物の生息地としての役割を持つ種の保護を図る。

(イ) 喜界島

本区域は、島の成り立ちを示す段丘地形と島に暮らす人々の土地利用が作り出した景観が特徴的である。

- i) 百之台及び周辺地域については、視点場からの景観維持及び森林の保護のため段丘斜面を厳正に保護するほか、周辺の島の成り立ちと島民生活が織りなす風景を維持する。
- ii) 島の周囲を覆う隆起裾礁の景観が顕著なトンビ崎、志戸桶海岸及び荒木海岸の地形や地被等の保全に留意して風致維持を図る。

(ウ) 徳之島

本区域は、アマミノクロウサギをはじめとする固有で希少な動植物の生息地・生育地である亜熱帯照葉樹林、ガジュマル、タブ、アマミアラカシ等で構成される低地林、海食崖等多様な海岸景観が見られる。

- i) 北部及び中南部の山地帯に見られる固有で希少な動植物の生息・生育する亜熱帯照葉樹林は、それらの生息地・生育地保全を行う。特に重要な地域は厳正な保護を図る。亜熱帯照葉樹林の多くは過去に伐採された二次林であり、また局所的にスギ等の植林がなされている。これらについては、必要に応じて原生的な亜熱帯照葉樹林への再生を図る。
- ii) 義名山のガジュマルやアマミアラカシ等で構成された低地高齢林は、当該地域の低地の森林植生として貴重であるため、厳正に保護を図る。また、周辺のリュウキュウマツやスダジイを主とした二次林についても良好な自然体験の場として風致維持を図る。
- iii) 花崗岩が露出する崎原海岸（ムシロ瀬）、犬の門蓋及び犬田布岬の海食崖は、徳之島の海岸の中でも特異で雄大な景観を有している。このため、厳正に保護を図る。
また、鹿浦川・阿権川河口部、喜念浜、畦海岸及び金見崎については、海岸の地形・地被等の保全に留意して風致維持を図る。

(エ) 沖永良部島

本区域は、琉球石灰岩のカルスト地形や海食崖をはじめとする海岸景観が特徴である。

- i) 琉球石灰岩による海岸地形が特徴的な田皆岬及び国頭岬・フーチャ周辺の海岸は、地形的特徴や地被の保護を図る。また、必要に応じて周辺部の風致維持を図る。
- ii) 屋子母から大津勘にかけての海岸部は、海岸の地形・地被等の保全に留意して風致維持を図る。
- iii) 鍾乳洞やドリネが見られる大山山腹部は、これらカルスト地形の保全を図る。
- iv) 島内に残された数少ない森林である大山山頂部は、森林景観の維持を図る。

(オ) 与論島

本区域は、沖合約1 kmに及ぶ広大な礁湖の景観が最大の特徴である。このため、当該礁湖の海域景観を隣接する海岸部と併せて海域全体の風致の維持を図るとともに、海域景観の主要

な構成要素をなす種や魚類等海生生物の生息地としての役割を持つ種の保護を図る。また、必要に応じて過去の白化現象やオニヒトデ食害などで衰退したサンゴ礁の再生を図る。

(カ) 各島共通

- i) 奄美群島の海岸部では、砂浜や岩礁でウミガメやアジサシ類をはじめとした海鳥の産卵・繁殖が見られる。これらの産卵や繁殖に配慮して保護管理を行う。
- ii) 植物においては、奄美群島や南西諸島に固有又は希少なものと及び当該地域の景観の主要な構成要素をなすものについて採取等による減少を防止する。

(3) 利用に関する基本方針

奄美群島国立公園は、固有又は希少な動植物が生息・生育する亜熱帯照葉樹林、リアス海岸、砂浜、干潟、海食崖などの多様で自然性の高い海岸や世界的北限に位置するサンゴ礁の海のほか、隆起段丘、鍾乳洞やカルスト地形、人と自然のかかわりを感じさせる文化景観など多様性に富んだ景観を有しており、島ごとに個性が異なる点が特徴となっている。また、自然資源や人と自然のかかわりを示す文化資源は国立公園内だけでなく公園外にも多く存在しており、観光地としての潜在的可能性を秘めている。

しかしながら、観光施設等において課題も多く、その資源の掘り起こしや磨き上げにも努力の余地を残している。今後、知名度が向上し受け入れ体制整備の促進が図られれば、大幅に来訪者が増加する可能性も否定できない。

このようなことから、「多様で貴重な自然資源や人と自然のかかわりを示す文化資源という地域の特徴を活かした自然体験を通して、来訪者に満足感を与え、自然や人と自然のかかわりに関する興味を喚起する」ことを目標として、次の方針により適正な利用を推進する。

(ア) 各島の個性を活かした利用の推進

固有又は希少な動植物等が構成する自然をゆっくりと堪能できて生態系の豊かさを感じられる利用や、地域の人々の営みの歴史や暮らしを垣間見ることによって人と自然のかかわりを感じられる利用など、それぞれの島の持つ個性を活かした利用を推進し、来訪者に地域ならではの自然体験を提供する。

(イ) 国立公園の外の地域との連携

それぞれの島には、国立公園の内外を問わず島の特徴を示す興味地点が存在する。来訪者の「旅」や「観光」という行為全体に対する満足感は、国立公園内での自然体験だけで完結するものではなく、国立公園外での体験も含めて総合的に感じるものだと考えられる。また、奄美群島の豊かで多様な自然と文化に触れることにより、来訪者はより高い満足感を得ることができると考えられる。このため、国立公園内で島の持つ個性を活かした質の高い自然体験の提供や来訪者の満足感の向上を目指すとともに、国立公園外の地域との連携も意識して施設整備その他の施策を推進する。

(ウ) 自然環境の保全と地域の持続的な発展の両立

国立公園の利用は、地域の観光振興という側面から地域の社会経済の発展に貢献することができる。一方、過剰な公園利用や特定の場所での利用の集中は、当該公園の自然環境に負の影響を及ぼしたり、自然体験の質の低下を引き起こし、来訪者の満足感を損なう危険性を秘めている。

このため、自然環境や利用の状況に応じて誰もが気軽に利用できるエリアと環境負荷を抑制する少人数利用や質の高い利用を前提にしたエリア等をゾーニングし、エリアに応じた利用の推進、施設整備やルール設定等を行って自然環境の保全と地域の持続的な発展の両立を図る。

(エ) 地域住民による利用と地域の風習やしきたりへの配慮

奄美群島では、住民が伝統的な風習で海辺を訪れたり、リーフや川で魚介類エビ類を採るなどといった風景が見られ、生活の中での自然とのかかわりが今も残されている。また、夕日を眺めながら一時の憩いの時間を海辺ですごしたり、日々の疲れを癒やすために家族で森林や海辺を訪れることもある。こうした時間や経験は、住民に生活の豊かさや郷土愛を感じさせる大きな要素となっていると考えられる。また、近年は地域環境学習の必要性やニーズの高まりも感じられる。

国立公園やその周辺部は、地域住民の生活の場でもある。また、地域には昔から守られてきたしきたりや風習が存在することもあり、来訪者がこれらを冒すことは避けなければならない。

国立公園の利用を推進するにあたっては、住民による国立公園の利用をも考慮して住民と自然とのかかわりの維持・回復に資するよう行っていくとともに、来訪者が住民の生活や地域のしきたり、風習を冒さぬよう配慮する必要がある。

<本公園の主たる利用形態>

(ア) 奄美大島

登山（湯湾岳）、海水浴（北部海岸等）、カヌー・カヤック（住用マングローブ、大島海峡）、森林内探勝（金作原）、野生動物観察（森林内道路）、景観探勝（大島海峡、笠利湾）、人文研究（秋名集落）、ドライブ（各所）、海中遊覧（大島海峡）、ダイビング（笠利湾、大島海峡等）

(イ) 喜界島

海岸探勝（荒木海岸）、景観探勝（百之台）、人文研究（阿伝集落）、ドライブ（各所）

(ウ) 徳之島

登山（天城岳）、海水浴（畦海岸等）、森林内探勝（カムイヤキの森等）、野生動物観察（森林内道路）、景観探勝（犬田布岬、犬の門蓋等）、人文研究（カムイヤキの森）、ドライブ（各所）、ダイビング（北部海岸等）

(エ) 沖永良部島

海水浴（沖泊海岸等）、景観探勝（田皆岬、フーチャ）、鍾乳洞探勝（昇竜洞）、ドライブ（各所）

(オ) 与論島

海水浴（大金久海岸等）、カヤック（皆田海岸）、ドライブ（各所）、海中遊覧（大金久海岸）

(4) 利用施設計画

利用者が奄美群島の地形や生物等の自然環境の多様性・固有性や、伝統的な人と自然とのかかわりを感じることができるようそれぞれ次のとおり適正な利用を推進することとし、それに必要な利用施設計画を配置するとともに、利用規制に関する取組を行う。

(ア) 奄美大島

- i) 奄美群島中最も利用者が多く、かつ利用資源も多岐にわたり、場合によっては大幅な利用者増加も想定される本地域では、一般利用者の利用ルートを設定して利用施設整備を図っていく

とともに、自然環境保全上重要な地域については、利用規制をも行うことで自然環境への悪影響防止と利用体験の提供の両立を図ることとする。

- ii) 利用者の拠点となる奄美空港及び名瀬市街地の周辺に位置する区域については、奄美空港及び名瀬市街を拠点とした利用ルートを設定し、最初に訪れて奄美の森に触れるとともに、自然そのものや注意事項その他の情報を入手できる施設や、奄美の海の自然や人と海とのかかわりに関する情報を入手でき、シュノーケリングや漁りなどの体験も可能な施設など必要な利用施設整備を図る。
- iii) 一般利用者の来訪が想定される北部地域と南部地域の景観探勝拠点については、視点場の整備を図る。
- iv) 固有又は希少な動植物の生息地・生育地である亜熱帯照葉樹林地域については、その保護上特に重要な区域については、道路通行規制やマイカー規制・シャトルバス運行等の道路及び通行利用の適正な管理を図り、利用による自然環境への悪影響の防止や希少植物の採取、希少動物の交通事故死の防止を図る。

必要に応じて、自然環境への影響に配慮しつつ亜熱帯照葉樹林の生態系や地域の人々の営みと自然とのかかわりを感じることができる歩道等の施設整備を行う。また、自然環境への悪影響を防止・抑制するための利用施設の整備を行う。
- v) 森林内での探勝利用、夜間の野生動物観察や、マングローブ・干潟や海域での探勝利用又はカヌー・カヤック利用については、自然環境及び野生生物への悪影響を考慮して、必要に応じて利用ルールの検討を行う。

(イ) 喜界島

- i) 島の成り立ちを示す段丘地形と島に暮らす人々の土地利用が作り出した景観が大きな特徴である本地域においては、視点場の整備、集落と視点場を結ぶ古道の歩道としての活用、集落内探勝による人文研究利用の促進を図る。
- ii) 海岸の隆起サンゴ礁原と自然植生を堪能できる利用施設の整備を図る。

(ウ) 徳之島

- i) 海岸部に点在する利用拠点の周遊が一般的な利用だと想定される本地域では、これら利用拠点の視点場等の整備を図る。
- ii) 固有又は希少な動植物の生息地・生育地である亜熱帯照葉樹林地域については、その保護上特に重要な区域については、道路通行規制等の道路及び通行利用の適正な管理を図り、希少植物の採取、希少動物の交通事故死の防止を図る。

また、必要に応じて、自然環境への影響に配慮しつつ固有な動植物等で構成される亜熱帯照葉樹林の生態系や地域の歴史を学び感じることができる歩道等の施設の整備や、自然環境への悪影響を防止・抑制するための利用施設の整備を行う。
- iii) 森林内での探勝利用については、自然環境及び野生生物への悪影響を考慮して、必要に応じ

て利用ルールを検討を行う。

(エ) 沖永良部島

- i) 海岸部に点在する利用拠点の周遊が一般的な利用だと想定される本地域では、これら利用拠点の視点場等の整備を図る。
- ii) 本地域の最大の特徴である鍾乳洞については、一般利用者を想定したものについては、歩道等必要な施設の整備を図り、ガイドツアー等による利用を想定したものについては、必要最小限の施設整備にとどめるとともに、必要に応じて利用ルールを検討を行う。

(オ) 与論島

- i) 奄美群島内でも傑出した海域景観を有する本地域では、大金久海岸に利用施設を整備して多数の利用者を誘導することにより、他の海岸の利用圧を低下させ静かな海域景観を堪能できるよう配慮する。
- ii) 大金久海岸以外の海岸部では、利用施設は必要最小限にとどめて自然海岸の風致を堪能できるようにする。

(カ) 各島共通

- i) 地域の自然的文化的資源の情報収集を図り、利用者が地域の生態系や人と自然のかかわりについて体感できる利用プログラムの開発等に努める。
- ii) 利用者及び一般国民に対して、積極的な情報の発信に努める。

2 規制計画

(1) 保護規制計画及び関連事項

ア 特別地域

次の区域を特別地域とする。

(表 1 : 特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
鹿児島県	奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 10 林班、202 林班から 204 林班まで及び 206 林班から 217 林班までの全部並びに 205 林班の一部 奄美市笠利町 大字宇宿、大字笠利、大字喜瀬、大字佐仁、大字須野、大字外金久、大字手花部、大字屋仁及び大字用の各一部 奄美市住用町 大字石原、大字市、大字神屋、大字川内、大字城、大字摺勝、大字西仲間、大字東仲間、大字見里、大字役勝、大字山間及び大字和瀬の各一部 奄美市名瀬 大字朝戸、大字芦花部、大字伊津部町、大字金久町、大字小宿、大字小湊、大字大熊、大字知名瀬、大字西仲勝及び大字根瀬部の各一部	12,809 国 2,088 公 4,034 私 6,135 不 552
	大島郡大和村内 国有林鹿児島森林管理署 230 林班の全部 大島郡大和村 大字今里、大字大金久、大字大棚、大字思勝、大字国直、大字志戸勘、大字津名久、大字戸円、大字名音、大字大和浜及び大字湯湾釜の各一部	5,329 国 72 公 1,156 私 3,909 不 192
	大島郡宇検村内 国有林鹿児島森林管理署 226 林班、227 林班及び 230 林班の全部並びに 228 林班及び 229 林班の各一部 大島郡宇検村 大字芦検、大字田検及び大字湯湾の各一部	4,147 国 668 公 1,789 私 1,666 不 24

都道府県名	区 域	面積 (ha)
鹿 児 島 県	大島郡瀬戸内町内 国有林鹿児島森林管理署218林班から224林班までの全部 大島郡瀬戸内町 大字阿木名、大字阿鉄、大字網野子、大字阿室釜、大字池地、大字生間、大字押角、大字勝浦、大字勝能、大字嘉鉄、大字嘉徳、大字久慈、大字管鈍、大字久根津、大字花天、大字花富、大字古志、大字小名瀬、大字古仁屋、大字薩川、大字実久、大字篠川、大字芝、大字諸数、大字諸鈍、大字清水、大字瀬相、大字節子、大字蘇刈、大字武名、大字手安、大字渡連、大字西阿室、大字西古見、大字俵、大字三浦、大字油井及び大字与路の各一部	9,263 国 981 公 780 私 6,966 不 536
	大島郡龍郷町 大字秋名、大字芦徳、大字安木屋場、大字幾里、大字浦、大字円、大字大勝、大字嘉渡、大字久場、大字瀬留及び大字龍郷の各一部	2,479 国 0 公 1,068 私 1,282 不 129
	奄美大島小計	34,027 国 3,809 公 8,827 私 19,958 不 1,433
	大島郡喜界町 大字阿伝、大字荒木、大字浦原、大字大朝戸、大字小野津、大字嘉鈍、大字川嶺、大字花良治、大字佐手久、大字志戸桶、大字滝川及び大字中里の各一部	352 国 0 公 33 私 170 不 149
	喜界島小計	352 国 0 公 33 私 170 不 149

都道府県名	区 域	面積 (ha)
鹿 児 島 県	大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 231 林班から 233 林班まで、240 林班、255 林班、256 林班から 260 林班までの全部並びに 239 林班及び 254 林班の各一部 大島郡徳之島町 大字井之川、大字金見、大字亀津、大字亀徳、大字花徳、大字山、大字下久志、大字白井、大字手々、大字轟木及び大字母間の各一部	2,914 国 1,178 公 230 私 1,327 不 179
	大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署234 林班、235 林班及び241 林班から 249 林班までの全部並びに 236 林班及び 238 林班の各一部 大島郡天城町 大字天城、大字大津川、大字岡前、大字兼久、大字瀬滝、大字当部、大字西阿木名、大字松原及び大字与名間の各一部	2,459 国 1,764 公 110 私 498 不 87
	大島郡伊仙町内 国有林鹿児島森林管理署250 林班及び251 林班の各一部 大島郡伊仙町 大字阿権、大字阿三、大字伊仙、大字糸木名、大字犬田布、大字喜念、大字木之香、大字小島、大字崎原、大字佐弁及び大字八重竿の各一部	382 国 190 公 16 私 63 不 113
	徳之島小計	5,755 国 3,132 公 356 私 1,888 不 379
	大島郡和泊町 大字国頭及び大字西原の各一部	57 国 0 公 8 私 0 不 49

都道府県名	区 域	面積 (ha)
鹿 児 島 県	大島郡知名町 大字大津勘、大字上城、大字上平川、大字下城、大字新城、大字住吉、大字瀬利覚、大字田皆、大字徳時及び大字屋子母の各一部	585 〔 国 0 〕 公 177 私 120 不 288
	沖永良部島小計	642 〔 国 0 〕 公 185 私 120 不 337
	大島郡与論町 大字茶花、大字那間、大字古里及び大字麦屋の各一部	125 〔 国 0 〕 公 16 私 10 不 99
	与論島小計	125 〔 国 0 〕 公 16 私 10 不 99
合 計		40,901 〔 国 6,941 〕 公 9,417 私 22,146 不 2,397

(ア) 特別保護地区

次の区域を特別保護地区とする。

(表 2 : 特別保護地区総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
鹿児島県	奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 202 林班、203 林班及び 213 林班の各一部 奄美市住用町 大字石原、大字神屋、大字川内、大字城、大字摺勝、大字役勝及び大字山間の各一部 奄美市名瀬 大字知名瀬の一部	2,304 〔 国 259 公 145 私 1,788 不 112 〕
	大島郡大和村内 国有林鹿児島森林管理署 230 林班の全部 大島郡大和村 大字思勝、大字名音の各一部	573 〔 国 30 公 25 私 517 不 1 〕
	大島郡宇検村内 国有林鹿児島森林管理署 230 林班の全部 大島郡宇検村 大字湯湾の一部	141 〔 国 140 公 0 私 1 不 0 〕
	大島郡瀬戸内町 大字阿木名及び大字嘉徳の各一部	787 〔 国 0 公 152 私 635 不 0 〕
		3,805 〔 国 429 公 322 私 2,941 不 113 〕
	奄美大島小計	

都道府県名	区 域	面積 (ha)
鹿児島県	大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 240 林班及び 260 林班の全部並びに 231 林班から 233 林班まで及び 257 林班から 259 林班までの各一部 大島郡徳之島町 大字山、大字手々及び大字轟木の各一部	741 〔 国 673 〕 公 0 私 68 不 0
	大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 243 林班の全部並びに 234 林班、235 林班、242 林班及び 244 林班から 246 林班までの各一部 大島郡天城町 大字当部の一部	683 〔 国 683 〕 公 0 私 0 不 0
	徳之島小計	1,424 〔 国 1,356 〕 公 0 私 68 不 0
	合 計	5,229 〔 国 1,785 〕 公 322 私 3,009 不 113

(表 3 : 特別保護地区内訳表)

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
大川、川内川 及び金久田 川上流部	鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 202 林班及び 203 林班の各一部 鹿児島県奄美市住用町 大字城及び大字摺勝の各一部 鹿児島県奄美市名瀬 大字知名瀬の一部	大川、川内川及び金久田川上流部でスダジイ等を主とする 80 年生以上の高齢照葉樹林を中心とする原生的地区で奄美固有の動植物の生息地・生育地となっている。また、一部地域は利用者が訪れる利用拠点の一つとなっている。 固有で希少な動植物保護のため、高齢照葉樹林を厳正に保護するとともに、若齢林については、高齢照葉樹林への誘導を図る。また、公園利用についても必要に応じて自然環境への負荷軽減のための措置を図る。	655 国 124 公 61 私 459 不 11
住用川及び 川内川中流 部	鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 213 林班の一部 鹿児島県奄美市住用町 大字神屋及び大字川内の各一部 鹿児島県大島郡大和村 大字思勝の一部	住用川中流部から川内川中流部にまたがる地区で、スダジイ等を主とする 80 年生以上の高齢照葉樹林がまとまって存在し山岳溪流と併せて原生的な森林景観を有する。 アマミノクロウサギ、ケナガネズミ、アマミトゲネズミ、オオトラツグミ、オットンガエルやアマミイシカワガエルなど固有動物、溪流植物や着生植物などが多く見られる奄美大島中南部地域の核心をなす地区であり、これらの生息地・生育地として特に厳正に保護する。	1,219 国 138 公 84 私 977 不 20

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
湯湾岳	鹿児島県大島郡大和村内 国有林鹿児島森林管理署 230 林班の全部 鹿児島県大島郡大和村 大字名音の一部 鹿児島県大島郡宇検村内 国有林鹿児島森林管理署 230 林班の全部 鹿児島県大島郡宇検村 大字湯湾の一部	<p>100 年生以上の高齢照葉樹林と山頂付近の風衝低木林を主とする地区で、奄美大島の中でも植物や昆虫などで固有種が多く、住用川及び川内川中流部にまたがる地区と並ぶ中南部地域の核心地区である。また、登山者等も訪れる場所となっている。固有で希少な動植物の保護と公園利用との間の軋轢を回避・抑制するよう特に厳正に保護を図る。</p>	265 国 167 公 25 私 73 不 0
役勝川中流部	鹿児島県奄美市住用町 大字役勝の一部	<p>役勝川下流から中流にかけて両岸にまたがって存在する 50～80 年生程度の比較的高齢な照葉樹林を中心とする地区である。国道 58 号の沿線景観を形成するとともにオオトラツグミ等固有動物の生息が確認されている。</p> <p>また、中部地域と南部地域の間位置するため、野生生物のコリドーとしての役割も期待される。</p> <p>道路からの景観維持及び野生動物の生息地保全に留意して保護を図る。</p>	590 国 0 公 0 私 586 不 4

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
住用マングローブ	鹿児島県奄美市住用町 大字石原、大字役勝及び大字山間の各一部	住用川及び役勝川の河口に位置するメヒルギを主とするマングローブ群落が発達する地区で、当該公園のなかでも特異な景観を有し、カヌー等の体験利用の場にもなっている。 汽水性ハゼ垂目魚類が豊富で極めて高い魚類相となっているうえ、リュウキュウアユ仔稚魚の生息環境としても重要であるため、特異な景観と水生生物の生息地の厳正な保護を図る。	82 国 0 公 0 私 5 不 77
鳥ヶ峰、肥後山一帯	鹿児島県奄美市住用町 大字役勝の一部 鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字嘉徳の一部	役勝川右岸から肥後山、鳥ヶ峰及び金川岳一帯に跨る地域で、60～80年生以上の比較的高齢な照葉樹林を主とする地区である。 アマミノクロウサギ、オオトラツグミやオットンガエル等固有動物の生息も確認されているうえ中部地域では見られない植物も見られるなど、奄美大島の固有性を保護するうえで重要性が高く厳正に保護を図る。 なお、若齢林については、高齢照葉樹林への誘導を図る。	761 国 0 公 0 私 760 不 1
油井岳北部	鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字阿木名の一部	60～80年生以上の比較的高齢の照葉樹林を主とする地区で、当該地周辺では数少ないまとまりのある高齢林である。 アマミノクロウサギや、オオトラツグミ、オットンガエル等の固有動物の生息地となっており、厳正に保護を図る。	233 国 0 公 152 私 81 不 0

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
天城岳及び 三方通岳	鹿児島県大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 231 林班から 233 林班までの各一部 鹿児島県大島郡徳之島町 大字山、大字手々及び大字轟木の各一部 鹿児島県大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 234 林班及び 235 林班の各一部	100 年生以上の高齢照葉樹林を多く含み、徳之島北部の森林地域の保全上核心となる地区で、まとまった面積のオキナワウラジロガシ群落も見られるほかアマミノクロウサギやトクノシマトゲネズミをはじめ固有動植物の生息地・生育地となっており、厳正に保護を図る。	582 国 514 公 0 私 68 不 0
井之川岳、丹 発山	鹿児島県大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 240 林班及び 260 林班の全部並びに 257 林班から 259 林班までの各一部 鹿児島県大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 243 林班の全部並びに 242 林班及び 244 林班から 246 林班までの各一部	100 年生以上の高齢照葉樹林を多く含む地区で、井之川岳山頂部を含む稜線沿いの風衝低木林と丹発山山麓部のオキナワウラジロガシ群落が特徴的である。 アマミノクロウサギやトクノシマトゲネズミ等固有動植物の生息地・生育地として徳之島森林地域の核心部であり、厳正に保護するとともに、若齢林や人工林については、高齢照葉樹林への再生・誘導を図る。	842 国 842 公 0 私 0 不 0

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
		合 計	5,229 [国 1,785] 公 322 私 3,009 不 113]

(イ) 第1種特別地域

次の区域を第1種特別地域とする。

(表4：第1種特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
鹿児島県	奄美市内 国有林鹿児島森林管理署206林班、208林班から212林班まで、216林班及び217林班の全部並びに202林班から205林班まで、207林班及び213林班の各一部	3,104
	奄美市住用町 大字市、大字神屋、大字川内、大字城、大字役勝、大字山間及び大字和瀬の各一部	国 1,401 公 1,439
	奄美市名瀬 大字朝戸、大字小宿及び大字知名瀬の各一部	私 250 不 14
	大島郡大和村 大字大棚、大字津名久、大字名音、大字大和浜及び大字湯湾釜の各一部	国 42 公 116 私 848 不 1
大島郡宇検村内 国有林鹿児島森林管理署229林班の一部	1,941	
大島郡宇検村 大字湯湾の一部	国 109 公 1,028 私 795 不 9	
大島郡瀬戸内町内 国有林鹿児島森林管理署218林班から224林班までの全部	1,648	
大島郡瀬戸内町 大字阿木名、大字勝浦、大字嘉徳及び大字篠川の各一部	国 981 公 52 私 600 不 15	

都道府県名	区 域	面積 (ha)
	大島郡龍郷町 大字円及び大字龍郷の各一部	39 国 0 公 34 私 4 不 1
	奄美大島小計	7,739 国 2,533 公 2,669 私 2,497 不 40
	大島郡喜界町 大字阿伝、大字荒木、大字浦原、大字大朝戸、大字小野津、大字嘉鈍、大字川嶺、大字花良治、大字志戸桶、大字滝川及び大字中里の各一部	261 国 0 公 1 私 159 不 101
	喜界島小計	261 国 0 公 1 私 159 不 101
	大島郡徳之島町内 国有林鹿兒島森林管理署254林班から257林班までの各一部 大島郡徳之島町 大字亀津、大字白井及び大字手々の各一部	229 国 204 公 11 私 11 不 3
	大島郡天城町内 国有林鹿兒島森林管理署 247 林班及び248 林班の全部並びに 232 林班、234 林班、236 林班、244 林班から246 林班まで及び 249 林班の各一部 大島郡天城町 大字兼久、大字西阿木名、大字松原及び大字与名間の各一部	562 国 485 公 26 私 41 不 10

都道府県名	区 域	面積 (ha)
	大島郡伊仙町内 国有林鹿兒島森林管理署 250 林班及び 251 林班の 各一部	229 国 149 公 14
	大島郡伊仙町 大字伊仙、大字小島及び大字崎原の各一部	私 15 不 51
	徳之島小計	1,020 国 838 公 51 私 67 不 64
	大島郡和泊町 大字国頭及び大字西原の各一部	57 国 0 公 8 私 0 不 49
	大島郡知名町 大字下城、大字新城及び大字田皆の各一部	23 国 0 公 0 私 0 不 23
	沖永良部島小計	80 国 0 公 8 私 0 不 72
	大島郡与論町 大字茶花、大字那間、大字古里及び大字麦屋の各一部	33 国 0 公 0 私 1 不 32

都道府県名	区 域	面積 (ha)								
	与論島小計	33 <table border="1"> <tr><td>国</td><td>0</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>1</td></tr> <tr><td>不</td><td>32</td></tr> </table>	国	0	公	0	私	1	不	32
国	0									
公	0									
私	1									
不	32									
これらの地域については地先海岸、地先島嶼及び地先岩礁を含む。										
	合 計	9,133 <table border="1"> <tr><td>国</td><td>3,371</td></tr> <tr><td>公</td><td>2,729</td></tr> <tr><td>私</td><td>2,724</td></tr> <tr><td>不</td><td>309</td></tr> </table>	国	3,371	公	2,729	私	2,724	不	309
国	3,371									
公	2,729									
私	2,724									
不	309									

(表5：第1種特別地域内訳表)

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
長雲峠	鹿児島県大島郡龍郷町 大字田及び大字龍郷の各一部	奄美自然観察の森を中心とした地区で、奄美大島北部におけるアマミノクロウサギやルリカケス、アマミイシカワガエル等の重要な生息地となっている。また、自然観察や風景探勝の利用拠点となっている。 固有動植物の生息地・生育地として、良好な自然体験の場として風致を維持する。	39 国 0 公 34 私 4 不 1
金作原	鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 202 林班から 204 林班までの各一部 鹿児島県奄美市名瀬 大字朝戸、大字小宿及び大字知名瀬の各一部	60～80 年生以上の比較的高齢の照葉樹林を主とする地区で、特に河川沿いは隣接する大川、川内川及び金久田川上流部特別保護地区とあいまって良好な風致を有する。また、一部地域は利用者が訪れる利用拠点の一つとなっている。 高齢照葉樹林の風致の維持を図るとともに、若齢林及び人工林は高齢照葉樹林への再生・誘導に努める。また、公園利用についても必要に応じて自然環境への負荷軽減のための措置を図る。	527 国 206 公 317 私 0 不 4

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
川内川上流部	鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 208 林班の全部 鹿児島県奄美市住用町 大字川内の一部 鹿児島県大島郡大和村 大字津名久及び大字湯湾釜の各一部	<p>リュウキュウマツの混じる照葉樹二次林で、局地的に高齢林が残されている。住用川及び川内川にまたがる核心地域と大川、川内川及び金久田川上流部をつなぐコリドーとして重要である。</p> <p>アマミノクロウサギやオオトラツグミの生息も確認されており、これらの生息地及びコリドーとして風致の維持を図る。</p>	376 国 69 公 69 私 237 不 1
川内川流域	鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 206 林班の全部及び 207 林班の一部	<p>川内川流域に位置し、大川、川内川及び金久田川上流部並びに住用川及び川内川中流部特別保護地区に隣接する地区で、高齢照葉樹林が広がっている。アマミノクロウサギやオオトラツグミの生息が確認されるなど、周辺の特別保護地区と併せて一体的に保全する必要がある。</p> <p>固有動植物の生息地・生育地として、十分な風致の維持を図る。</p>	156 国 156 公 0 私 0 不 0
住用川中流部	鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 210 林班から 212 林班までの全部及び 213 林班の一部 鹿児島県大島郡大和村 大字大圃、大字名音及び大字大和浜の各一部	<p>住用川の中流部で、スダジイ等を主とする高齢照葉樹林がまとまって存在し、隣接する住用川及び川内川中流部特別保護地区とともに奄美大島中南部地域の核心をなす地区である。</p> <p>アマミノクロウサギ、ケナガネズミ、アマミトゲネズミ、オオトラツグミ、オットンガエルやアマミイシカワガエルなど固有動物、溪流植物や着生植物などが多く見られ、これらの生息地・生育地として公園利用のあり方も含め十分な風致の維持を図るとともに、若齢林の高齢林への誘導に努める。</p>	1,311 国 490 公 47 私 774 不 0

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
湯湾岳山麓 及び河内川 上流部	鹿児島県奄美市住用町 大字役勝の一部 鹿児島県大島郡宇検村内 国有林鹿児島森林管理署 229 林班の一部 鹿児島県大島郡宇検村 大字湯湾の一部	湯湾岳山麓からヤクガチヨボシ岳に至る尾根を含む河内川上流部の一帯で、50年生未満と50～80年生の照葉樹林を主体とする。アマミノクロウサギやアマミトゲネズミ、オオトラツグミ等の固有動物が生息し、隣接する湯湾岳並びに住用川及び川内川中流部特別保護地区とともに奄美大島中南部地域の核心をなす地区を形成している。また、住用川中流部と湯湾岳、役勝川中流部の核心地域をつなぐコリドーとなっており非常に重要性が高い。 動植物の生息地・生育地及び核心地域を結ぶコリドーとして公園利用のあり方も含めて十分な風致の維持を図るとともに、若齢林の高齢林への誘導に努める。	2,113 国 133 公 1,175 私 793 不 12
城及び和瀬	鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 205 林班の一部 鹿児島県奄美市住用町 大字城及び大字和瀬の各一部 鹿児島県奄美市名瀬 大字朝戸の一部	若齢照葉樹林を主とするリュウキュウマツが混じる二次林であるが、アマミノクロウサギやオオトラツグミの生息地となっている。 固有動物の生息地として風致を維持するとともに、若齢林や人工林の高齢照葉樹林への再生・誘導に努める。	260 国 126 公 124 私 5 不 5

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
三太郎峠	鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 209 林班の全部 鹿児島県奄美市住用町 大字神屋の一部	三太郎峠周辺の比較的高齢の照葉樹林と若齢照葉樹林が混在する地区で、アマミノクロウサギやケナガネズミ等の生息地となっており、夜の動物観察等の利用が多い。 固有動物の生息地、良好な自然体験の場として風致を維持するとともに、若齢林の高齢照葉樹林への誘導に努める。	213
			国 54 公 158 私 1 不 0
役勝川下流部	鹿児島県奄美市住用町 大字役勝及び大字山間の各一部	役勝川下流部の両岸にまたがるリュウキュウマツが混じる二次林で、道路沿線の風致維持及び中部地域と南部地域をつなぐコリドーとしての役割が期待される。 道路沿線の風致維持及び野生動物の生息地保全に留意する。	131
			国 0 公 131 私 0 不 0
興福地川流域	鹿児島県奄美市住用町 国有林鹿児島森林管理署 216 林班の全部	役勝川支流興福地川下流部にあり、二次林主体の林分で、アマミノクロウサギ、アマミトゲネズミやカエル類の生息地となっている。 固有動物の生息地として風致を維持するとともに、若齢林の高齢林への誘導に努める。また、奄美大島中部と南部の鳥ヶ峰一帯をつなぐコリドーとしての役割が期待される。	204
			国 204 公 0 私 0 不 0

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
鳥ヶ峰、金川 岳一帯	鹿児島県奄美市住用町 大字市及び大字山間の各一部	山間集落後背地から金川岳周辺まで飛び石状に連なる地区で、若齢の二次林を主体とする。	724 国 0 公 571 私 153 不 0
	鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字嘉徳の一部	中部地域では見られない植物も見られるなど、奄美大島の固有性を保護するうえで隣接する特別保護地区とあいまって非常に重要性が高く隣接する特別保護地区の厳正保護と併せた十分な風致維持が必要である。若齢林については、高齢照葉樹林への誘導に努める。	
嘉徳	鹿児島県大島郡瀬戸内町内 国有林鹿児島森林管理署 224 林班の全部	高齢林の混じる照葉樹二次林で、アマミノクロウサギやカエル類の生息地となっている。 固有動物の生息地として風致を維持するとともに、若齢林の高齢林への誘導に努める。	108 国 108 公 0 私 0 不 0

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
役勝川上流部及び油井岳東部	鹿児島県奄美市住用町内 国有林鹿児島森林管理署 217 林班の全部 鹿児島県奄美市住用町 大字役勝の一部 鹿児島県大島郡瀬戸内町内 国有林鹿児島森林管理署 218 林班から 223 林班までの全部 鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字阿木名、大字勝浦及び大字篠川の各一部	<p>60～80 年生以上の高齢照葉樹林が混じる若齢林を主体とする地区で、アマミノクロウサギ、ケナガネズミ、アマミトゲネズミ、オオトラツグミ、オットンガエル等の固有動物が生息し、役勝川にはリュウキュウアユが遡上するなど奄美大島の固有性を保護するうえで重要性が高い。</p> <p>油井岳北部特別保護地区や役勝川上流部特別保護地区と中南部の他地域をつなぐコリドーとしても重要であり、風致の維持が必要である。</p> <p>残存する高齢林の保護を図るとともに若齢林や人工林の高齢照葉樹林への再生・誘導に努める。</p>	1,575 国 986 公 43 私 530 不 16
トンビ崎	鹿児島県大島郡喜界町 大字小野津及び大字志戸桶の各一部	<p>隆起珊瑚礁（隆起裾礁）の海岸で、荒涼とした岩場の海岸景観が特徴的である。後背地には海岸の自然植生が残されており、これら地形と植生に留意して風致の維持を図る。</p>	38 国 0 公 0 私 12 不 26

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
百之台	鹿児島県大島郡喜界町 大字阿伝、大字浦原、大字大朝戸、大字嘉鈍、大字川嶺、大字花良治及び大字滝川の各一部	隆起サンゴ礁段丘で形成された島の最高地点から段丘斜面で、アコウ、ガジュマル、ハマイヌビワ、タブノキなどの森林となっている。当該地からの展望は段丘斜面、平地の耕作地、防風林に囲まれた集落及び隆起珊瑚礁海岸を一望することができる島の地形形成や営みを理解することができるもので、本公園の代表的な風致の一つとなっている。 これらに留意して風致の維持を図る。	190 国 0 公 1 私 141 不 48
荒木海岸	鹿児島県大島郡喜界町 大字荒木及び大字中里の各一部	隆起珊瑚礁（隆起裾礁）の海岸で、隆起珊瑚礁海岸上及び後背地には海岸の自然植生が残されており、本公園の中でも他の島で見ることができない喜界島特有の海岸景観を有している。 これら地形と植生に留意して風致の維持を図る。	33 国 0 公 0 私 6 不 27
ムシロ瀬	鹿児島県大島郡徳之島町 大字手々の一部 鹿児島県大島郡天城町 大字与名間の一部	花崗岩が露出した海岸で、本公園でも特異な景観を有している。 地形と海岸植生の保全に留意して風致の維持を図る。	32 国 0 公 14 私 11 不 7

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
天城岳山麓	鹿児島県大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 232 林班及び 234 林班の各一部	天城岳の山麓に位置し、高齢照葉樹林を主体とする徳之島北部の森林地域の保全上重要な地区である。アマミノクロウサギやトクノシマトゲネズミをはじめ固有動植物が生息・生育しており、隣接する天城岳及び三方通岳特別保護地区と併せて一体的に保全する必要がある。 固有動植物の生息地・生育地として、十分な風致の維持を図る。	70 国 70 公 0 私 0 不 0
寝姿山	鹿児島県大島郡天城町 大字松原及び大字与名間の各一部	比較的林齢の高い照葉樹林に覆われており、隣接する特別保護地区とともに天城岳から連続する稜線の眺望景観が特徴的で周辺にはアマミノクロウサギも生息している。森林と眺望景観の保全に留意して風致の維持を図る。	29 国 0 公 0 私 29 不 0
大城山	鹿児島県大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 236 林班の一部	高齢照葉樹林と若齢照葉樹林が混在する地区で、アマミノクロウサギの生息も確認されている。固有動物の生息地保全に留意して風致の維持を図る。	104 国 104 公 0 私 0 不 0
犬の門蓋	鹿児島県大島郡天城町 大字兼久の一部	隆起した琉球石灰岩が浸食されてできた海食崖ときこの岩などの奇岩が特徴的な地区である。 駐車場や歩道などの視点場からの海岸景観と海岸植生の保全に留意して風致の維持を図る。	29 国 0 公 13 私 11 不 5

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
井之川岳山麓	鹿児島県大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 257 林班の一部 鹿児島県大島郡徳之島町 大字亀津の一部 鹿児島県大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 244 林班の一部	<p>井之川岳の山麓に位置し、高齢照葉樹林を主体とする地区で、井之川岳山頂に通ずる登山道の入口を含む。アマミノクロウサギやトクノシマトゲネズミをはじめ固有動植物が生息・生育しており、隣接する井之川岳、丹発山特別保護地区と併せて一体的に保全する必要がある。</p> <p>固有動植物の生息地・生育地の保全及び森林景観に留意して、十分な風致の維持を図る。</p>	86 国 74 公 10 私 0 不 2

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
犬田布岳及び三京	鹿児島県大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 254 林班から 256 林班までの各一部 鹿児島県大島郡徳之島町 大字白井の一部 鹿児島県大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 247 林班及び 248 林班の全部並びに 245 林班、246 林班及び 249 林班の各一部 鹿児島県大島郡天城町 大字西阿木名の一部 鹿児島県大島郡伊仙町内 国有林鹿児島森林管理署 250 林班及び 251 林班の各一部	<p>100 年以上の高齢照葉樹林を含む照葉樹二次林主体の森林で、オキナワウラジロガシ林が見られるほか、アマミノクロウサギやケナガネズミの生息が確認されている。</p> <p>固有動植物の生息地・生育地の保全に留意して風致の維持を図る。</p>	592 国 591 公 0 私 1 不 0
犬田布岬	鹿児島県大島郡伊仙町 大字小島及び大字崎原の各一部	<p>隆起した琉球石灰岩が浸食されてできた海食崖が特徴で、本公園随一のスケールの大きな断崖景観を有する。</p> <p>犬田布岬及び小原地区の視点場からの断崖景観の保全に留意して風致の維持を図る。</p>	66 国 0 公 0 私 15 不 51

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
義名山	鹿児島県大島郡伊仙町 大字伊仙の一部	低地の琉球石灰岩地に残されたガジュマル、アマミアラカシ及びタブ等の巨木が見られる学術的にも貴重な森林である。低地の自然林としては本公園の中でも代表的で、保護の重要性が高い。 低地の貴重な自然林の保全に留意して風致の維持を図る。	14 国 0 公 14 私 0 不 0
国頭岬	鹿児島県大島郡和泊町 大字国頭及び大字西原の各一部	隆起珊瑚礁の岩場を主とする海岸で、岩場や砂浜の植生や礁池の海岸景観が特徴的である。特にフーチャの隆起珊瑚海岸で見られる潮の吹き上げ現象は特殊景観を呈しており、これらの保全に留意して風致の維持を図る。	57 国 0 公 8 私 0 不 49
田皆岬及び 沖泊海岸	鹿児島県大島郡知名町 大字下城、大字新城及び大字田皆の各一部	田皆岬は、琉球石灰岩の海食崖の優れた断崖景観があり、沖泊海岸は海食崖下の砂浜、植生、礁湖が特徴的な地区で沖永良部島随一の景勝地である。 田皆岬からの断崖景観と沖泊海岸の海岸景観の保全に留意して風致の維持を図る。	23 国 0 公 0 私 0 不 23
与論海岸	鹿児島県大島郡与論町 大字茶花、大字那間、大字古里及び大字麦屋の各一部	海域を中心とする与論島地域の中で、礁湖と併せて当該地区の海岸景観の核心をなす地区で本公園を代表する海岸景観の一つと言える。 砂浜を主とする海岸と琉球石灰岩の岩礁及び隆起珊瑚礁植生等の海浜植生で構成される海岸景観は島内部の農村景観と隔絶された貴重な自然景観となっている。海岸及び植生の自然性及びその連続性の保全に留意して風致の維持を図る。	33 国 0 公 0 私 1 不 32

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
		合 計	9,133 国 3,371 公 2,729 私 2,724 不 309

(ウ) 第2種特別地域

次の地域を第2種特別地域とする。

(表6：第2種特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
鹿児島県	奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 214 林班及び 215 林班の全部 並びに 204 林班及び 207 林班の各一部 奄美市笠利町 大字宇宿、大字笠利、大字喜瀬、大字佐仁、大字須野、 大字外金久、大字手花部、大字屋仁及び大字用の各一部 奄美市住用町 大字石原、大字市、大字神屋、大字川内、大字城、大 字西仲間、大字東仲間、大字見里、大字役勝、大字山 間及び大字和瀬の各一部 奄美市名瀬 大字朝戸、大字芦花部、大字伊津部町、大字金久町、 大字小宿、大字小湊、大字大熊、大字知名瀬及び大字 西仲勝の各一部	6,932 国 402 公 2,257 私 3,893 不 380
	大島郡大和村 大字今里、大字大金久、大字大棚、大字思勝、大字志 戸勘、大字津名久、大字戸円、大字名音、大字大和浜 及び大字湯湾釜の各一部	3,693 国 0 公 1,014 私 2,503 不 176
	大島郡宇検村内 国有林鹿児島森林管理署 226 林班及び 227 林班の全部 並びに 228 林班及び 229 林班の各一部 大島郡宇検村 大字芦検、大字田検及び大字湯湾の各一部	2,065 国 419 公 761 私 870 不 15

都道府県名	区 域	面積 (ha)
鹿児島県	大島郡瀬戸内町 大字阿木名、大字阿鉄、大字網野子、大字阿室釜、大字池地、大字生間、大字押角、大字勝浦、大字勝能、大字嘉鉄、大字嘉徳、大字久慈、大字管鈍、大字久根津、大字花天、大字花富、大字古志、大字小名瀬、大字古仁屋、大字薩川、大字実久、大字篠川、大字芝、大字諸数、大字諸鈍、大字清水、大字瀬相、大字節子、大字蘇刈、大字武名、大字手安、大字渡連、大字西阿室、大字西古見、大字俵、大字三浦、大字油井及び大字与路の各一部	6,828 国 0 公 576 私 5,731 不 521
	大島郡龍郷町 大字秋名、大字芦徳、大字安木屋場、大字幾里、大字浦、大字円、大字大勝、大字嘉渡、大字久場、大字瀬留及び大字龍郷の各一部	2,440 国 0 公 1,034 私 1,278 不 128
	奄美大島小計	21,958 国 821 公 5,642 私 14,275 不 1,220
	大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 231 林班から 233 林班まで、239 林班、255 林班、256 林班及び 259 林班の各一部 大島郡徳之島町 大字井之川、大字亀津、大字亀徳、大字花徳、大字山、大字下久志、大字白井、大字手々、大字轟木及び大字母間の各一部	1,751 国 260 公 217 私 1,217 不 57
	大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 241 林班の全部並びに 235 林班、238 林班、242 林班、244 林班及び 249 林班の各一部 大島郡天城町 大字天城、大字岡前、大字兼久、大字当部、大字西阿木名、大字松原及び大字与名間の各一部	1,132 国 596 公 46 私 427 不 63

都道府県名	区 域	面積 (ha)
	大島郡伊仙町内 国有林鹿兒島森林管理署 250 林班及び 251 林班の各一部	140 国 41 公 0 私 45 不 54
	大島郡伊仙町 大字阿権、大字阿三、大字伊仙、大字糸木名、大字喜念、大字木之香、大字佐弁及び大字八重竿の各一部	
	徳之島小計	3,023 国 897 公 263 私 1,689 不 174
	大島郡知名町 大字大津勘、大字上城、大字上平川、大字下城、大字新城、大字住吉、大字瀬利覚、大字田皆、大字徳時及び大字屋子母の各一部	237 国 0 公 177 私 8 不 52
	沖永良部島小計	237 国 0 公 177 私 8 不 52
これらの地域については地先海岸、地先島嶼及び地先岩礁を含む。		
	合 計	25,218 国 1,718 公 6,082 私 15,972 不 1,446

(表 7 : 第 2 種特別地域内訳表)

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
笠利半島東 海岸	鹿児島県奄美市笠利町 大字宇宿、大字笠利、大字佐仁、大字 須野及び大字用の各一部並びにこれら の地先岩礁	笠利崎から大瀬海岸まで続く砂浜を主とした海岸で、裾礁が 連続し海水浴客等が訪れる。 海岸、海浜植生及び視点場からの礁池景観に留意して風致の 維持を図るとともに、ウミガメの産卵地やアジサシ等海鳥の繁 殖地の保全にも留意する。	218
			国 0 公 24 私 84 不 110
笠利湾	鹿児島県奄美市笠利町 大字喜瀬、大字外金久、大字手花部及 び大字屋仁の各一部並びに大字喜瀬の 地先岩礁 (立神) 鹿児島県大島郡龍郷町 大字芦徳の一部	奄美自然観察の森からの展望対象となっている海岸部と手花 部干潟で形成される。視点場からの展望、海岸及び海岸植生に 留意して風致の維持を図るとともに、ウミガメの産卵地やアジ サシ等海鳥の繁殖地の保全にも留意する。 手花部干潟は、汽水性の希少貝類が多く、シオマネキ類も複 数種が見られ、干潟の生物観察に適した場所である。水生生物 の生息及びマングローブ群落の保全に留意して風致の維持を図 る。	273
			国 0 公 89 私 95 不 89

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
奄美大島北 部山地	鹿児島県奄美市名瀬 大字芦花部及び大字大熊の各一部並び に大字芦花部の地先岩礁 鹿児島県大島郡龍郷町 大字秋名、大字安木屋場、大字幾里、 大字浦、大字円、大字大勝、大字嘉渡、 大字久場、大字瀬留及び大字龍郷の各 一部並びに大字秋名の地先岩礁	秋名川水系及び長雲峠周辺を主とする地区で、リュウキュウ マツの割合の高い照葉樹二次林である。また、安木場海岸及び 武運崎付近の海岸も含む。付近一帯の森林は、奄美大島北部の アマミノクロウサギの主要な生息地として重要である。 視点場からの展望景観及びアマミノクロウサギ等固有動植物 の生息・生育に留意して風致の維持を図る。	2,878 国 0 公 1,152 私 1,569 不 157
金作原	鹿児島県奄美市名瀬 大字小宿及び大字知名瀬の各一部	利用拠点の一つである金作原原生林に至るルート沿線にあた る地区で、主として若齢の照葉樹二次林となっているが、オオ トラツグミ等固有動物の生息も確認されている。 利用ルート沿線及び尾根筋や河川沿いの保全に留意して風致 の維持を図る。 また、公園利用についても必要に応じて自然環境への負荷軽 減のための措置を図る。	294 国 0 公 133 私 156 不 5

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)								
大川及び金久田川	<p>鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 204 林班の一部</p> <p>鹿児島県奄美市住用町 大字城及び大字和瀬の各一部</p> <p>鹿児島県奄美市名瀬 大字朝戸、大字伊津部町及び大字金久 町の各一部</p>	<p>大川及び金久田川水系に位置し、照葉樹二次林を主体とする が局地的にオキナワウラジログシ林も見られる。アマミノクロ ウサギやオオトラツグミの生息地となっている。</p> <p>これらの生息地として尾根筋や河川沿いの保全に留意して風 致の維持を図る。</p>	<p>1,289</p> <table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>653</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>8</td> </tr> </table>	国	128	公	500	私	653	不	8
国	128										
公	500										
私	653										
不	8										
和瀬及び西仲勝	<p>鹿児島県奄美市住用町 大字和瀬の一部</p> <p>鹿児島県奄美市名瀬 大字朝戸、大字小湊及び大字西仲勝の 各一部</p>	<p>城及び和瀬第1種特別地域に隣接し、国道58号の東側に位置 する。照葉樹二次林やリュウキュウマツ林を主として果樹園等 の耕作地も含まれる。中南部地域のアマミノクロウサギ、オオ トラツグミやカエル類の生息の東端の一部となっており、これ らの生息や国道58号からの沿線景観に留意して風致の維持を図 る。</p>	<p>517</p> <table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>345</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>68</td> </tr> </table>	国	0	公	104	私	345	不	68
国	0										
公	104										
私	345										
不	68										

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)								
住用川及び川内川	<p>鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 207 林班の一部</p> <p>鹿児島県奄美市住用町 大字石原、大字神屋、大字川内、大字西仲間、大字東仲間、大字見里及び大字役勝の各一部</p> <p>鹿児島県大島郡大和村 大字大棚、大字思勝、大字津名久、大字名音、大字大和浜及び大字湯湾釜の各一部</p>	<p>住用川中流部及び川内川水系にまたがる広大な地区で、主として照葉樹二次林からなる。アマミノクロウサギ、ケナガネズミ、アマミトゲネズミ、オオトラツグミ及びアマミイシカワガエルの主要な生息地として重要性が高く、夜の動物観察等の利用もなされている。</p> <p>当該公園の核心を形成する地域の一部として尾根筋や河川沿いの保全に留意して十分な風致の維持を図るとともに、固有動物の交通事故の防止等にも留意する。</p>	<p>2,922</p> <table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>1,052</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>1,779</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>45</td> </tr> </table>	国	46	公	1,052	私	1,779	不	45
国	46										
公	1,052										
私	1,779										
不	45										
河内川上流部	<p>鹿児島県奄美市住用町 大字役勝の一部</p> <p>鹿児島県大島郡宇検村 大字湯湾の一部</p>	<p>役勝川中流部特別保護地区並びに湯湾岳山麓及び河内川上流部第1種特別地域に隣接する河内川上流部を主とする地区である。</p> <p>照葉樹二次林を主体とするが、河内川上流部はアマミノクロウサギやアマミトゲネズミ、ケナガネズミ等の主要な生息地であり、周辺の特別保護地区及び第1種特別地域と併せて一体的に保全する必要がある。</p> <p>固有動物の生息地として尾根筋や河川沿いの保全に留意して十分な風致の維持を図るとともに、国道58号沿線の風致を維持する。</p>	<p>430</p> <table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>392</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>1</td> </tr> </table>	国	0	公	37	私	392	不	1
国	0										
公	37										
私	392										
不	1										

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
住用川下流部	鹿児島県奄美市住用町 大字神屋及び大字西仲間の各一部	住用川下流部の低水敷で、リュウキュウアユの生息河川として重要である。水生生物の生息に留意して風致の維持を図る。	9 国 0 公 0 私 1 不 8
役勝川下流部	鹿児島県奄美市住用町 大字石原、大字役勝及び大字山間の各一部	役勝川中下流部の低水敷で、リュウキュウアユの生息河川として重要である。水生生物の生息に留意して風致の維持を図る。	11 国 0 公 0 私 0 不 11
滝ノ鼻山	鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 214 林班及び 215 林班の全部 鹿児島県奄美市住用町 大字石原、大字神屋及び大字見里の各一部並びに地先岩礁	旧国道 58 号から東側に位置する照葉樹二次林を主とする地区である。海岸付近にはリュウキュウマツ林や海岸林が見られる。アマミノクロウサギ、アマミトゲネズミ、ケナガネズミやカエル類の生息が確認されており、これらの生息地として尾根筋や河川沿いの保全に留意して風致の維持を図るとともに、旧国道 58 号沿線の風致を維持する。	429 国 228 公 13 私 184 不 4

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
小川岳	鹿児島県大島郡大和村 大字大金久、大字大棚、大字戸円及び 大字名音の各一部	住用川の源流部に位置し、南は湯湾大棚線、西は名音線を境界とする地区でリュウキュウマツ林や耕作地の混じる照葉樹二次林を主とする。アマミイシカワガエルやアマミノクロウサギ等の固有動植物が見られ、原生的な森林も局地的に残されているうえ、既存の利用施設があることから森林の適正な利用推進を図る拠点地区として期待される。 固有動植物の生息地・生育地として尾根筋や河川沿いの保全に留意して森林利用の拠点として風致の維持を図る。	1,127 国 0 公 263 私 722 不 142
今里	鹿児島県大島郡大和村 大字今里の一部及び地先岩礁（立神）	今里集落西側にそびえるリュウキュウマツや海岸二次林で覆われた雄大な断崖と、集落沖合の岩礁（立神）である。 集落及び県道79号からの断崖景観と岩礁景観に留意して風致の維持を図る。	136 国 0 公 8 私 120 不 8
湯湾岳山麓	鹿児島県大島郡大和村 大字今里、大字志戸勘及び大字名音の 各一部 鹿児島県大島郡宇検村 大字芦検、大字田検及び大字湯湾の各 一部	湯湾岳の北部から西部にかけての山麓部の一帯で、名音川流域、湯湾川中流部及び湯湾岳から北西に延びる尾根を含む地区である。照葉樹二次林を主とし、アマミノクロウサギをはじめ固有動植物の生息・生育が多く確認されており、湯湾岳特別保護地区等の核心地域と一体的に保全する必要がある。 固有動植物の生息地・生育地として尾根筋や河川沿いの保全に留意して十分な風致の維持を図るとともに、湯湾大棚線沿線の風致を維持する。	1,639 国 66 公 221 私 1,333 不 19

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
河内川西部	鹿児島県大島郡宇検村内 国有林鹿児島森林管理署 226 林班及び 227 林班の全部並びに 228 林班及び 229 林班の各一部 鹿児島県大島郡宇検村 大字湯湾の一部	河内川左岸側の一帯で、上流部から下流部までを含む。照葉樹二次林を主とし、アマミノクロウサギの分布の西端に近く、上流部はアマミシカワガエルやオットンガエル等の重要な生息地となっている。 固有動物の生息地として尾根筋や河川沿いの保全に留意して風致の維持を図るとともに、県道 85 号沿線の風致を維持する。	1,321 国 353 公 758 私 200 不 10
役勝川上流部及び油井岳一帯	鹿児島県奄美市住用町 大字役勝の一部 鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字阿木名、大字阿鉄、大字網野子、大字勝浦、大字久根津、大字小名瀬、大字古仁屋、大字篠川及び大字油井の各一部	鳥ヶ峰及び金川岳一帯第 2 種特別地域の西側に位置し、国道 58 号を境界とする地区で、役勝川上流部特別保護地区、油井岳北部特別保護地区並びに役勝川上流部及び油井岳東部第 1 種特別地域を取り囲む照葉樹二次林を主とする。アマミノクロウサギやケナガネズミ、オオトラツグミ、カエル類など多くの動物が確認されており、周辺の特別保護地区及び第 1 種特別地域と一体的に保全する必要がある。 固有動植物の生息地・生育地として尾根筋や河川沿いの保全に留意して風致の維持を図るとともに、国道 58 号及び県道 612 号沿線の風致を維持する。	1,874 国 0 公 130 私 1,704 不 40

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
鳥ヶ峰及び 金川岳一帯	鹿児島県奄美市住用町 大字市、大字役勝及び大字山間の各一部並びに大字市の地先岩礁 鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字網野子、大字嘉徳及び大字節子の各一部並びに大字嘉徳及び大字節子の地先岩礁	役勝川中下流部右岸から鳥ヶ峰、金川岳及び嘉徳集落一体を囲む地区で、西は国道 58 号を境界とする。 若齢の照葉樹二次林を主とするが、一部に 80 年生以上の高齢林を含む。アマミノクロウサギ、ケナガネズミ、アマミトゲネズミ、カエル類やオオトラツグミも確認されており、周辺の特別保護地区及び第 1 種特別地域と一体的に保全する必要がある。 固有動植物の生息地・生育地として尾根筋や河川沿いの保全に留意して風致の維持を図るとともに、国道 58 号沿線の風致を維持する。	2,704 国 0 公 875 私 1,803 不 26
大島海峡	鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字阿鉄、大字阿室釜、大字生間、大字押角、大字勝能、大字嘉鉄、大字久慈、大字管鈍、大字久根津、大字花天、大字古志、大字小名瀬、大字古仁屋、大字薩川、大字実久、大字篠川、大字芝、大字諸数、大字諸鈍、大字清水、大字瀬相、大字蘇刈、大字武名、大字手安、大字渡連、大字西古見、大字俵、大字三浦及び大字油井の各一部並びにこれらの地先岩礁	大島海峡を挟んで奄美大島本島と加計呂麻島にまたがる地区で、リアス海岸景観が特徴となっている。 奄美大島本島及び加計呂麻島に点在する展望地点からの展望及び沿岸道路や海上からの眺望に留意して風致の維持を図る。 また、アジサシ等海鳥の繁殖地や固有植物の生育地の保全にも留意する。	3,140 国 0 公 272 私 2,520 不 348

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
加計呂麻島 風崎	鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字花富及び大字西阿室の各一部並び に大字西阿室の地先岩礁	加計呂麻島の南西端に位置し、請島水道に大きく突きだした 半島景観が特徴となっている。 海上からの眺望及びアマミヤマシギ等固有動植物の生息地・ 生育地の保全に留意して風致の維持を図る。	356 国 0 公 10 私 286 不 60
ハミヤ島	鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字与路の一部及び地先岩礁	与路島の東海上に浮かぶ無人島で、アナドリ及びオオミズナ ギドリの繁殖地の保全に留意して風致の維持を図る。	14 国 0 公 0 私 0 不 14
請島大山	鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字池地の一部及び地先岩礁	請島西部の大山一帯で、比較的高齢の照葉樹林を主とする地 区である。 ウケジママルバネクワガタをはじめ固有動植物の生息地・生 育地として重要で、これらの生息地・生育地の保全に留意して 風致の維持を図る。	377 国 0 公 0 私 329 不 48

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)								
徳之島北部 山地	鹿児島県大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 231 林班から 233 林班の各一部	天城岳及び三方通岳特別保護地区の周囲を囲む地区で、主として照葉樹二次林となっており、徳之島北部のアミノクロウサギほか固有動物の生息域として重要で、これらの生息地の保全に留意して風致の維持を図る。	980								
	鹿児島県大島郡徳之島町 大字花徳、大字山、大字手々及び大字轟木の各一部										
	鹿児島県大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 235 林班の一部										
	鹿児島県大島郡天城町 大字岡前、大字松原及び大字与名間の各一部										
			<table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>860</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>34</td> </tr> </table>	国	86	公	0	私	860	不	34
国	86										
公	0										
私	860										
不	34										

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)								
徳之島中部 山地及び山 麓部	<p>鹿児島県大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 239 林班、256 林班及び 259 林班の各一部</p> <p>鹿児島県大島郡徳之島町 大字井之川、大字亀津、大字亀徳、大字花徳、大字下久志及び大字母間の各一部</p> <p>鹿児島県大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 241 林班の全部並びに 238 林班、242 林班及び 244 林班の各一部</p> <p>鹿児島県大島郡天城町 大字天城、大字兼久、大字当部及び大字西阿木名の各一部</p>	<p>井之川岳・丹発山特別保護地区を囲む地区で、照葉樹二次林を主としリュウキュウマツ林も見られる。美名田山付近には高齢照葉樹林が広がり、北部と中部をつなぐコリドーとしての役割も期待される。アマミノクロウサギの中部生息域を含むほかケナガネズミやトクノシマトゲネズミの生息も確認されており、固有動物の生息地の保全に留意して風致の維持を図る。</p>	<p>1,723</p> <table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>629</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>233</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>776</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>85</td> </tr> </table>	国	629	公	233	私	776	不	85
国	629										
公	233										
私	776										
不	85										

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
犬田布岳山麓	鹿児島県大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 255 林班の一部 鹿児島県大島郡徳之島町 大字白井の一部 鹿児島県大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 249 林班の一部 鹿児島県大島郡天城町 大字西阿木名の一部 鹿児島県大島郡伊仙町内 国有林鹿児島森林管理署 250 林班及び 251 林班の各一部 鹿児島県大島郡伊仙町 大字糸木名及び大字八重竿の各一部	犬田布岳山麓部の一帯で、リュウキュウマツ林と照葉樹二次林が混在する。ケナガネズミの生息が確認されており、犬田布岳山頂部から三京に至る核心地域と一体的に保全する必要がある。 固有動物の生息地の保全に留意して風致の維持を図る。	227 国 182 公 31 私 8 不 6
阿権川及び鹿浦川	鹿児島県大島郡伊仙町 大字阿権、大字阿三及び大字木之香の各一部	阿権川及び鹿浦川沿いの崖地と河口部付近の断崖地からなり、河川断崖や海岸崖地に自然植生が見られる。 断崖景観及び固有動植物の生息地・生育地の保全に留意して風致の維持を図る。	65 国 0 公 0 私 38 不 27

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
義名山	鹿児島県大島郡伊仙町 大字伊仙の一部	義名山第1種特別地域に隣接する照葉樹二次林で、当該地域と併せて一体的に保全する必要がある。 森林の保全に留意して風致の維持を図る。	8 国 0 公 0 私 2 不 6
喜念浜	鹿児島県大島郡伊仙町 大字喜念及び大字佐弁の各一部	外海、礁縁、礁池、砂浜、砂丘という一連の地形が見られ、闘牛が散歩する風景も加わって徳之島らしさが感じられる地区である。 砂丘の保全に留意して風致の維持を図る。	20 国 0 公 0 私 5 不 15
田皆岬及び 沖泊海岸	鹿児島県大島郡知名町 大字下城、大字新城及び大字田皆の各一部	田皆岬は、琉球石灰岩の海食崖の優れた断崖景観があり、沖泊海岸は海食崖下の砂浜、植生、礁池が特徴的な地区で沖永良部島随一の景勝地である。 特に海食崖上の植生や田皆岬や沖泊海岸の園地からの海岸及び断崖景観の保全に留意して風致の維持を図る。	30 国 0 公 0 私 5 不 25
大山山頂部	鹿児島県大島郡知名町 大字上城、大字上平川、大字下城、大字住吉、大字瀬利覚及び大字田皆の各一部	非石灰岩地に成立する照葉樹二次林とリュウキュウマツ林となっており、ごく部分的に自然植生を含む。森林の維持に留意して風致の維持を図る。	177 国 0 公 173 私 1 不 3

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
大津勘及び 屋子母海岸	鹿児島県大島郡知名町 大字大津勘、大字住吉、大字徳時及 び大字屋子母の各一部	サンゴ礁を有する砂浜の海岸で、ビーチロックが特徴的である。後背地の植生を含め海浜全体の風致の維持を図る。	30
			国 0 公 4 私 2 不 24
		合 計	25,218 国 1,718 公 6,082 私 15,972 不 1,446

(エ) 第3種特別地域

次の区域を第3種特別地域とする。

(表8：第3種特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
鹿児島県	奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 10 林班の全部 奄美市名瀬 大字小宿、大字知名瀬及び大字根瀬部の各一部	469 〔 国 26 〕 公 193 私 204 不 46
	大島郡大和村 大字国直及び大字戸円の各一部	56 〔 国 0 〕 公 1 私 41 不 14
	奄美大島小計	525 〔 国 26 〕 公 194 私 245 不 60
	大島郡喜界町 大字荒木、大字佐手久、大字志戸桶及び大字中里の各一部	91 〔 国 0 〕 公 32 私 11 不 48
	喜界島小計	91 〔 国 0 〕 公 32 私 11 不 48
	鹿児島県	大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 258 林班及び 259 林班の各一部 大島郡徳之島町 大字金見、大字山及び大字手々の各一部

都道府県名	区 域	面積 (ha)
鹿児島県	大島郡天城町 大字大津川、大字兼久及び大字瀬滝の各一部	82 〔 国 0 〕 公 38 私 30 不 14
	大島郡伊仙町 大字犬田布の一部	13 〔 国 0 〕 公 2 私 3 不 8
	徳之島小計	288 〔 国 41 〕 公 42 私 64 不 141
	大島郡知名町 大字大津勘、大字住吉、大字瀬利覚及び大字徳時の各一部	325 〔 国 0 〕 公 0 私 112 不 213
	沖永良部島小計	325 〔 国 0 〕 公 0 私 112 不 213
	大島郡与論町 大字茶花、大字那間、大字古里及び大字麦屋の各一部	92 〔 国 0 〕 公 16 私 9 不 67

都道府県名	区 域	面積 (ha)
	与論島小計	92 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;"> 国 0 公 16 私 9 不 67 </div>
これらの地域については地先海岸、地先島嶼及び地先岩礁を含む。		
	合 計	1,321 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;"> 国 67 公 284 私 441 不 529 </div>

(表9：第3種特別地域内訳表)

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
大浜	鹿児島県奄美市名瀬 大字小宿及び大字知名瀬の各一部	名瀬西部に位置し、主要な海水浴場を含む。公園利用の拠点として風致の維持を図る。	206 国 0 公 133 私 39 不 34
松永山東部	鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 10 林班の全部	松永山東部の大川水系に位置し、照葉樹二次林を主体とする森林である。森林の保全に留意して風致の維持を図る。	26 国 26 公 0 私 0 不 0
宮古崎	鹿児島県奄美市名瀬 大字根瀬部の一部及び地先岩礁 鹿児島県大島郡大和村 大字国直の一部及び地先岩礁	思勝湾東側に位置し、ササ原やタイワンヤマツツジが特徴となっているほか、海岸断崖植生も見られる。 海岸植生の保全に留意して風致の維持を図る。	277 国 0 公 61 私 199 不 17
ヒエン浜	鹿児島県大島郡大和村 大字戸円の一部及び地先岩礁	広大な礁湖と海浜植生が特徴的な地区で、これらの保全に留意して風致の維持を図る。	17 国 0 公 0 私 7 不 10

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
志戸桶海岸	鹿児島県大島郡喜界町 大字佐手久及び大字志戸桶の各一部	隆起珊瑚礁（隆起裾礁）の海岸で、荒涼とした岩場の海岸 景観が特徴的な地区で、この景観の保全に留意して風致の維持を図る。	74 国 0 公 32 私 2 不 40
荒木海岸	鹿児島県大島郡喜界町 大字荒木及び大字中里の各一部	隆起珊瑚礁（隆起裾礁）の海岸で、隆起珊瑚礁海岸上及び 後背地に海岸の自然植生が残されており、これら地形と植生 に留意して風致の維持を図る。	17 国 0 公 0 私 9 不 8
金見崎	鹿児島県大島郡徳之島町 大字金見、大字山及び大字手々の各 一部	隆起珊瑚礁の岩場や砂浜が見られる海岸を主とし、ソテツ 群落の特徴的な地区である。隆起珊瑚礁植生や砂丘植生を含 む海岸景観及びソテツ群落景観の保全に留意して風致の維持 を図る。	64 国 0 公 2 私 1 不 61
畦海岸	鹿児島県大島郡徳之島町 大字山の一部	砂浜と枝サンゴが特色である礁池を主とする地区で、後背 地は耕作地が多い。 砂浜及び礁池の景観の保全に留意して風致の維持を図る。	86 国 0 公 0 私 30 不 56

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
犬の門蓋	鹿児島県大島郡天城町 大字大津川、大字兼久及び大字瀬滝 の各一部	犬の門蓋海食崖の崖上部及び隣接する海岸で構成され、犬の門蓋海食崖と一体となって断崖景観を形成する。視点場からの海岸景観及び自然植生の保全に留意して風致の維持を図る。	82 国 0 公 38 私 30 不 14
井之川岳山麓	鹿児島県大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 258 林班及び 259 林班の各一部	井之川岳南東部の山麓に位置し、照葉樹二次林を主とする森林である。森林の保全に留意して風致の維持を図る。	42 国 41 公 0 私 0 不 1
犬田布岬	鹿児島県大島郡伊仙町 大字犬田布の一部	犬田布岬海食崖の崖上部にあたり、断崖景観を展望する視点場となる地区である。断崖景観を構成する第1種特別地域と併せて一体的な風致の維持を図る。	13 国 0 公 2 私 3 不 8
大山	鹿児島県大島郡知名町 大字大津勘、大字住吉、大字瀬利覚及び大字徳時の各一部	ドリーネと鍾乳洞が特徴的な地区で、本公園の代表的なカルスト地形景観の一つとなっている。これらの保全に留意して風致の維持を図る。	325 国 0 公 0 私 112 不 213

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)										
与論海岸	鹿児島県大島郡与論町 大字茶花、大字那間、大字古里及び大 字麦屋の各一部	砂浜を主とする海岸の後背地にあたり、一部に利用上重要な海浜を含む。海浜の自然植生や自然性の高い海岸の連続性の保全に留意して風致の維持を図る。	92										
			<table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>67</td> </tr> </table>	国	0	公	16	私	9	不	67		
国	0												
公	16												
私	9												
不	67												
		合 計	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>1,321</td> </tr> <tr> <td>国</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>284</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>441</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>529</td> </tr> </table>		1,321	国	67	公	284	私	441	不	529
	1,321												
国	67												
公	284												
私	441												
不	529												

イ 海域公園地区

海域公園地区を次のとおりとする。

(表 10：海域公園地区表)

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
笠利半島東 海岸	鹿児島県奄美市笠利町 大字用地先	<p>用集落の地先海域の礁池内及び礁斜面で、礁斜面ではミドリイシ属が優占しているが、アオサンゴなども見られ種数も多い。潮流が早く土砂流出等内陸からの影響は受けにくい。礁池内は、平成 10 年の白化現象により優占していた枝状ミドリイシ群落は壊滅したが、塊状ハマサンゴ、キクメイシ類、ミドリイシ属の小群体や卓状ミドリイシも見られる。</p> <p>現在は、白化現象等による影響を受けているがサンゴの生息環境として良好な場所であることから、引き続き海域公園地区として海域景観の維持を図る。</p>	65
摺子崎	鹿児島県奄美市名瀬 大字小宿地先	<p>摺子崎の地先海域の礁池内及び礁斜面で、礁斜面では平成 10 年の白化現象による影響はあるものの回復傾向にあり、ミドリイシ属が優占している。礁池内ではマイクロアトールを形成するハマサンゴやハナガササンゴの小群体等を見ることができる。</p> <p>現在は、白化現象等による影響を受けているがサンゴの生息環境として良好な場所であることから、引き続き海域公園地区として海域景観の維持を図る。</p>	79

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
大島海峡 1号	鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字実久及び大字芝地先	潮通しが良く外洋性のサンゴの生息が見られる。 平成13年のオニヒトデ大量発生により壊滅的打撃を受けたが、ミドリイシ属の小群体が散見され回復途上にある。サンゴの生息環境として良好な場所であることから、海域公園地区として海域景観の維持・再生を図る。	26
大島海峡 2号	鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字芝地先	潮通しが良く外洋性のサンゴの生息が見られる。 平成14年のオニヒトデ大量発生により壊滅的打撃を受けたが、ミドリイシ属の小群体が散見され回復傾向が現れ始めた。サンゴの生息環境として良好な場所であることから、海域公園地区として海域景観の維持・再生を図る。	20
大島海峡 3号	鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字武名及び大字三浦地先	大島海峡の内部に位置し、外洋性と内湾性のサンゴが見られる。塊状及び枝状ハマサンゴ群落やハマシコロサンゴ群落、ミドリイシ属のほか、ナンヨウキサンゴやリュウキュウイソバナなどが良好な状態で残されており、海域公園地区として海域景観の維持を図る。	23

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
与論島礁湖	鹿児島県大島郡与論町 大字茶花、大字那間、大字古里及び大 字麦屋地先	<p>品覆海岸から赤崎までの堡礁内一帯の地区（与論海岸海域公園地区1・2・3号を除く）で、海岸部や与論海岸海域公園地区と併せて海域がその魅力である本公園与論島地域の核心をなし、本公園を代表する景観の一つである。</p> <p>海岸から見た当該地区の海域景観、砂浜を主とする海岸と琉球石灰岩の岩礁及び隆起珊瑚礁植生等の海浜植生で構成される景観は島内部の農村景観と隔絶された貴重な自然景観となっており、海岸部から見た海域景観の保全に留意して風致の維持を図る。</p> <p>また、海中については、与論海岸海域公園地区1・2・3号を含む礁湖内を一つの区域として、かつての美しい海域景観の再生を図っていくこととする。</p>	747
与論海岸 1号	鹿児島県大島郡与論町 大字那間及び大字古里地先	<p>堡礁内は全体に白砂の海底でかつては枝状ミドリイシ群落が見られたが、平成10年の大規模な白化現象などで大きな被害を受けた。しかし、種多様性はまだ残されており回復途上にある。本地区南側は潮通しがよく、礁湖内の中ではサンゴの生息状態がよい。</p> <p>大型のハマサンゴ属などのほか、スズメダイ類やニザダイ類などの魚類が見られる。礁湖全域の保全再生に留意しつつ必要に応じてサンゴをはじめとする海域の再生を図っていくものとする。</p>	96

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
与論海岸 2号	鹿児島県大島郡与論町 大字那間地先	<p>堡礁内は全体に白砂の海底でかつては枝状ミドリイシ群落が見られたが、平成10年の大規模な白化現象などで大きな被害を受け、現在は海草が優占しており、ウミガメ等の餌場となっている場所もある。</p> <p>サンゴ群集においては、ユビエダハマサンゴや塊状ハマサンゴが優占し、一部にはロッパウハナガササンゴ等も観察される。礁湖内全域に留意しつつ必要に応じてサンゴをはじめとする海域の再生を図っていくものとする。</p>	5
与論海岸 3号	鹿児島県大島郡与論町 大字麦屋地先	<p>堡礁内は全体に白砂の海底でかつては枝状ミドリイシ群落が見られたが、平成10年の大規模な白化現象などで大きな被害を受けたが、種多様性はまだ残されており回復途上にある。本地区北側は潮通しがよく、礁湖内の中では稚サンゴの加入率が高い。</p> <p>塊状ハマサンゴや枝状のユビエダハマサンゴが優占し、スズメダイ類などの魚類が見られる。礁湖全域の保全再生に留意しつつ必要に応じてサンゴをはじめとする海域の再生を図っていくものとする。</p>	64
合 計			1,125

ウ 関連事項

(ア) 捕獲等規制動植物及び区域

海域公園地区において、捕獲若しくは殺傷又は採取若しくは損傷を規制する動物及びその区域を次のとおりとする

(表 12：捕獲等規制動物及び区域表)

海域公園地区名	区域	区域の概要	面積 (ha)	捕獲等規制動物
笠利半島東海岸 海域公園地区	奄美市笠利町 大字用地先	<p>用集落の地先海域の礁池内及び礁斜面で、礁斜面ではミドリイシ属が優占しているが、アオサンゴなども見られ種数も多い。潮流が早く土砂流出等内陸からの影響は受けにくい。礁池内は、平成 10 年の白化現象により優占していた枝状ミドリイシ群集は壊滅したが、塊状ハマサンゴ、キクメイシ類、ミドリイシ属の小群体や卓状ミドリイシも見られる。</p> <p>現在は、白化現象等による影響を受けているがサンゴの生息環境として良好な場所である。</p>	65	表 12 別表のとおり
摺子崎海域公園 地区	奄美市名瀬 大字小宿地先	<p>摺子崎の地先海域の礁池内及び礁斜面で、礁斜面では平成 10 年の白化現象による影響はあるものの回復傾向にあり、卓状ミドリイシが優占している。礁池内ではマイクロアトールを形成するハマサンゴやハナガササンゴの小群体等を見ることができる。</p> <p>現在は、白化現象等による影響を受けているがサンゴの生息環境として良好な場所である。</p>	79	表 12 別表のとおり

名称	区域	区域の概要	面積 (ha)	捕獲等規制 動植物
大島海峡1号、 2号及び3号海 域公園地区	大島郡瀬戸内町 大字実久、大字芝、 大字武名及び大字三 浦の各地先	大島海峡の外縁部から内部に散在する海域公園地区群で、外洋性と内湾性のサンゴが見られる。一部は平成13年及び平成14年のオニヒトデ大量発生により壊滅的打撃を受けたが、回復傾向が見られる。塊状及び枝状ハマサンゴ群集やハマシコロサンゴ群集、卓状ミドリイシのほか、ナンヨウキサンゴやリュウキュウイソバナなどが良好な状態で残されており、サンゴの生息環境として良好な場所である。	69	表12別表のと おり
与論島礁湖海域 公園地区	大島郡与論町 大字茶花、大字那間、 大字古里及び大字麦 屋の各地先	品覆海岸から赤崎までの堡礁内一帯の地区（与論海岸海域公園地区1・2・3号を除く）で、海岸部や与論海岸海域公園地区と併せて海域がその魅力である本公園与論島地域の核心をなし、本公園を代表する景観の一つである。 海岸から見た当該地区の海域景観、砂浜を主とする海岸と琉球石灰岩の岩礁及び隆起珊瑚礁植生等の海浜植生で構成される景観は島内部の農村景観と隔絶された貴重な自然景観となっており、海中については、与論海岸海域公園地区1・2・3号を含む礁湖内を一つの区域として、かつての美しい海域景観の再生を図っていくこととする。	747	表12別表のと おり

名称	区域	区域の概要	面積 (ha)	捕獲等規制 動植物
与論海岸1号、 2号及び3号海 域公園地区	大島郡与論町 大字那間、大字古里 及び大字麦屋の各地 先	<p>堡礁内に散在する海域公園地区群で、平成10年の大規模な白化現象などで大きな被害を受けたが、種多様性はまだ残されており回復途上にある。また、ロップウハナガササンゴが優占する特異なサンゴ群集も見られ礁湖内でも珍しい海域を含む。</p> <p>礁湖内海域の動植物の生息地・生育地の核として保全・再生を図る。</p>	165	表12別表のと おり

(表 12 別表 : 捕獲等規制動植物表)

対象捕獲等規制区域名	捕獲等規制動植物名
笠利半島東海岸海城公園地区	<p>◆魚類</p> <p><i>Rhinomuraena quaesita</i> (ハナヒゲウツボ)、<i>Plotosus japonicus</i> (ゴンズイ)、<i>Hippocampus histrix</i> (イバラタツ)、<i>Antennarius striatus</i> (カエルアンコウ)、<i>Choeroichthys sculptus</i> (チゴヨウジ)、<i>Hippichthys (Parasyngnathus) penicillus</i> (ガンテンイシヨウジ)、<i>Doryrhamphus (Doryrhamphus) excisus excisus</i> (ヒバシヨウジ)、<i>Micrognathus andersonii</i> (カンムリヨウジ)、<i>Histrio histrio</i> (ハナオコゼ)、<i>Pseudanthias squamipinnis</i> (キンギョハナダイ)、<i>Pseudanthias elongatus</i> (ナガハナダイ)、<i>Pseudanthias pascalus</i> (ハナゴイ)、<i>Cheilodipterus quinquelineatus</i> (ヤライイシモチ)、<i>Cheilodipterus macrodon</i> (リュウキュウヤライイシモチ)、<i>Fowleria isostigma</i> (ナハマトイシモチ)、<i>Fowleria variegata</i> (シボリ)、<i>Apogonichthys ocellatus</i> (マトシボリ)、<i>Apogon unicolor</i> (ハナイシモチ)、<i>Apogon exostigma</i> (ユカタイシモチ)、<i>Apogon fraenatus</i> (ヒトスジイシモチ)、<i>Apogon indicus</i> (リュウキュウイシモチ)、<i>Apogon coccineus</i> (コミナトテンジクダイ)、<i>Apogon novemfasciatus</i> (タスジイシモチ)、<i>Apogon nigrofasciatus</i> (ミナミフトスジイシモチ)、<i>Apogon properuptus</i> (キンセンイシモチ)、<i>Apogon doederleini</i> (オオスジイシモチ)、<i>Apogon endekataenia</i> (コスジイシモチ)、<i>Apogon notatus</i> (クロホシイシモチ)、<i>Nectamia bandanensis</i> (バンダイシモチ)、<i>Gymnapogon japonicus</i> (クダリボウズギス)、<i>Microcanthus strigatus</i> (カゴカキダイ)、<i>Heniochus varius</i> (ツノハタタテダイ)、<i>Heniochus chrysostomus</i> (ミナミハタタテダイ)、<i>Heniochus monoceros</i> (オニハタタテダイ)、<i>Heniochus singularis</i> (シマハタタテダイ)、<i>Heniochus acuminatus</i> (ハタタテダイ)、<i>Forcipiger flavissimus</i> (フエヤッコダイ)、<i>Hemitaurichthys polylepis</i> (カスミチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon trifascialis</i> (ヤリカタギ)、<i>Chaetodon plebeius</i> (スミツキトノサマダイ)、<i>Chaetodon auriga</i> (トゲチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon ephippium</i> (セグロチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon bennetti</i> (ウミヅキチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon unimaculatus</i> (イッテンチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon speculum</i> (トノサマダイ)、<i>Chaetodon lunula</i> (チョウハン)、<i>Chaetodon punctatofasciatus</i> (シチセンチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon argentatus</i> (カガミチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon</i></p>

vagabundus (フウライチヨウチヨウウオ)、*Chaetodon lunulatus* (ミスジチヨウチヨウウオ)、*Chaetodon lineolatus* (ニセフウライチヨウチヨウウオ)、*Chaetodon ornatissimus* (ハナグロチヨウチヨウウオ)、*Chaetodon ulietensis* (スダレチヨウチヨウウオ)、*Chaetodon melannotus* (アケボノチヨウチヨウウオ)、*Chaetodon rafflesii* (アミチヨウチヨウウオ)、*Chaetodon auripes* (チヨウチヨウウオ)、*Chaetodon kleinii* (ミゾレチヨウチヨウウオ)、*Chaetodon xanthurus* (アミメチヨウチヨウウオ)、*Chaetodon citrinellus* (ゴマチヨウチヨウウオ)、*Chaetodon daedalma* (コウゼン)、*Pomacanthus semicirculatus* (サザナミヤッコ)、*Pomacanthus imperator* (タテジマキンチャクダイ)、*Chaetodontoplus mesoleucus* (チリメンヤッコ)、*Apothemichthys trimaculatus* (シテンヤッコ)、*Pygoplites diacanthus* (ニシキヤッコ)、*Centropyge heraldi* (ヘラルドコガネヤッコ)、*Centropyge tibicen* (アブラヤッコ)、*Centropyge bicolor* (ソメワケヤッコ)、*Centropyge vrolikii* (ナメラヤッコ)、*Genicanthus lamarck* (タテジマヤッコ)、*Amphiprion perideraion* (ハナビラクマノミ)、*Amphiprion frenatus* (ハマクマノミ)、*Amphiprion ocellaris* (カクレクマノミ)、*Amphiprion clarkii* (クマノミ)、*Chromis flavomaculatus* (キホシスズメダイ)、*Chromis chrysurus* (アマミスズメダイ)、*Chromis viridis* (デバスズメダイ)、*Chromis xanthurus* (モンズズメダイ)、*Chromis albicauda* (コガネスズメダイ)、*Dascyllus trimaculatus* (ミツボシクロスズメダイ)、*Dascyllus reticulatus* (フタスジリュウキュウスズメダイ)、*Dascyllus aruanus* (ミスジリュウキュウスズメダイ)、*Plectroglyphidodon lacrymatus* (ルリホシスズメダイ)、*Plectroglyphidodon dickii* (イシガキスズメダイ)、*Pomachromis richardsoni* (オキナワスズメダイ)、*Plectroglyphidodon imparipennis* (イワサキスズメダイ)、*Plectroglyphidodon leucozonus* (ハクセンスズメダイ)、*Abudefduf notatus* (イソスズメダイ)、*Abudefduf septemfasciatus* (シチセンスズメダイ)、*Chrysiptera rex* (レモンズズメダイ)、*Chrysiptera cyanea* (ルリスズメダイ)、*Chrysiptera unimaculata* (イチモンズズメダイ)、*Chrysiptera biocellata* (スジブチスズメダイ)、*Chrysiptera brownriggii* (ミヤコキセンスズメダイ)、*Chrysiptera glauca* (ネズズメダイ)、*Amblyglyphidodon curacao* (クラカオスズメダイ)、*Neoglyphidodon melas* (クロスズメダイ)、*Neoglyphidodon nigroris* (ヒレナガスズメダイ)、*Pomacentrus coelestis* (ソラスズメダイ)、*Pomacentrus moluccensis* (ネッタイスズメダイ)、*Stegastes nigricans* (クロソラスズメダイ)、*Goniistius zonatus* (タカノハダイ)、*Goniistius zebra*

(ミギマキ)、*Pseudodax moluccanus*(ブダイベラ)、*Choerodon fasciatus*(シチセンベラ)、*Bodianus oxycephalus*(キツネダイ)、*Bodianus bilunulatus*(キツネベラ)、*Anampses geographicus*(ムシベラ)、*Anampses meleagrides*(ホクトベラ)、*Anampses twistii*(ホシスキベラ)、*Anampses caeruleopunctatus*(ブチスキベラ)、*Cheilio inermis*(カマスベラ)、*Gomphosus varius*(クギベラ)、*Hemigymnus melapterus*(タレクチベラ)、*Hemigymnus fasciatus*(シマタレクチベラ)、*Labroides bicolor*(ソメワケベラ)、*Labroides dimidiatus*(ホンソメワケベラ)、*Pteragogus aurigarius*(オハグロベラ)、*Stethojulis maculata*(スミツキカミナリベラ)、*Stethojulis trilineata*(オニベラ)、*Stethojulis strigiventer*(ハラスジベラ)、*Stethojulis bandanensis*(アカオビベラ)、*Stethojulis interrupta terina*(カミナリベラ)、*Macropharyngodon meleagris*(ノドグロベラ)、*Thalassoma janseni*(ヤンセンニシキベラ)、*Thalassoma hardwicke*(セナスジベラ)、*Thalassoma amblycephalum*(コガシラベラ)、*Thalassoma quinquevittatum*(ハコベラ)、*Thalassoma purpureum*(キヌベラ)、*Thalassoma lutescens*(ヤマブキベラ)、*Thalassoma lunare*(オトメベラ)、*Thalassoma cupido*(ニシキベラ)、*Halichoeres hortulanus*(トカラベラ)、*Halichoeres scapularis*(セイテンベラ)、*Halichoeres trimaculatus*(ミツボシキュウセン)、*Halichoeres tenuispinis*(ホンベラ)、*Halichoeres melanochir*(ムナテンベラ)、*Halichoeres marginatus*(カノコベラ)、*Halichoeres orientalis*(ツキベラ)、*Halichoeres margaritaceus*(アカニジベラ)、*Halichoeres nebulosus*(イナズマベラ)、*Pseudocoris yamashiroi*(ヤマシロベラ)、*Coris gaimard*(ツユベラ)、*Coris picta*(ムスメベラ)、*Hologymnosus annulatus*(ナメラベラ)、*Cirrhilabrus cyanopleura*(クロヘリイトヒキベラ)、*Epibulus insidiator*(ギチベラ)、*Pseudocheilinus hexataenia*(ニセモチノウオ)、*Cheilinus chlorourus*(アカテンモチノウオ)、*Cheilinus trilobatus*(ミツバモチノウオ)、*Oxycheilinus unifasciatus*(ヒトスジモチノウオ)、*Oxycheilinus bimaculatus*(タコベラ)、*Novaculichthys taeniourus*(オビテンスモドキ)、*Zanclus cornutus*(ツノダシ)、*Zebrasoma veliferum*(ヒレナガハギ)、*Zebrasoma flavescens*(キイロハギ)、*Paracanthurus hepatus*(ナンヨウハギ)、*Acanthurus triostegus*(シマハギ)、*Acanthurus nigricans*(メガネクロハギ)、*Acanthurus olivaceus*(モンツキハギ)、*Bostrychus sinensis*(ジャノメハゼ)、*Xenisthmus clarus*(ヤナギハゼ)、*Oplopomus oplopomus*(ケシヨウハゼ)、*Gobiopsis arenaria*(イサゴハゼ)、

Callogobius okinawae (ナメラハゼ)、*Callogobius hasseltii* (オキナワハゼ)、*Callogobius tanegasimae* (タネハゼ)、*Asterropteryx semipunctata* (ホシハゼ)、*Gnatholepis cauerensis* (カタボシオオモンハゼ)、*Gnatholepis anjerensis* (オオモンハゼ)、*Amblygobius hectori* (キンセンハゼ)、*Amblygobius phalaena* (サラサハゼ)、*Gobiodon okinawae* (キイロサンゴハゼ)、*Gobiodon rivulatus* (タスジコバンハゼ)、*Gobiodon quinquestrigatus* (フタイロサンゴハゼ)、*Gobiodon oculolineatus* (クマドリコバンハゼ)、*Gobiodon unicolor* (ムジコバンハゼ)、*Bryaninops natans* (アカメハゼ)、*Pleurosicya mossambica* (セボシウミタケハゼ)、*Pleurosicya muscara* (ウミタケハゼ)、*Macrodontogobius wilburi* (マダラハゼ)、*Tridentiger trigonocephalus* (アカオビシマハゼ)、*Bathygobius petrophilus* (シジミハゼ)、*Bathygobius fuscus* (クモハゼ)、*Bathygobius coalitus* (クロヤハズハゼ)、*Bathygobius cocosensis* (スジクモハゼ)、*Bathygobius cyclopterus* (ヤハズハゼ)、*Bathygobius cotticeps* (クサビハゼ)、*Rhinogobius giurinus* (ゴクラクハゼ)、*Cabillus tongarevae* (ヨリメハゼ)、*Favonigobius gymnauchen* (ヒメハゼ)、*Istigobius ornatus* (カザリハゼ)、*Istigobius campbelli* (クツワハゼ)、*Cryptocentrus sericus* (フタホシタカノハハゼ)、*Vanderhorstia phaeosticta* (ヤツシハゼ)、*Ctenogobiops crocineus* (ホホスジシノビハゼ)、*Ctenogobiops pomastictus* (シノビハゼ)、*Amblyeleotris diagonalis* (ハチマキダテハゼ)、*Amblyeleotris steinitzi* (ヒメダテハゼ)、*Paragobiodon lacunicolus* (パンダダルマハゼ)、*Paragobiodon modestus* (ヨゴレダルマハゼ)、*Paragobiodon melanosomus* (クロダルマハゼ)、*Paragobiodon xanthosomus* (アカネダルマハゼ)、*Paragobiodon echinocephalus* (ダルマハゼ)、*Valenciennea longipinnis* (サザナミハゼ)、*Valenciennea puellaris* (オトメハゼ)、*Valenciennea strigata* (アカハチハゼ)、*Fusigobius inframaculatus* (ハタタテサンカクハゼ)、*Fusigobius humeralis* (カタボシサンカクハゼ)、*Fusigobius duospilus* (セボシサンカクハゼ)、*Fusigobius gracilis* (セスジサンカクハゼ)、*Fusigobius neophytus* (サンカクハゼ)、*Priolepis borea* (ミサキスジハゼ)、*Priolepis semidoliata* (イレズミハゼ)、*Priolepis inhaca* (アミメベンケイハゼ)、*Priolepis cincta* (ベンケイハゼ)、*Eviota nigriventris* (ソメワケイソハゼ)、*Eviota prasites* (アオイソハゼ)、*Eviota shimadai* (ハナグロイソハゼ)、*Eviota toshiyuki* (ミドリハゼ)、*Eviota prasina* (ナンヨウミドリハゼ)、*Eviota smaragdus* (クロホシイソハゼ)、*Eviota melasma* (アカホシイソハゼ)、*Eviota korechika* (シボリイソハゼ)、*Eviota*

queenslandica (ホシヒレイソハゼ)、*Eviota japonica* (ミナミイソハゼ)、*Eviota abax* (イソハゼ)、*Parioglossus dotui* (サツキハゼ)、*Ptereleotris hanae* (ハナハゼ)、*Ptereleotris evides* (クロユリハゼ)、*Cirripectes polyzona* (ミノカエルウオ)、*Istiblennius enosimae* (カエルウオ)、*Blenniella caudolineata* (アオテンギンポ)、*Salarias fasciatus* (ヤエヤマギンポ)、*Ecsenius bicolor* (フタイロカエルウオ)、*Ecsenius yaeyamaensis* (イシガキカエルウオ)、*Meiacanthus atrodorsalis* (オウゴンニジギンポ)、*Meiacanthus grammistes* (ヒゲニジギンポ)、*Meiacanthus kamoharai* (カモハラギンポ)、*Pterois lunulata* (ミノカサゴ)、*Balistapus undulatus* (クマドリ)、*Pseudobalistes flavimarginatus* (キヘリモンガラ)、*Rhinecanthus aculeatus* (ムラサメモンガラ)、*Xanthichthys mento* (ナメモンガラ)、*Oxymonacanthus longirostris* (テングカワハギ)

◆棘皮動物

Certonardoa semiregularis (アカヒトデ)、*Toxopneustes pileolus* (ラッパウニ)、*Colobocentrotus mertensii* (ジンガサウニ)、*Heterocentrotus mammillatus* (パイプウニ)

◆刺胞動物

Millepora (アナサンゴモドキ属) 全種、*Tubipora* (クダサンゴ属) 全種、*Clavulariidae* (ウミヅタ科) 全種、*Xeniidae* (ウミアザミ科) 全種、*Alcyoniidae* (ウミトサカ科) 全種、*Nephtheidae* (チヂミトサカ科) 全種、*Nidaliidae* (タイマツトサカ科) 全種、*Heliopora* (アオサンゴ属) 全種、*Anthothelidae* (ネジレヤギ科) 全種、*Subergorgiidae* (ヒラヤギ科) 全種、*Melithaeidae* (イソバナ科) 全種、*Parisididae* (トクサモドキ科) 全種、*Acanthogorgiidae* (トゲヤギ科) 全種、*Paramuriceidae* (フタヤギ科) 全種、*Plexauridae* (ホソヤギ科) 全種、*Ellisellidae* (ムチヤギ科) 全種、*Primnoidae* (オオキンヤギ科) 全種、*Isididae* (トクササンゴ科) 全種、*Veretillidae* (ウミサボテン科) 全種、*Echinoptilidae* (トゲウミサボテン科) 全種、*Kophobelemnidae* (コンボウウミサボテン科) 全種、*Funiculinidae* (ムチウミサボテン科) 全種、*Virgulariidae* (ヤナギウミエラ科) 全種、*Pteroeididae* (トゲウミエラ科) 全種、*Discomatidae* (イソギンチャクモドキ科) 全種、*Actiniidae* (ウメボシイソギンチャク

科) 全種、Boloceroididae (オヨギイソギンチャク科) 全種、Thalassianthidae (ケイトウイソギンチャク科) 全種、Actinodendronidae (ハナブサイソギンチャク科) 全種、Phymanthidae (ニチリンイソギンチャク科) 全種、Stichodactylidae (ハタゴイソギンチャク科) 全種、Isophellidae (イソフェリア科) 全種、Homathiidae (クビカザリイソギンチャク科) 全種、Sagartiidae (ナゲナワイソギンチャク科) 全種、Diadumenidae (タテジマイソギンチャク科) 全種、*Styboeniella* (ムカシサンゴ属) 全種、*Pocillopora* (ハナヤサイサンゴ属) 全種、*Seriatopora* (トゲサンゴ属) 全種、*Stylophora* (ショウガサンゴ属) 全種、*Acropora* (ミドリイシ属) 全種、*Astreopora* (アナサンゴ属) 全種、*Montipora* (コモンサンゴ属) 全種、*Alveopora* (アワサンゴ属) 全種、*Goniopora* (ハナガササンゴ属) 全種、*Porites* (ハマサンゴ属) 全種、*Coscinaraea* (ヤスリサンゴ属) 全種、*Psammocora* (アミメサンゴ属) 全種、*Coeloseris* (ヨロンキクメイシ属) 全種、*Leptoseris* (センベイサンゴ属) 全種、*Pachyseris* (リュウモンサンゴ属) 全種、*Pavona* (シコロサンゴ属) 全種、*Gardineroseris* (ヒラフキサンゴ属) 全種、*Ctenactis* (トゲクサビライシ属) 全種、*Cycloseris* (マンジュウイシ属) 全種、*Fungia* (クサビライシ属) 全種、*Herpolitha* (キュウリイシ属) 全種、*Lithophyllon* (カワラサンゴ属) 全種、*Podabacia* (ヤエヤマカワラサンゴ属) 全種、*Polyphyllia* (イシナマコ属) 全種、*Sandalolitha* (ヘルメットイシ属) 全種、*Galaxea* (アザミサンゴ属) 全種、*Echinophyllia* (キッカサンゴ属) 全種、*Mycedium* (ウスカミサンゴ属) 全種、*Oxypora* (アナキッカサンゴ属) 全種、*Physophyllia* (ウミバラ属) 全種、*Acanthastrea* (オオトゲキクメイシ属) 全種、*Australomussa* (ヒラサンゴ属) 全種、*Blastomussa* (タバサンゴ属) 全種、*Cynarina* (コハナガタサンゴ属) 全種、*Lobophyllia* (ハナガタサンゴ属) 全種、*Micromussa* (コオオトゲキクメイシ属) 全種、*Symphyllia* (ダイノウサンゴ属) 全種、*Hydnophora* (イボサンゴ属) 全種、*Merulina* (サザナミサンゴ属) 全種、*Scapophyllia* (オオサザナミサンゴ属) 全種、*Barabattoia* (バラバットサンゴ属) 全種、*Cyphastrea* (トゲキクメイシ属) 全種、*Favia* (キクメイシ属) 全種、*Favites* (カメノコキクメイシ属) 全種、*Echinopora* (リュウキュウキッカサンゴ属) 全種、*Goniastrea* (コカメノコキクメイシ属) 全種、*Leptastrea* (ルリサンゴ属) 全種、*Leptoria* (ナガレサンゴ属) 全種、*Montastrea* (マルキクメイシ属) 全種、*Oulastrea* (キクメイシモドキ属) 全種、*Oulophyllia* (オオナガレサンゴ属) 全種、*Platygyra* (ノウサンゴ属) 全種、*Plesiastrea* (コマルキクメイシ属) 全種、*Euphyllia* (ナガレハナサンゴ属)

	<p>全種、<i>Plerogyra</i> (ミズタマサンゴ属) 全種、<i>Turbinaria</i> (スリバチサンゴ属) 全種、<i>Zoanthidae</i> (スナギンチャク科) 全種、<i>Antipathidae</i> (ウミカラマツ科) 全種、<i>Cerianthidae</i> (ハナギンチャク科) 全種</p>
<p>摺子崎海域公園地区</p>	<p>◆魚類</p> <p><i>Rhinomuraena quaesita</i> (ハナヒゲウツボ)、<i>Plotosus japonicus</i> (ゴンズイ)、<i>Hippocampus histrix</i> (イバラタツ)、<i>Antennarius striatus</i> (カエルアンコウ)、<i>Choeroichthys sculptus</i> (チゴヨウジ)、<i>Hippichthys (Parasyngnathus) penicillus</i> (ガンテンイシヨウジ)、<i>Doryrhamphus (Doryrhamphus) excisus excisus</i> (ヒバシヨウジ)、<i>Micrognathus andersonii</i> (カンムリヨウジ)、<i>Histrio histrio</i> (ハナオコゼ)、<i>Pseudanthias squamipinnis</i> (キンギョハナダイ)、<i>Pseudanthias elongatus</i> (ナガハナダイ)、<i>Pseudanthias pascalus</i> (ハナゴイ)、<i>Cheilodipterus quinquelineatus</i> (ヤライイシモチ)、<i>Cheilodipterus macrodon</i> (リュウキュウヤライイシモチ)、<i>Fowleria isostigma</i> (ナハマトイシモチ)、<i>Fowleria variegata</i> (シボリ)、<i>Apogonichthys ocellatus</i> (マトシボリ)、<i>Apogon unicolor</i> (ハナイシモチ)、<i>Apogon exostigma</i> (ユカタイシモチ)、<i>Apogon fraenatus</i> (ヒトスジイシモチ)、<i>Apogon indicus</i> (リュウキュウイシモチ)、<i>Apogon coccineus</i> (コミナトテンジクダイ)、<i>Apogon novemfasciatus</i> (タスジイシモチ)、<i>Apogon nigrofasciatus</i> (ミナミフトスジイシモチ)、<i>Apogon properuptus</i> (キンセンイシモチ)、<i>Apogon doederleini</i> (オオスジイシモチ)、<i>Apogon endekataenia</i> (コスジイシモチ)、<i>Apogon notatus</i> (クロホシイシモチ)、<i>Nectamia bandanensis</i> (バンダイシモチ)、<i>Gymnapogon japonicus</i> (クダリボウズギス)、<i>Microcanthus strigatus</i> (カゴカキダイ)、<i>Heniochus varius</i> (ツノハタタテダイ)、<i>Heniochus chrysostomus</i> (ミナミハタタテダイ)、<i>Heniochus monoceros</i> (オニハタタテダイ)、<i>Heniochus singularius</i> (シマハタタテダイ)、<i>Heniochus acuminatus</i> (ハタタテダイ)、<i>Forcipiger flavissimus</i> (フエヤッコダイ)、<i>Hemitaurichthys polylepis</i> (カスミチョウウオ)、<i>Chaetodon trifascialis</i> (ヤリカタギ)、<i>Chaetodon plebeius</i> (スミツキトノサマダイ)、<i>Chaetodon auriga</i> (トゲチョウウオ)、<i>Chaetodon ephippium</i> (セグロチョウウオ)、<i>Chaetodon bennetti</i> (ウミヅキチョウウオ)、<i>Chaetodon unimaculatus</i> (イッテンチョウウオ)、<i>Chaetodon speculum</i> (トノサマダイ)、<i>Chaetodon lunula</i> (チョウハン)、<i>Chaetodon</i></p>

punctatofasciatus (シチセンチヨウチヨウウオ)、*Chaetodon argentatus* (カガミチヨウチヨウウオ)、*Chaetodon vagabundus* (フウライチヨウチヨウウオ)、*Chaetodon lunulatus* (ミスジチヨウチヨウウオ)、*Chaetodon lineolatus* (ニセフウライチヨウチヨウウオ)、*Chaetodon ornatissimus* (ハナグロチヨウチヨウウオ)、*Chaetodon ulietensis* (スダレチヨウチヨウウオ)、*Chaetodon melannotus* (アケボノチヨウチヨウウオ)、*Chaetodon rafflesii* (アミチヨウチヨウウオ)、*Chaetodon auripes* (チヨウチヨウウオ)、*Chaetodon kleinii* (ミゾレチヨウチヨウウオ)、*Chaetodon xanthurus* (アミメチヨウチヨウウオ)、*Chaetodon citrinellus* (ゴマチヨウチヨウウオ)、*Chaetodon daedalma* (ユウゼン)、*Pomacanthus semicirculatus* (サザナミヤッコ)、*Pomacanthus imperator* (タテジマキンチャクダイ)、*Chaetodontoplus mesoleucus* (チリメンヤッコ)、*Apolemichthys trimaculatus* (シテンヤッコ)、*Pygoplites diacanthus* (ニシキヤッコ)、*Centropyge heraldi* (ヘラルドコガネヤッコ)、*Centropyge tibicen* (アブラヤッコ)、*Centropyge bicolor* (ソメワケヤッコ)、*Centropyge vrolikii* (ナメラヤッコ)、*Genicanthus lamarek* (タテジマヤッコ)、*Amphiprion perideraion* (ハナビラクマノミ)、*Amphiprion frenatus* (ハマクマノミ)、*Amphiprion ocellaris* (カクレクマノミ)、*Amphiprion clarkii* (クマノミ)、*Chromis flavomaculatus* (キホシスズメダイ)、*Chromis chrysurus* (アマミスズメダイ)、*Chromis viridis* (デバスズメダイ)、*Chromis xanthurus* (モンズズメダイ)、*Chromis albicauda* (コガネスズメダイ)、*Dascyllus trimaculatus* (ミツボシクロスズメダイ)、*Dascyllus reticulatus* (フタスジリュウキュウスズメダイ)、*Dascyllus aruanus* (ミスジリュウキュウスズメダイ)、*Plectroglyphidodon lacrymatus* (ルリホシスズメダイ)、*Plectroglyphidodon dickii* (イシガキスズメダイ)、*Pomachromis richardsoni* (オキナワスズメダイ)、*Plectroglyphidodon imparipennis* (イワサキスズメダイ)、*Plectroglyphidodon leucozonus* (ハクセンスズメダイ)、*Abudefduf notatus* (イソスズメダイ)、*Abudefduf septemfasciatus* (シチセンスズメダイ)、*Chrysiptera rex* (レモンズズメダイ)、*Chrysiptera cyanea* (ルリスズメダイ)、*Chrysiptera unimaculata* (イチモンズズメダイ)、*Chrysiptera biocellata* (スジブチスズメダイ)、*Chrysiptera brownriggii* (ミヤコキセンスズメダイ)、*Chrysiptera glauca* (ネズズメダイ)、*Amblyglyphidodon curacao* (クラカオスズメダイ)、*Neoglyphidodon melas* (クロスズメダイ)、*Neoglyphidodon nigroris* (ヒレナガスズメダイ)、*Pomacentrus coelestis* (ソラスズメダイ)、*Pomacentrus moluccensis* (ネッタ

イスズメダイ)、*Stegastes nigricans*(クロソラスズメダイ)、*Goniistius zonatus*(タカノハダイ)、*Goniistius zebra*
 (ミギマキ)、*Pseudodax moluccanus*(ブダイベラ)、*Choerodon fasciatus*(シチセンベラ)、*Bodianus oxycephalus*
 (キツネダイ)、*Bodianus bilunulatus*(キツネベラ)、*Anampses geographicus*(ムシベラ)、*Anampses*
meleagrides(ホクトベラ)、*Anampses twistii*(ホシススキベラ)、*Anampses caeruleopunctatus*(ブチススキ
 ベラ)、*Cheilio inermis*(カマスベラ)、*Gomphosus varius*(クギベラ)、*Hemigymnus melapterus*(タレクチ
 ベラ)、*Hemigymnus fasciatus*(シマタレクチベラ)、*Labroides bicolor*(ソメワケベラ)、*Labroides dimidiatus*
 (ホンソメワケベラ)、*Pteragogus aurigarius*(オハグロベラ)、*Stethojulis maculata*(スミツキカミナリベラ)、
Stethojulis trilineata(オニベラ)、*Stethojulis strigiventer*(ハラスジベラ)、*Stethojulis bandanensis*(アカオ
 ビベラ)、*Stethojulis interrupta terina*(カミナリベラ)、*Macropharyngodon meleagris*(ノドグロベラ)、
Thalassoma janseni(ヤンセンニシキベラ)、*Thalassoma hardwicke*(セナスジベラ)、*Thalassoma*
amblycephalum(コガシラベラ)、*Thalassoma quinquevittatum*(ハコベラ)、*Thalassoma pupureum*(キヌ
 ベラ)、*Thalassoma lutescens*(ヤマブキベラ)、*Thalassoma lunare*(オトメベラ)、*Thalassoma cupido*(ニシ
 キベラ)、*Halichoeres hortulanus*(トカラベラ)、*Halichoeres scapularis*(セイテンベラ)、*Halichoeres*
trimaculatus(ミツボシキュウセン)、*Halichoeres tenuispinis*(ホンベラ)、*Halichoeres melanocheir*(ムナテ
 ンベラ)、*Halichoeres marginatus*(カノコベラ)、*Halichoeres orientalis*(ツキベラ)、*Halichoeres margaritaceus*
 (アカニジベラ)、*Halichoeres nebulosus*(イナズマベラ)、*Pseudocoris yamashiroi*(ヤマシロベラ)、*Coris*
gaimard(ツユベラ)、*Coris picta*(ムスメベラ)、*Hologymnosus annulatus*(ナメラベラ)、*Cirrhilabrus*
cyanopleura(クロヘリイトヒキベラ)、*Epibulus insidiator*(ギチベラ)、*Pseudocheilinus hexataenia*(ニセモ
 チノウオ)、*Cheilinus chlorourus*(アカテンモチノウオ)、*Cheilinus trilobatus*(ミツバモチノウオ)、*Oxycheilinus*
unifasciatus(ヒトスジモチノウオ)、*Oxycheilinus bimaculatus*(タコベラ)、*Novaculichthys taeniourus*(オ
 ビテンスモドキ)、*Zanclus cornutus*(ツノダシ)、*Zebrasoma veliferum*(ヒレナガハギ)、*Zebrasoma flavescens*
 (キイロハギ)、*Paracanthurus hepatus*(ナンヨウハギ)、*Acanthurus triostegus*(シマハギ)、*Acanthurus*
nigricans(メガネクロハギ)、*Acanthurus olivaceus*(モンツキハギ)、*Bostrychus sinensis*(ジャノメハゼ)、

Xenisthmus clarus (ヤナギハゼ)、*Oplopomus oplopomus* (ケシヨウハゼ)、*Gobiopsis arenaria* (イサゴハゼ)、*Callogobius okinawae* (ナメラハゼ)、*Callogobius hasseltii* (オキナワハゼ)、*Callogobius tanegasimae* (タネハゼ)、*Asterropteryx semipunctata* (ホシハゼ)、*Gnatholepis cauerensis* (カタボシオオモンハゼ)、*Gnatholepis anjerensis* (オオモンハゼ)、*Amblygobius hectori* (キンセンハゼ)、*Amblygobius phalaena* (サラサハゼ)、*Gobiodon okinawae* (キイロサンゴハゼ)、*Gobiodon rivulatus* (タスジコバンハゼ)、*Gobiodon quinquestrigatus* (フタイロサンゴハゼ)、*Gobiodon oculolineatus* (クマドリコバンハゼ)、*Gobiodon unicolor* (ムジコバンハゼ)、*Bryaninops natans* (アカメハゼ)、*Pleurosicya mossambica* (セボシウミタケハゼ)、*Pleurosicya muscara* (ウミタケハゼ)、*Macrodontogobius wilburi* (マダラハゼ)、*Tridentiger trigonocephalus* (アカオビシマハゼ)、*Bathygobius petrophilus* (シジミハゼ)、*Bathygobius fuscus* (クモハゼ)、*Bathygobius coalitus* (クロヤハズハゼ)、*Bathygobius cocosensis* (スジクモハゼ)、*Bathygobius cyclopterus* (ヤハズハゼ)、*Bathygobius cotticeps* (クサビハゼ)、*Rhinogobius giurinus* (ゴクラクハゼ)、*Cabillus tongarevae* (ヨリメハゼ)、*Favonigobius gymnauchen* (ヒメハゼ)、*Istigobius ornatus* (カザリハゼ)、*Istigobius campbelli* (クツワハゼ)、*Cryptocentrus sericus* (フタホシタカノハハゼ)、*Vanderhorstia phaeosticta* (ヤツシハゼ)、*Ctenogobiops crocineus* (ホホスジシノビハゼ)、*Ctenogobiops pomastictus* (シノビハゼ)、*Amblyeleotris diagonalis* (ハチマキダテハゼ)、*Amblyeleotris steinitzi* (ヒメダテハゼ)、*Paragobiodon lacunicolus* (パンダダルマハゼ)、*Paragobiodon modestus* (ヨゴレダルマハゼ)、*Paragobiodon melanosomus* (クロダルマハゼ)、*Paragobiodon xanthosomus* (アカネダルマハゼ)、*Paragobiodon echinocephalus* (ダルマハゼ)、*Valenciennea longipinnis* (サザナミハゼ)、*Valenciennea puellaris* (オトメハゼ)、*Valenciennea strigata* (アカハチハゼ)、*Fusigobius inframaculatus* (ハタタテサンカクハゼ)、*Fusigobius humeralis* (カタボシサンカクハゼ)、*Fusigobius duospilus* (セボシサンカクハゼ)、*Fusigobius gracilis* (セスジサンカクハゼ)、*Fusigobius neophytus* (サンカクハゼ)、*Priolepis borea* (ミサキスジハゼ)、*Priolepis semidoliata* (イレズミハゼ)、*Priolepis inhaca* (アミメベンケイハゼ)、*Priolepis cincta* (ベンケイハゼ)、*Eviota nigriventris* (ソメワケイソハゼ)、*Eviota prasites* (アオイソハゼ)、*Eviota shimadai* (ハナグロイソハゼ)、*Eviota toshiyuki* (ミドリハゼ)、*Eviota prasina* (ナンヨウミドリハゼ)、*Eviota smaragdus*

(クロホシイソハゼ)、*Eviota melasma* (アカホシイソハゼ)、*Eviota korechika* (シボリイソハゼ)、*Eviota queenslandica* (ホシヒレイソハゼ)、*Eviota japonica* (ミナミイソハゼ)、*Eviota abax* (イソハゼ)、*Parioglossus dotui* (サツキハゼ)、*Ptereleotris hanae* (ハナハゼ)、*Ptereleotris evides* (クロユリハゼ)、*Cirripectes polyzona* (ミノカエルウオ)、*Istiblennius enosimae* (カエルウオ)、*Blenniella caudolineata* (アオテングギンポ)、*Salaria fasciatus* (ヤエヤマギンポ)、*Ecsenius bicolor* (フタイロカエルウオ)、*Ecsenius yaeyamaensis* (イシガキカエルウオ)、*Meiacanthus atrodorsalis* (オウゴンニジギンポ)、*Meiacanthus grammistes* (ヒゲニジギンポ)、*Meiacanthus kamoharai* (カモハラギンポ)、*Pterois lunulata* (ミノカサゴ)、*Balistapus undulatus* (クマドリ)、*Pseudobalistes flavimarginatus* (キヘリモンガラ)、*Rhinecanthus aculeatus* (ムラサメモンガラ)、*Xanthichthys mento* (ナメモンガラ)、*Oxymonacanthus longirostris* (テングカワハギ)

◆棘皮動物

Certonardoa semiregularis (アカヒトデ)、*Toxopneustes pileolus* (ラッパウニ)、*Colobocentrotus mertensii* (ジンガサウニ)、*Heterocentrotus mammillatus* (パイパウニ)

◆刺胞動物

Millepora (アナサンゴモドキ属) 全種、*Tubipora* (クダサンゴ属) 全種、*Clavulariidae* (ウミヅタ科) 全種、*Xeniidae* (ウミアザミ科) 全種、*Alcyoniidae* (ウミトサカ科) 全種、*Nephtheidae* (チヂミトサカ科) 全種、*Nidaliidae* (タイマツトサカ科) 全種、*Heliopora* (アオサンゴ属) 全種、*Anthothelidae* (ネジレヤギ科) 全種、*Subergorgiidae* (ヒラヤギ科) 全種、*Melithaeidae* (イソバナ科) 全種、*Parisididae* (トクサモドキ科) 全種、*Acanthogorgiidae* (トゲヤギ科) 全種、*Paramuriceidae* (フタヤギ科) 全種、*Plexauridae* (ホソヤギ科) 全種、*Ellisellidae* (ムチヤギ科) 全種、*Primnoidae* (オオキンヤギ科) 全種、*Isididae* (トクササンゴ科) 全種、*Veretillidae* (ウミサボテン科) 全種、*Echinoptilidae* (トゲウミサボテン科) 全種、*Kophobolemnidae* (コンボウウミサボテン科) 全種、*Funiculinidae* (ムチウミサボテン科) 全種、*Virgulariidae* (ヤナギウミエラ科) 全種、*Pteroeidae* (ト

ゲウミエラ科) 全種、Discosomatidae (イソギンチャクモドキ科) 全種、Actiniidae (ウメボシイソギンチャク科) 全種、Boloceroididae (オヨギイソギンチャク科) 全種、Thalassianthidae (ケイトウイソギンチャク科) 全種、Actinodendronidae (ハナブサイソギンチャク科) 全種、Phymanthidae (ニチリンイソギンチャク科) 全種、Stichodactylidae (ハタゴイソギンチャク科) 全種、Isophellidae (イソフェリア科) 全種、Homathiidae (クビカザリイソギンチャク科) 全種、Sagartiidae (ナゲナワイソギンチャク科) 全種、Diadumenidae (タテジマイソギンチャク科) 全種、*Styboeniella* (ムカシサンゴ属) 全種、*Pocillopora* (ハナヤサイサンゴ属) 全種、*Seriatopora* (トゲサンゴ属) 全種、*Stylophora* (ショウガサンゴ属) 全種、*Acropora* (ミドリイシ属) 全種、*Astreopora* (アナサンゴ属) 全種、*Montipora* (コモンサンゴ属) 全種、*Alveopora* (アワサンゴ属) 全種、*Goniopora* (ハナガササンゴ属) 全種、*Porites* (ハマサンゴ属) 全種、*Coscinaraea* (ヤスリサンゴ属) 全種、*Psammocora* (アミメサンゴ属) 全種、*Coeloseris* (ヨロンキクメイシ属) 全種、*Leptoseris* (センベイサンゴ属) 全種、*Pachyseris* (リュウモンサンゴ属) 全種、*Pavona* (シコロサンゴ属) 全種、*Gardineroseris* (ヒラフキサンゴ属) 全種、*Ctenactis* (トゲクサビライシ属) 全種、*Cycloseris* (マンジュウイシ属) 全種、*Fungia* (クサビライシ属) 全種、*Herpolitha* (キュウリイシ属) 全種、*Lithophyllon* (カワラサンゴ属) 全種、*Podabacia* (ヤエヤマカワラサンゴ属) 全種、*Polyphyllia* (イシナマコ属) 全種、*Sandalolitha* (ヘルメットイシ属) 全種、*Galaxea* (アザミサンゴ属) 全種、*Echinophyllia* (キッカサンゴ属) 全種、*Mycedium* (ウスカミサンゴ属) 全種、*Oxypora* (アナキッカサンゴ属) 全種、*Physophyllia* (ウミバラ属) 全種、*Acanthastrea* (オオトゲキクメイシ属) 全種、*Australomussa* (ヒラサンゴ属) 全種、*Blastomussa* (タバサンゴ属) 全種、*Cynarina* (コハナガタサンゴ属) 全種、*Lobophyllia* (ハナガタサンゴ属) 全種、*Micromussa* (コオオトゲキクメイシ属) 全種、*Symphyllia* (ダイノウサンゴ属) 全種、*Hydnophora* (イボサンゴ属) 全種、*Merulina* (サザナミサンゴ属) 全種、*Scapophyllia* (オオサザナミサンゴ属) 全種、*Barabattoia* (バラバットサンゴ属) 全種、*Cyphastrea* (トゲキクメイシ属) 全種、*Favia* (キクメイシ属) 全種、*Favites* (カメノコキクメイシ属) 全種、*Echinopora* (リュウキュウキッカサンゴ属) 全種、*Goniastrea* (コカメノコキクメイシ属) 全種、*Leptastrea* (ルリサンゴ属) 全種、*Leptoria* (ナガレサンゴ属) 全種、*Montastrea* (マルキクメイシ属) 全種、*Oulastrea* (キクメイシモドキ属) 全種、*Oulophyllia* (オオナガレサンゴ属) 全種、

	<p><i>Platygyra</i> (ノウサンゴ属) 全種、<i>Plesiastrea</i> (コマルキクメイシ属) 全種、<i>Euphyllia</i> (ナガレハナサンゴ属) 全種、<i>Plerogyra</i> (ミズタマサンゴ属) 全種、<i>Turbinaria</i> (スリバチサンゴ属) 全種、<i>Zoanthidae</i> (スナギンチャク科) 全種、<i>Antipathidae</i> (ウミカラマツ科) 全種、<i>Cerianthidae</i> (ハナギンチャク科) 全種</p>
<p>大島海峡1号、2号及び3号海域公園地区</p>	<p>◆魚類</p> <p><i>Rhinomuraena quaesita</i> (ハナヒゲウツボ)、<i>Plotosus japonicus</i> (ゴンズイ)、<i>Hippocampus histrix</i> (イバラタツ)、<i>Antennarius striatus</i> (カエルアンコウ)、<i>Choeroichthys sculptus</i> (チゴヨウジ)、<i>Hippichthys (Parasyngnathus) penicillus</i> (ガンテンイシヨウジ)、<i>Doryrhamphus (Doryrhamphus) excisus excisus</i> (ヒバシヨウジ)、<i>Micrognathus andersonii</i> (カンムリヨウジ)、<i>Histrio histrio</i> (ハナオコゼ)、<i>Pseudanthias squamipinnis</i> (キンギョハナダイ)、<i>Pseudanthias elongatus</i> (ナガハナダイ)、<i>Pseudanthias pascalus</i> (ハナゴイ)、<i>Cheilodipterus quinquelineatus</i> (ヤライイシモチ)、<i>Cheilodipterus macrodon</i> (リュウキュウヤライイシモチ)、<i>Fowleria isostigma</i> (ナハマトイシモチ)、<i>Fowleria variegata</i> (シボリ)、<i>Apogonichthys ocellatus</i> (マトシボリ)、<i>Apogon unicolor</i> (ハナイシモチ)、<i>Apogon exostigma</i> (ユカタイシモチ)、<i>Apogon fraenatus</i> (ヒトスジイシモチ)、<i>Apogon indicus</i> (リュウキュウイシモチ)、<i>Apogon coccineus</i> (コミナトテンジクダイ)、<i>Apogon novemfasciatus</i> (タスジイシモチ)、<i>Apogon nigrofasciatus</i> (ミナミフトスジイシモチ)、<i>Apogon properuptus</i> (キンセンイシモチ)、<i>Apogon doederleini</i> (オオスジイシモチ)、<i>Apogon endekataenia</i> (コスジイシモチ)、<i>Apogon notatus</i> (クロホシイシモチ)、<i>Nectamia bandanensis</i> (バンダイシモチ)、<i>Gymnapogon japonicus</i> (クダリボウズギス)、<i>Microcanthus strigatus</i> (カゴカキダイ)、<i>Heniochus varius</i> (ツノハタタテダイ)、<i>Heniochus chrysostomus</i> (ミナミハタタテダイ)、<i>Heniochus monoceros</i> (オニハタタテダイ)、<i>Heniochus singularis</i> (シマハタタテダイ)、<i>Heniochus acuminatus</i> (ハタタテダイ)、<i>Forcipiger flavissimus</i> (フエヤッコダイ)、<i>Hemitaurichthys polylepis</i> (カスミチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon trifascialis</i> (ヤリカタギ)、<i>Chaetodon plebeius</i> (スミツキトノサマダイ)、<i>Chaetodon auriga</i> (トゲチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon ephippium</i> (セグロチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon bennetti</i> (ウミヅキチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon unimaculatus</i> (イッテ</p>

ンチョウチョウウオ)、*Chaetodon speculum* (トノサマダイ)、*Chaetodon lunula* (チョウハン)、*Chaetodon punctatofasciatus* (シチセンチョウチョウウオ)、*Chaetodon argentatus* (カガミチョウチョウウオ)、*Chaetodon vagabundus* (フウライチョウチョウウオ)、*Chaetodon lunulatus* (ミスジチョウチョウウオ)、*Chaetodon lineolatus* (ニセフウライチョウチョウウオ)、*Chaetodon ornatissimus* (ハナグロチョウチョウウオ)、*Chaetodon ulietensis* (スダレチョウチョウウオ)、*Chaetodon melannotus* (アケボノチョウチョウウオ)、*Chaetodon rafflesii* (アミチョウチョウウオ)、*Chaetodon auripes* (チョウチョウウオ)、*Chaetodon kleinii* (ミゾレチョウチョウウオ)、*Chaetodon xanthurus* (アミメチョウチョウウオ)、*Chaetodon citrinellus* (ゴマチョウチョウウオ)、*Chaetodon daedalma* (ユウゼン)、*Pomacanthus semicirculatus* (サザナミヤッコ)、*Pomacanthus imperator* (タテジマキンチャクダイ)、*Chaetodontoplus mesoleucus* (チリメンヤッコ)、*Apolemichthys trimaculatus* (シテンヤッコ)、*Pygoplites diacanthus* (ニシキヤッコ)、*Centropyge heraldi* (ヘラルドコガネヤッコ)、*Centropyge tibicen* (アブラヤッコ)、*Centropyge bicolor* (ソメワケヤッコ)、*Centropyge vrolikii* (ナメラヤッコ)、*Genicanthus lamarek* (タテジマヤッコ)、*Amphiprion perideraion* (ハナビラクマノミ)、*Amphiprion ocellaris* (カクレクマノミ)、*Chromis viridis* (デバスズメダイ)、*Chromis albicauda* (コガネスズメダイ)、*Dascyllus reticulatus* (フタスジリュウキュウスズメダイ)、*Plectroglyphidodon dickii* (イシガキスズメダイ)、*Pomachromis richardsoni* (オキナワスズメダイ)、*Plectroglyphidodon imparipennis* (イワサキスズメダイ)、*Chrysiptera rex* (レモンズズメダイ)、*Chrysiptera cyanea* (ルリスズメダイ)、*Chrysiptera unimaculata* (イチモンズズメダイ)、*Chrysiptera biocellata* (スジブチスズメダイ)、*Chrysiptera brownriggii* (ミヤコキセンズズメダイ)、*Chrysiptera glauca* (ネズズメダイ)、*Pomacentrus coelestis* (ソラスズメダイ)、*Pomacentrus moluccensis* (ネッタイスズメダイ)、*Goniistius zonatus* (タカノハダイ)、*Goniistius zebra* (ミギマキ)、*Pseudodax moluccanus* (ブダイベラ)、*Choerodon fasciatus* (シチセンベラ)、*Anampses geographicus* (ムシベラ)、*Anampses meleagrides* (ホクトベラ)、*Anampses twistii* (ホシススキベラ)、*Anampses caeruleopunctatus* (ブチススキベラ)、*Gomphosus varius* (クギベラ)、*Hemigymnus fasciatus* (シマタレクチベラ)、*Labroides bicolor* (ソメワケベラ)、*Labroides dimidiatus* (ホンソメワケベラ)、*Pteragogus aurigarius* (オハグロベラ)、*Stethojulis maculata* (スミツキカ

ミナリベラ)、*Stethojulis trilineata* (オニベラ)、*Stethojulis strigiventer* (ハラスジベラ)、*Stethojulis bandanensis* (アカオビベラ)、*Stethojulis interrupta terina* (カミナリベラ)、*Macropharyngodon meleagris* (ノドグロベラ)、*Thalassoma janseni* (ヤンセンニシキベラ)、*Thalassoma hardwicke* (セナスジベラ)、*Thalassoma amblycephalum* (コガシラベラ)、*Thalassoma quinquevittatum* (ハコベラ)、*Thalassoma purpureum* (キヌベラ)、*Thalassoma lutescens* (ヤマブキベラ)、*Thalassoma lunare* (オトメベラ)、*Thalassoma cupido* (ニシキベラ)、*Halichoeres hortulanus* (トカラベラ)、*Halichoeres scapularis* (セイテンベラ)、*Halichoeres trimaculatus* (ミツボシキュウセン)、*Halichoeres tenuispinis* (ホンベラ)、*Halichoeres melanochir* (ムナテンベラ)、*Halichoeres marginatus* (カノコベラ)、*Halichoeres orientalis* (ツキベラ)、*Halichoeres margaritaceus* (アカニジベラ)、*Halichoeres nebulosus* (イナズマベラ)、*Pseudocoris yamashiroi* (ヤマシロベラ)、*Coris picta* (ムスメベラ)、*Cirrhilabrus cyanopleura* (クロヘリイトヒキベラ)、*Epibulus insidiator* (ギチベラ)、*Pseudocheilinus hexataenia* (ニセモチノウオ)、*Cheilinus trilobatus* (ミツバモチノウオ)、*Oxycheilinus bimaculatus* (タコベラ)、*Novaculichthys taeniourus* (オビテンスモドキ)、*Zanclus cornutus* (ツノダシ)、*Zebriasoma veliferum* (ヒレナガハギ)、*Zebriasoma flavescens* (キイロハギ)、*Paracanthurus hepatus* (ナンヨウハギ)、*Acanthurus triostegus* (シマハギ)、*Acanthurus nigricans* (メガネクロハギ)、*Acanthurus olivaceus* (モンツキハギ)、*Bostrychus sinensis* (ジャノメハゼ)、*Xenisthmus clarus* (ヤナギハゼ)、*Oplopomus oplopomus* (ケシヨウハゼ)、*Gobiopsis arenaria* (イサゴハゼ)、*Callogobius okinawae* (ナメラハゼ)、*Callogobius hasseltii* (オキナワハゼ)、*Callogobius tanegasimae* (タネハゼ)、*Asterropteryx semipunctata* (ホシハゼ)、*Gnatholepis cauerensis* (カタボシオオモンハゼ)、*Gnatholepis anjerensis* (オオモンハゼ)、*Amblygobius hectori* (キンセンハゼ)、*Amblygobius phalaena* (サラサハゼ)、*Gobiodon okinawae* (キイロサンゴハゼ)、*Gobiodon rivulatus* (タスジコバンハゼ)、*Gobiodon quinquestrigatus* (フタイロサンゴハゼ)、*Gobiodon oculolineatus* (クマドリコバンハゼ)、*Gobiodon unicolor* (ムジコバンハゼ)、*Bryaninops natans* (アカメハゼ)、*Pleurosicya mossambica* (セボシウミタケハゼ)、*Pleurosicya muscara* (ウミタケハゼ)、*Macrodontogobius wilburi* (マダラハゼ)、*Tridentiger trigonocephalus* (アカオビシマハゼ)、*Bathygobius petrophilus* (シジミハゼ)、*Bathygobius fuscus*

(クモハゼ)、*Bathygobius coalitus* (クロヤハズハゼ)、*Bathygobius cocosensis* (スジクモハゼ)、*Bathygobius cyclopterus* (ヤハズハゼ)、*Bathygobius cotticeps* (クサビハゼ)、*Rhinogobius giurinus* (ゴクラクハゼ)、*Cabillus tongarevae* (ヨリメハゼ)、*Favonigobius gymnauchen* (ヒメハゼ)、*Istigobius ornatus* (カザリハゼ)、*Istigobius campbelli* (クツワハゼ)、*Cryptocentrus sericus* (フタホシタカノハハゼ)、*Vanderhorstia phaeosticta* (ヤツシハゼ)、*Ctenogobiops crocineus* (ホホスジシノビハゼ)、*Ctenogobiops pomastictus* (シノビハゼ)、*Amblyeleotris diagonalis* (ハチマキダテハゼ)、*Amblyeleotris steinitzi* (ヒメダテハゼ)、*Paragobiodon lacunicolus* (パンダダルマハゼ)、*Paragobiodon modestus* (ヨゴレダルマハゼ)、*Paragobiodon melanosomus* (クロダルマハゼ)、*Paragobiodon xanthosomus* (アカネダルマハゼ)、*Paragobiodon echinocephalus* (ダルマハゼ)、*Valenciennea longipinnis* (サザナミハゼ)、*Valenciennea puellaris* (オトメハゼ)、*Valenciennea strigata* (アカハチハゼ)、*Fusigobius inframaculatus* (ハタタテサンカクハゼ)、*Fusigobius humeralis* (カタボシサンカクハゼ)、*Fusigobius duospilus* (セホシサンカクハゼ)、*Fusigobius gracilis* (セスジサンカクハゼ)、*Fusigobius neophytus* (サンカクハゼ)、*Priolepis borea* (ミサキスジハゼ)、*Priolepis semidoliata* (イレズミハゼ)、*Priolepis inhaca* (アミメベンケイハゼ)、*Priolepis cincta* (ベンケイハゼ)、*Eviota nigriventris* (ソメワケイソハゼ)、*Eviota prasites* (アオイソハゼ)、*Eviota shimadai* (ハナグロイソハゼ)、*Eviota toshiyuki* (ミドリハゼ)、*Eviota prasina* (ナンヨウミドリハゼ)、*Eviota smaragdus* (クロホシイソハゼ)、*Eviota melasma* (アカホシイソハゼ)、*Eviota korechika* (シボリイソハゼ)、*Eviota queenslandica* (ホシヒレイソハゼ)、*Eviota japonica* (ミナミイソハゼ)、*Eviota abax* (イソハゼ)、*Parioglossus dotui* (サツキハゼ)、*Ptereleotris hanae* (ハナハゼ)、*Ptereleotris evides* (クロユリハゼ)、*Cirripectes polyzona* (ミノカエルウオ)、*Istiblennius enosimae* (カエルウオ)、*Blenniella caudolineata* (アオテンギンボ)、*Salarias fasciatus* (ヤエヤマギンボ)、*Ecsenius bicolor* (フタイロカエルウオ)、*Ecsenius yaeyamaensis* (イシガキカエルウオ)、*Meiacanthus atrodorsalis* (オウゴンニジギンボ)、*Meiacanthus grammistes* (ヒゲニジギンボ)、*Meiacanthus kamoharai* (カモハラギンボ)、*Ostracion cubicum* (ミナミハコフグ)、*Lactoria cornuta* (コンゴウフグ)、*Arothron nigropunctatus* (コクテンフグ)、*Canthigaster valentini* (シマキンチャクフグ)、*Chilomycterus reticulatus* (イシガキフグ)

◆棘皮動物

Certonardoia semiregularis (アカヒトデ)、*Toxopneustes pileolus* (ラッパウニ)、*Colobocentrotus mertensii* (ジンガサウニ)、*Heterocentrotus mammillatus* (パイプウニ)

◆刺胞動物

Millepora (アナサンゴモドキ属) 全種、*Tubipora* (クダサンゴ属) 全種、Clavulariidae (ウミヅタ科) 全種、Xeniidae (ウミアザミ科) 全種、Alcyoniidae (ウミトサカ科) 全種、Nephtheidae (チヂミトサカ科) 全種、Nidaliidae (タイマツトサカ科) 全種、*Heliopora* (アオサンゴ属) 全種、Anthothelidae (ネジレヤギ科) 全種、Subergorgiidae (ヒラヤギ科) 全種、Melithaeidae (イソバナ科) 全種、Parisididae (トクサモドキ科) 全種、Acanthogorgiidae (トゲヤギ科) 全種、Paramuriceidae (フタヤギ科) 全種、Plexauridae (ホソヤギ科) 全種、Ellisellidae (ムチヤギ科) 全種、Primnoidae (オオキンヤギ科) 全種、Isididae (トクササンゴ科) 全種、Veretillidae (ウミサボテン科) 全種、Echinoptilidae (トゲウミサボテン科) 全種、Kophobelemnidae (コンボウウミサボテン科) 全種、Funiculinidae (ムチウミサボテン科) 全種、Virgulariidae (ヤナギウミエラ科) 全種、Pteroeididae (トゲウミエラ科) 全種、Discosomatidae (イソギンチャクモドキ科) 全種、Actiniidae (ウメボシイソギンチャク科) 全種、Boloceroididae (オヨギイソギンチャク科) 全種、Thalassianthidae (ケイトウイソギンチャク科) 全種、Actinodendronidae (ハナブサイソギンチャク科) 全種、Phymanthidae (ニチリンイソギンチャク科) 全種、Stichodactylidae (ハタゴイソギンチャク科) 全種、Isophellidae (イソフェリア科) 全種、Homathiidae (クビカザリイソギンチャク科) 全種、Sagartiidae (ナゲナワイソギンチャク科) 全種、Diadumenidae (タテジマイソギンチャク科) 全種、*Stylocoeniella* (ムカシサンゴ属) 全種、*Pocillopora* (ハナヤサイサンゴ属) 全種、*Seriatopora* (トゲサンゴ属) 全種、*Stylophora* (ショウガサンゴ属) 全種、*Acropora* (ミドリイシ属) 全種、*Astreopora* (アナサンゴ属) 全種、*Montipora* (コモンサンゴ属) 全種、*Alveopora* (アワサンゴ属) 全種、*Goniopora* (ハナガササンゴ属) 全種、*Porites* (ハマサンゴ属) 全種、*Coscinaraea* (ヤスリサンゴ属) 全種、*Psammocora* (アミメサンゴ属) 全種、*Coeloseris* (ヨロンキクメイシ属) 全種、*Leptoseris* (センベイサンゴ属) 全種、*Pachyseris*

	<p>(リュウモンサンゴ属) 全種、<i>Pavona</i> (シコロサンゴ属) 全種、<i>Gardineroseris</i> (ヒラフキサンゴ属) 全種、<i>Ctenactis</i> (トゲクサビライシ属) 全種、<i>Cycloseris</i> (マンジュウイシ属) 全種、<i>Fungia</i> (クサビライシ属) 全種、<i>Herpolitha</i> (キュウリイシ属) 全種、<i>Lithophyllon</i> (カワラサンゴ属) 全種、<i>Podabacia</i> (ヤエヤマカワラサンゴ属) 全種、<i>Polyphyllia</i> (イシナマコ属) 全種、<i>Sandalolitha</i> (ヘルメットイシ属) 全種、<i>Galaxea</i> (アザミサンゴ属) 全種、<i>Echinophyllia</i> (キッカサンゴ属) 全種、<i>Mycedium</i> (ウスカミサンゴ属) 全種、<i>Oxypora</i> (アナキッカサンゴ属) 全種、<i>Physophyllia</i> (ウミバラ属) 全種、<i>Acanthastrea</i> (オオトゲキクメイシ属) 全種、<i>Australomussa</i> (ヒラサンゴ属) 全種、<i>Blastomussa</i> (タバサンゴ属) 全種、<i>Cynarina</i> (コハナガタサンゴ属) 全種、<i>Lobophyllia</i> (ハナガタサンゴ属) 全種、<i>Micromussa</i> (コオオトゲキクメイシ属) 全種、<i>Symphyllia</i> (ダイノウサンゴ属) 全種、<i>Hydnophora</i> (イボサンゴ属) 全種、<i>Merulina</i> (サザナミサンゴ属) 全種、<i>Scapophyllia</i> (オオサザナミサンゴ属) 全種、<i>Barabattoia</i> (バラバットサンゴ属) 全種、<i>Cyphastrea</i> (トゲキクメイシ属) 全種、<i>Favia</i> (キクメイシ属) 全種、<i>Favites</i> (カメノコキクメイシ属) 全種、<i>Echinopora</i> (リュウキュウキッカサンゴ属) 全種、<i>Goniastrea</i> (コカメノコキクメイシ属) 全種、<i>Leptastrea</i> (ルリサンゴ属) 全種、<i>Leptoria</i> (ナガレサンゴ属) 全種、<i>Montastrea</i> (マルキクメイシ属) 全種、<i>Oulastrea</i> (キクメイシモドキ属) 全種、<i>Oulophyllia</i> (オオナガレサンゴ属) 全種、<i>Platygyra</i> (ノウサンゴ属) 全種、<i>Plesiastrea</i> (コマルキクメイシ属) 全種、<i>Euphyllia</i> (ナガレハナサンゴ属) 全種、<i>Plerogyra</i> (ミズタマサンゴ属) 全種、<i>Turbinaria</i> (スリバチサンゴ属) 全種、<i>Zoanthidae</i> (スナギンチャク科) 全種、<i>Antipathidae</i> (ウミカラマツ科) 全種、<i>Cerianthidae</i> (ハナギンチャク科) 全種</p>
与論島礁湖海域公園地区	<p>◆刺胞動物</p> <p><i>Millepora</i> (アナサンゴモドキ属) 全種、<i>Tubipora</i> (クダサンゴ属) 全種、<i>Clavulariidae</i> (ウミヅタ科) 全種、<i>Xeniidae</i> (ウミアザミ科) 全種、<i>Alcyoniidae</i> (ウミトサカ科) 全種、<i>Nephtheidae</i> (チヂミトサカ科) 全種、<i>Nidaliidae</i> (タイマツトサカ科) 全種、<i>Heliopora</i> (アオサンゴ属) 全種、<i>Anthothelidae</i> (ネジレヤギ科) 全種、<i>Subergorgiidae</i> (ヒラヤギ科) 全種、<i>Melithaeidae</i> (イソバナ科) 全種、<i>Parisididae</i> (トクサモドキ科) 全種、<i>Acanthogorgiidae</i> (トゲヤギ科) 全種、<i>Paramuriceidae</i> (フタヤギ科) 全種、<i>Plexauridae</i> (ホソヤギ科) 全種、<i>Ellisellidae</i> (ム</p>

チヤギ科) 全種、Primnoidae (オオキンヤギ科) 全種、Isididae (トクササンゴ科) 全種、Veretillidae (ウミサボテン科) 全種、Echinoptilidae (トゲウミサボテン科) 全種、Kophobelemnidae (コンボウウミサボテン科) 全種、Funiculinidae (ムチウミサボテン科) 全種、Virgulariidae (ヤナギウミエラ科) 全種、Pteroeididae (トゲウミエラ科) 全種、Discosomatidae (イソギンチャクモドキ科) 全種、Actiniidae (ウメボシイソギンチャク科) 全種、Boloceroididae (オヨギイソギンチャク科) 全種、Thalassianthidae (ケイトウイソギンチャク科) 全種、Actinodendronidae (ハナブサイソギンチャク科) 全種、Phymanthidae (ニチリンイソギンチャク科) 全種、Stichodactylidae (ハタゴイソギンチャク科) 全種、Isophellidae (イソフェリア科) 全種、Homathiidae (クビカザリイソギンチャク科) 全種、Sagartiidae (ナゲナワイソギンチャク科) 全種、Diadumenidae (タテジマイソギンチャク科) 全種、*Styboeniella* (ムカシサンゴ属) 全種、*Pocillopora* (ハナヤサイサンゴ属) 全種、*Seriatopora* (トゲサンゴ属) 全種、*Stylophora* (ショウガサンゴ属) 全種、*Acropora* (ミドリイシ属) 全種、*Astreopora* (アナサンゴ属) 全種、*Montipora* (コモンサンゴ属) 全種、*Alveopora* (アワサンゴ属) 全種、*Goniopora* (ハナガササンゴ属) 全種、*Porites* (ハマサンゴ属) 全種、*Coscinaraea* (ヤスリサンゴ属) 全種、*Psammocora* (アミメサンゴ属) 全種、*Coeloseris* (ヨロンキクメイシ属) 全種、*Leptoseris* (センベイサンゴ属) 全種、*Pachyseris* (リュウモンサンゴ属) 全種、*Pavona* (シコロサンゴ属) 全種、*Gardineroseris* (ヒラフキサンゴ属) 全種、*Ctenactis* (トゲクサビライシ属) 全種、*Cycloseris* (マンジュウイシ属) 全種、*Fungia* (クサビライシ属) 全種、*Herpolitha* (キュウリイシ属) 全種、*Lithophyllon* (カワラサンゴ属) 全種、*Podabacia* (ヤエヤマカワラサンゴ属) 全種、*Polyphyllia* (イシナマコ属) 全種、*Sandalolitha* (ヘルメットイシ属) 全種、*Galaxea* (アザミサンゴ属) 全種、*Echinophyllia* (キッカサンゴ属) 全種、*Mycedium* (ウスカミサンゴ属) 全種、*Oxypora* (アナキッカサンゴ属) 全種、*Physophyllia* (ウミバラ属) 全種、*Acanthastrea* (オオトゲキクメイシ属) 全種、*Australomussa* (ヒラサンゴ属) 全種、*Blastomussa* (タバサンゴ属) 全種、*Cynarina* (コハナガタサンゴ属) 全種、*Lobophyllia* (ハナガタサンゴ属) 全種、*Micromussa* (コオオトゲキクメイシ属) 全種、*Symphyllia* (ダイノウサンゴ属) 全種、*Hydnophora* (イボサンゴ属) 全種、*Merulina* (サザナミサンゴ属) 全種、*Scapophyllia* (オオサザナミサンゴ属) 全種、*Barabattoia* (バラバットサンゴ属) 全種、*Cyphastrea* (トゲキクメイシ属) 全種、*Favia* (キクメイ

	<p>シ属) 全種、<i>Favites</i> (カメノコキクメイシ属) 全種、<i>Echinopora</i> (リュウキュウキッカサンゴ属) 全種、<i>Goniastrea</i> (コカメノコキクメイシ属) 全種、<i>Leptastrea</i> (ルリサンゴ属) 全種、<i>Leptoria</i> (ナガレサンゴ属) 全種、<i>Montastrea</i> (マルキクメイシ属) 全種、<i>Oulastrea</i> (キクメイシモドキ属) 全種、<i>Oulophyllia</i> (オオナガレサンゴ属) 全種、<i>Platygyra</i> (ノウサンゴ属) 全種、<i>Plesiastrea</i> (コマルキクメイシ属) 全種、<i>Euphyllia</i> (ナガレハナサンゴ属) 全種、<i>Plerogyra</i> (ミズタマサンゴ属) 全種、<i>Turbinaria</i> (スリバチサンゴ属) 全種、<i>Zoanthidae</i> (スナギンチャク科) 全種、<i>Antipathidae</i> (ウミカラマツ科) 全種、<i>Cerianthidae</i> (ハナギンチャク科) 全種</p>
<p>与論海岸 1 号、2 号及び 3 号海域 公園地区</p>	<p>◆魚類</p> <p><i>Plotosus japonicus</i> (ゴンズイ)、<i>Syngnathidae</i> (ヨウジウオ科) 全種、<i>Apogonidae</i> (テンジクダイ科) 全種、<i>Heniochus varius</i> (ツノハタタテダイ)、<i>Heniochus chrysostomus</i> (ミナミハタタテダイ)、<i>Heniochus monoceros</i> (オニハタタテダイ)、<i>Heniochus singularius</i> (シマハタタテダイ)、<i>Heniochus acuminatus</i> (ハタタテダイ)、<i>Forcipiger flavissimus</i> (フエヤッコダイ)、<i>Hemitaurichthys polylepis</i> (カスミチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon trifascialis</i> (ヤリカタギ)、<i>Chaetodon plebeius</i> (スミツキトノサマダイ)、<i>Chaetodon auriga</i> (トゲチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon ephippium</i> (セグロチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon bennetti</i> (ウミヅキチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon unimaculatus</i> (イッテンチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon speculum</i> (トノサマダイ)、<i>Chaetodon lunula</i> (チョウハン)、<i>Chaetodon punctatofasciatus</i> (シチセンチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon argentatus</i> (カガミチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon vagabundus</i> (フウライチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon lunulatus</i> (ミスジチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon lineolatus</i> (ニセフウライチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon ornatissimus</i> (ハナグロチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon ulietensis</i> (スダレチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon melannotus</i> (アケボノチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon rafflesii</i> (アミチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon kleinii</i> (ミゾレチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon xanthurus</i> (アミメチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon citrinellus</i> (ゴマチョウチョウウオ)、<i>Chaetodon daedalma</i> (ユウゼン)、<i>Pomacanthidae</i> (キンチャクダイ科) 全種、<i>Amphiprion perideraion</i> (ハナビラクマノミ)、<i>Amphiprion ocellaris</i> (カクレクマノミ)、<i>Amphiprion clarkii</i> (クマノミ)、<i>Chromis</i></p>

viridis (デバスズメダイ)、*Chromis xanthurus* (モンズズメダイ)、*Dascyllus trimaculatus* (ミツボシクロスズメダイ)、*Plectroglyphidodon lacrymatus* (ルリホシズズメダイ)、*Plectroglyphidodon dickii* (イシガキスズメダイ)、*Pomachromis richardsoni* (オキナワズズメダイ)、*Plectroglyphidodon imparipennis* (イワサキスズメダイ)、*Plectroglyphidodon leucozonus* (ハクセスズメダイ)、*Chrysiptera rex* (レモンズズメダイ)、*Chrysiptera cyanea* (ルリスズメダイ)、*Chrysiptera unimaculata* (イチモンズズメダイ)、*Chrysiptera biocellata* (スジブチスズメダイ)、*Chrysiptera brownriggii* (ミヤコキセスズメダイ)、*Chrysiptera glauca* (ネズズズメダイ)、*Neoglyphidodon nigroris* (ヒレナガスズメダイ)、*Pomacentrus chrysurus* (オジロスズメダイ)、*Pomacentrus nagasakiensis* (ナガサキスズメダイ)、*Stegastes nigricans* (クロソラスズメダイ)、*Pseudodax moluccanus* (ブダイベラ)、*Choerodon fasciatus* (シチセンベラ)、*Bodianus oxycephalus* (キツネダイ)、*Bodianus bilunulatus* (キツネベラ)、*Anampses geographicus* (ムシベラ)、*Anampses meleagrides* (ホクトベラ)、*Anampses twistii* (ホシススキベラ)、*Anampses caeruleopunctatus* (ブチススキベラ)、*Cheilio inermis* (カマスベラ)、*Gomphosus varius* (クギベラ)、*Hemigymnus melapterus* (タレクチベラ)、*Hemigymnus fasciatus* (シマタレクチベラ)、*Labroides bicolor* (ソメワケベラ)、*Labroides dimidiatus* (ホンソメワケベラ)、*Pteragogus aurigarius* (オハグロベラ)、*Stethojulis maculata* (スミツキカミナリベラ)、*Stethojulis trilineata* (オニベラ)、*Stethojulis strigiventer* (ハラスジベラ)、*Stethojulis bandanensis* (アカオビベラ)、*Stethojulis interrupta terina* (カミナリベラ)、*Macropharyngodon meleagris* (ノドグロベラ)、*Thalassoma janseni* (ヤンセンニシキベラ)、*Thalassoma hardwicke* (セナスジベラ)、*Thalassoma amblycephalum* (コガシラベラ)、*Thalassoma quinquevittatum* (ハコベラ)、*Thalassoma purpureum* (キヌベラ)、*Thalassoma lutescens* (ヤマブキベラ)、*Thalassoma lunare* (オトメベラ)、*Thalassoma cupido* (ニシキベラ)、*Halichoeres hortulanus* (トカラベラ)、*Halichoeres scapularis* (セイテンベラ)、*Halichoeres trimaculatus* (ミツボシキュウセン)、*Halichoeres tenuispinis* (ホンベラ)、*Halichoeres melanocheir* (ムナテンベラ)、*Halichoeres marginatus* (カノコベラ)、*Halichoeres orientalis* (ツキベラ)、*Halichoeres margaritaceus* (アカニジベラ)、*Halichoeres nebulosus* (イナズマベラ)、*Pseudocoris yamashiroi* (ヤマシロベラ)、*Coris gaimard* (ツユベラ)、*Coris picta* (ムスメベラ)、

Hologymnosus amulatus (ナメラベラ)、*Cirrhilabrus cyanopleura* (クロヘリイトヒキベラ)、*Epibulus insidiator* (ギチベラ)、*Pseudocheilinus hexataenia* (ニセモチノウオ)、*Cheilinus chlorourus* (アカテンモチノウオ)、*Cheilinus trilobatus* (ミツバモチノウオ)、*Oxycheilinus unifasciatus* (ヒトスジモチノウオ)、*Oxycheilinus bimaculatus* (タコベラ)、*Novaculichthys taeniourus* (オビテンスモドキ)、*Zanclus cornutus* (ツノダシ)、*Zebbrasoma veliferum* (ヒレナガハギ)、*Paracanthurus hepatus* (ナンヨウハギ)、Gobiidae (ハゼ科) 全種、*Ptereleotris evides* (クロユリハゼ)、Blenniidae (イソギンポ科) 全種、*Pterois lunulata* (ミノカサゴ)、*Oxymonacanthus longirostris* (テングカワハギ)、*Ostracion cubicum* (ミナミハコフグ)、*Lactoria cornuta* (コンゴウフグ)、*Arothron nigropunctatus* (コクテンフグ)、*Canthigaster valentini* (シマキンチャクフグ)

◆棘皮動物

Certonardoa semiregularis (アカヒトデ)、*Toxopneustes pileolus* (ラッパウニ)、*Colobocentrotus mertensii* (ジンガサウニ)、*Heterocentrotus mammillatus* (パイプウニ)

◆刺胞動物

Millepora (アナサンゴモドキ属) 全種、*Tubipora* (クダサンゴ属) 全種、Clavulariidae (ウミヅタ科) 全種、Xeniidae (ウミアザミ科) 全種、Alcyoniidae (ウミトサカ科) 全種、Nephtheidae (チヂミトサカ科) 全種、Nidaliidae (タイマツトサカ科) 全種、*Heliopora* (アオサンゴ属) 全種、Anthothelidae (ネジレヤギ科) 全種、Subergorgiidae (ヒラヤギ科) 全種、Melithaeidae (イソバナ科) 全種、Parisididae (トクサモドキ科) 全種、Acanthogorgiidae (トゲヤギ科) 全種、Paramuriceidae (フタヤギ科) 全種、Plexauridae (ホソヤギ科) 全種、Ellisellidae (ムチヤギ科) 全種、Primnoidae (オオキンヤギ科) 全種、Isididae (トクササンゴ科) 全種、Veretillidae (ウミサボテン科) 全種、Echinoptilidae (トゲウミサボテン科) 全種、Kophobelemnidae (コンボウウミサボテン科) 全種、Funiculinidae (ムチウミサボテン科) 全種、Virgulariidae (ヤナギウミエラ科) 全種、Pteroeididae (トゲウミエラ科) 全種、Discosomatidae (イソギンチャクモドキ科) 全種、Actiniidae (ウメボシイソギンチャク

科) 全種、Boloceroididae (オヨギイソギンチャク科) 全種、Thalassianthidae (ケイトウイソギンチャク科) 全種、Actinodendronidae (ハナブサイソギンチャク科) 全種、Phymanthidae (ニチリンイソギンチャク科) 全種、Stichodactylidae (ハタゴイソギンチャク科) 全種、Isophellidae (イソフェリア科) 全種、Homathiidae (クビカザリイソギンチャク科) 全種、Sagartiidae (ナゲナワイソギンチャク科) 全種、Diadumenidae (タテジマイソギンチャク科) 全種、*Styboeniella* (ムカシサンゴ属) 全種、*Pocillopora* (ハナヤサイサンゴ属) 全種、*Seriatopora* (トゲサンゴ属) 全種、*Stylophora* (ショウガサンゴ属) 全種、*Acropora* (ミドリイシ属) 全種、*Astreopora* (アナサンゴ属) 全種、*Montipora* (コモンサンゴ属) 全種、*Alveopora* (アワサンゴ属) 全種、*Goniopora* (ハナガササンゴ属) 全種、*Porites* (ハマサンゴ属) 全種、*Coscinaraea* (ヤスリサンゴ属) 全種、*Psammocora* (アミメサンゴ属) 全種、*Coeloseris* (ヨロンキクメイシ属) 全種、*Leptoseris* (センベイサンゴ属) 全種、*Pachyseris* (リュウモンサンゴ属) 全種、*Pavona* (シコロサンゴ属) 全種、*Gardineroseris* (ヒラフキサンゴ属) 全種、*Ctenactis* (トゲクサビライシ属) 全種、*Cycloseris* (マンジュウイシ属) 全種、*Fungia* (クサビライシ属) 全種、*Herpolitha* (キュウリイシ属) 全種、*Lithophyllon* (カワラサンゴ属) 全種、*Podabacia* (ヤエヤマカワラサンゴ属) 全種、*Polyphyllia* (イシナマコ属) 全種、*Sandalolitha* (ヘルメットイシ属) 全種、*Galaxea* (アザミサンゴ属) 全種、*Echinophyllia* (キッカサンゴ属) 全種、*Mycedium* (ウスカミサンゴ属) 全種、*Oxypora* (アナキッカサンゴ属) 全種、*Physophyllia* (ウミバラ属) 全種、*Acanthastrea* (オオトゲキクメイシ属) 全種、*Australomussa* (ヒラサンゴ属) 全種、*Blastomussa* (タバサンゴ属) 全種、*Cynarina* (コハナガタサンゴ属) 全種、*Lobophyllia* (ハナガタサンゴ属) 全種、*Micromussa* (コオオトゲキクメイシ属) 全種、*Symphyllia* (ダイノウサンゴ属) 全種、*Hydnophora* (イボサンゴ属) 全種、*Merulina* (サザナミサンゴ属) 全種、*Scapophyllia* (オオサザナミサンゴ属) 全種、*Barabattoia* (バラバットサンゴ属) 全種、*Cyphastrea* (トゲキクメイシ属) 全種、*Favia* (キクメイシ属) 全種、*Favites* (カメノコキクメイシ属) 全種、*Echinopora* (リュウキュウキッカサンゴ属) 全種、*Goniastrea* (コカメノコキクメイシ属) 全種、*Leptastrea* (ルリサンゴ属) 全種、*Leptoria* (ナガレサンゴ属) 全種、*Montastrea* (マルキクメイシ属) 全種、*Oulastrea* (キクメイシモドキ属) 全種、*Oulophyllia* (オオナガレサンゴ属) 全種、*Platygyra* (ノウサンゴ属) 全種、*Plesiastrea* (コマルキクメイシ属) 全種、*Euphyllia* (ナガレハナサンゴ属)

	全種、 <i>Plerogyra</i> (ミズタマサンゴ属) 全種、 <i>Turbinaria</i> (スリパチサンゴ属) 全種、 <i>Zoanthidae</i> (スナギンチャク科) 全種、 <i>Antipathidae</i> (ウミカラムツ科) 全種、 <i>Cerianthidae</i> (ハナギンチャク科) 全種
--	---

(イ) 普通地域

普通地域の区域は次のとおりである。

(表 13：普通地域表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)
鹿児島県	奄美市住用町 大字石原、大字神屋、大字西仲間及び大字役勝の各一部	250 国 0 公 1 私 72 不 177
	大島郡瀬戸内町 大字嘉徳、大字実久、大字諸鈍、大字武名及び大字渡連の各一部	84 国 0 公 0 私 7 不 77
	大島郡龍郷町 大字秋名、大字安木屋場及び大字幾里の各一部	118 国 0 公 0 私 8 不 110
	奄美大島小計	452 国 0 公 1 私 87 不 364
	大島郡喜界町 大字阿伝、大字浦原、大字大朝戸、大字嘉鈍、大字川嶺、大字花良治、大字白水、大字滝川及び大字西目の各一部	623 国 0 公 125 私 89 不 409
	喜界島小計	623 国 0 公 125 私 89 不 409

都道府県名	区 域	面積 (ha)
	大島郡徳之島町 大字金見の一部	7 〔 国 0 〕 公 0 私 0 不 7
	大島郡伊仙町 大字伊仙、大字犬田布、大字面縄、大字検福、大字小島、大字崎原、大字中山、大字馬根及び大字古里の各一部	309 〔 国 95 〕 公 9 私 67 不 138
	徳之島小計	316 〔 国 95 〕 公 9 私 67 不 145
	大島郡知名町 大字田皆の一部	1 〔 国 0 〕 公 0 私 0 不 1
	沖永良部島小計	1 〔 国 0 〕 公 0 私 0 不 1
	大島郡与論町 大字麦屋の一部	1 〔 国 0 〕 公 0 私 0 不 1

都道府県名	区 域	面積 (ha)										
	与論島小計	1 <table border="1"> <tr><td>国</td><td>0</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>0</td></tr> <tr><td>不</td><td>1</td></tr> </table>	国	0	公	0	私	0	不	1		
国	0											
公	0											
私	0											
不	1											
陸域合計		1,393										
陸域公園区域の地先海面の一部		31,974										
	合 計	33,367 <table border="1"> <tr><td>国</td><td>95</td></tr> <tr><td>公</td><td>135</td></tr> <tr><td>私</td><td>243</td></tr> <tr><td>不</td><td>920</td></tr> <tr><td>海</td><td>31,974</td></tr> </table>	国	95	公	135	私	243	不	920	海	31,974
国	95											
公	135											
私	243											
不	920											
海	31,974											

エ 面積内訳

(ア) 地域地区別土地所有面積

(表 14：地域地区別土地所有面積総括表)

(群島全体)

(単位：面積ha、比率%)

地域区分	特別地域																普通地域 (陸域)				合計 (陸域)				普通地域 (海域)※	海域公園 地区※	合計 (海域)※
	特別保護地区				第1種				第2種				第3種														
土地所有別	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不			
土地所有別面積	1,785	322	3,009	113	3,371	2,729	2,724	309	1,718	6,082	15,972	1,446	67	284	441	529	95	135	243	920	7,036	9,552	22,389	3,317			
地種区分別面積 (比率)					9,133 (21.6)				25,218 (59.6)				1,321 (3.1)														
地域地区別面積 (比率)	5,229 (12.4)												35,672 (84.3)														
地域別面積 (比率)									40,901 (96.7)				1,393 (3.3)				42,294 (100.0)				31,974	9ヶ所 1,125	33,099				

※海域は国の所有に属する公有水面であり、県別島嶼別に面積を示すことはできないため、奄美群島国立公園全体の数値を示している。

(奄美大島)

地域区分	特別地域																普通地域 (陸域)				合計 (陸域)			
	特別保護地区				第1種				第2種				第3種											
土地所有別	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不
土地所有別面積	429	322	2,941	113	2,533	2,669	2,497	40	821	5,642	14,275	1,220	26	194	245	60	0	1	87	364	3,809	8,828	20,045	1,797
地種区分別面積 (比率)					7,739 (22.4)				21,958 (63.7)				525 (1.5)											
地域地区別面積 (比率)	3,805 (11.0)												30,222 (87.7)											
地域別面積 (比率)									34,027 (98.7)				452 (1.3)				34,479 (100.0)							

(喜界島)

地域区分		特別地域																普通地域 (陸域)				合計 (陸域)			
地種区分		特別保護地区				第1種				第2種				第3種											
土地所有別		国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不
鹿児島県	土地所有別面積	0	0	0	0	0	1	159	101	0	0	0	0	0	32	11	48	0	125	89	409	0	158	259	558
	地種区分別面積 (比率)					261 (26.8)				0 (0.0)				91 (9.3)											
	地域地区別面積 (比率)	0 (0.0)												352 (36.1)											
	地域別面積 (比率)													352 (36.1)				623 (63.9)				975 (100.0)			

(徳之島)

地域区分		特別地域																普通地域 (陸域)				合計 (陸域)			
地種区分		特別保護地区				第1種				第2種				第3種											
土地所有別		国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不
鹿児島県	土地所有別面積	1,356	0	68	0	838	51	67	64	897	263	1,689	174	41	42	64	141	95	9	67	145	3,227	365	1,955	524
	地種区分別面積 (比率)					1,020 (16.8)				3,023 (49.8)				288 (4.7)											
	地域地区別面積 (比率)	1,424 (23.5)												4,331 (71.3)											
	地域別面積 (比率)													5,755 (94.8)				316 (5.2)				6,071 (100.0)			

(沖永良部島)

地域区分		特別地域												普通地域 (陸域)				合計 (陸域)							
地種区分		特別保護地区				第1種				第2種				第3種											
土地所有別		国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不
鹿児島県	土地所有別面積	0	0	0	0	0	8	0	72	0	177	8	52	0	0	112	213	0	0	0	1	0	185	120	338
	地種区分別面積 (比率)					80 (12.4)				237 (36.9)				325 (50.6)											
	地域地区別面積 (比率)	0 (0.0)												642 (99.8)											
	地域別面積 (比率)													642 (99.8)				1 (0.2)				643 (100.0)			

(与論島)

地域区分		特別地域												普通地域 (陸域)				合計 (陸域)							
地種区分		特別保護地区				第1種				第2種				第3種											
土地所有別		国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不
鹿児島県	土地所有別面積	0	0	0	0	0	0	1	32	0	0	0	0	0	16	9	67	0	0	0	1	0	16	10	100
	地種区分別面積 (比率)					33 (26.2)				0 (0.0)				92 (73.0)											
	地域地区別面積 (比率)	0 (0.0)												125 (99.2)											
	地域別面積 (比率)													125 (99.2)				1 (0.8)				126 (100.0)			

(表 15 : 地域地区別市町村別面積総括表)

市町村名	地域地区		特別地域					普通地域 (陸域)	合計 (陸域)	普通地域 (海域) ※	海域公園地区 ※	合計 (海域) ※
	特保	第1種	第2種	第3種	小計							
鹿児島県	奄美市		2,304	3,104	6,932	469	12,809	250	13,059			
	大島郡	大和村	573	1,007	3,693	56	5,329	0	5,329			
		宇検村	141	1,941	2,065		4,147	0	4,147			
		瀬戸内町	787	1,648	6,828		9,263	84	9,347			
		龍郷町		39	2,440		2,479	118	2,597			
		喜界町		261		91	352	623	975			
		徳之島町	741	229	1,751	193	2,914	7	2,921			
		天城町	683	562	1,132	82	2,459	0	2,459			
		伊仙町		229	140	13	382	309	691			
		和泊町		57			57	0	57			
		知名町		23	237	325	585	1	586			
	与論町		33		92	125	1	126				
合計		5,229	9,133	25,218	1,321	40,901	1,393	42,294	31,974	1,125	33,099	

※海域は国の所有に属する公有水面であり、県別島嶼別に面積を示すことはできないため、奄美群島国立公園全体の数値を示している。

3 事業計画

(1) 施設計画

ア 保護施設計画

保護施設計画を次のとおりとする。

(表 16 : 保護施設表)

番号	種類	位置	整備方針
1	自然再生施設	鹿児島県奄美市並びに大島郡大和村、宇検村、瀬戸内町及び龍郷町	若齢照葉樹林等について、高齢照葉樹林への再生・誘導を図る。
2	自然再生施設	鹿児島県大島郡徳之島町、天城町及び伊仙町	若齢照葉樹林等について、高齢照葉樹林への再生・誘導を図る。
3	自然再生施設	鹿児島県大島郡与論町	礁池内について、サンゴ群集等の再生を図る。

イ 利用施設計画

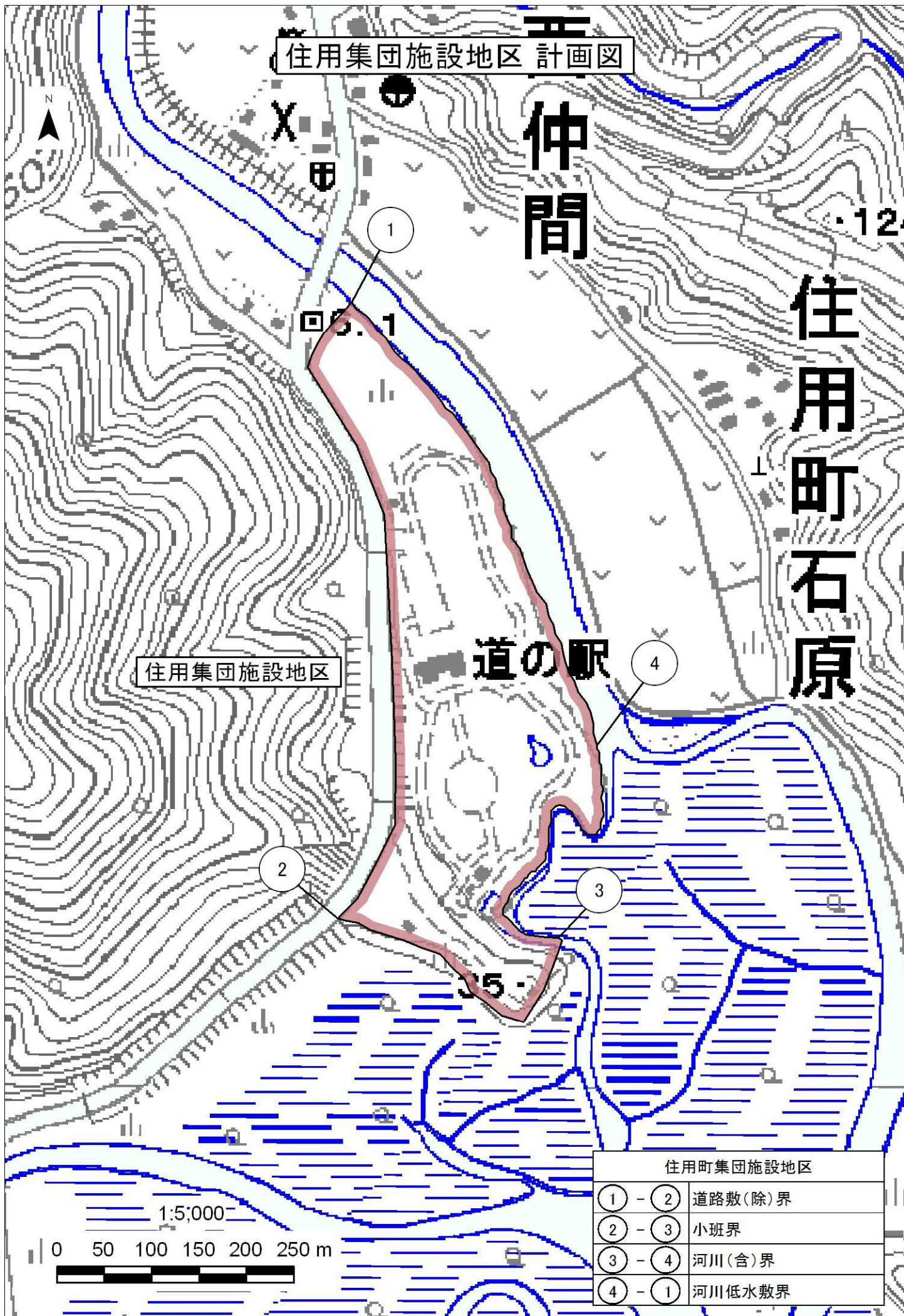
(ア) 集団施設地区

集団施設地区を次のとおりとする。

(表 17：集団施設地区表)

番号	名称	区域	計画目標	整備計画区 及び基盤施設	整備方針			面積 (ha)
					国	公	私	
1	住用	鹿児島県奄美市住用町 大字西中間の一部	<p>本地区は、住用川及び役勝川の河口に発達するマングローブに隣接し、国道 58 号沿線に位置するなど利用拠点としての立地に適している。</p> <p>マングローブや亜熱帯照葉樹林等における自然探勝をはじめとする適正利用を推進する拠点として、一体的な整備を図る。</p>	住用整備計画区	<p>隣接するマングローブの特徴的な景観を維持し、カーンによる自然探勝など適正な利用を推進するため、博物展示施設を含めた拠点施設を整備する。</p> <p>展望に適した場所には展望施設や園地等を配置するとともに、利用状況等を踏まえ適正な規模の駐車場やトイレ等を確保する。</p> <p>施設の整備に当たっては、周囲の風致景観との調和を図るとともに、ユニバーサルデザインの導入等を推進する。</p>			11.0
								面積計
					0.0	0.9	0.6	9.5
								11.0

住用集団施設地区 計画図



(イ) 単独施設

単独施設を次のとおりとする。

(表 18：単独施設表)

番号	種類	位置	整備方針
1	園地	鹿児島県奄美市笠利町（蒲生崎）	笠利湾や笠利崎の展望や海岸林内の散策のため、展望台や園路を整備する。
2	園地	鹿児島県奄美市笠利町（あやまる岬）	笠利崎からあやまる岬まで連続する裾礁の景観展望や礁池内での自然観察等のために海岸植生の保護に留意して展望台等を整備する。
3	水泳場	鹿児島県奄美市笠利町（崎原海岸）	海水浴利用等のためのトイレ、シャワー等を整備する。
4	園地	鹿児島県奄美市笠利町（土盛海岸）	海水浴等のための駐車場、トイレ、シャワー等を、海鳥の繁殖地の保護に留意して整備する。
5	宿舎	鹿児島県奄美市笠利町（土盛海岸）	土盛海岸をはじめとする奄美大島北部海岸等の公園利用者の宿泊施設としてウミガメの生息に留意して整備する。
6	園地	鹿児島県奄美市笠利町（大瀬海岸）	干潟に飛来する鳥類の観察のためにトイレ、駐車場等を整備する。

番号	種類	位置	整備方針
7	園地	鹿児島県奄美市（大浜）	市街地から最も近い利用拠点としてトイレ、駐車場、休憩所等をウミガメの生息に留意して整備する。
8	野営場	鹿児島県奄美市（大浜）	海水浴利用やデイキャンプ利用のために炊事場、野外炉、トイレ等をウミガメの生息に留意して整備する。
9	博物展示施設	鹿児島県奄美市（大浜）	大浜の公園利用者が奄美の海の自然について理解を深めることができるよう解説・展示施設をウミガメの生息に留意して整備する。
10	園地	鹿児島県奄美市（金作原）	亜熱帯照葉樹林の景観を体験できるよう園路等を動植物の生息・生育環境に留意して整備する。
11	園地	鹿児島県大島郡大和村（福元北）	亜熱帯照葉樹林の広がりを見望できる展望施設等を整備する。
12	園地	鹿児島県大島郡大和村（福元）	湯湾岳をはじめとする周辺の森林や河川等での自然体験利用の拠点施設として、また、手軽に奄美の森林地域の自然にふれあえる施設として動植物の生息・生育環境に留意して整備する。

番号	種類	位置	整備方針
13	野営場	鹿児島県大島郡大和村（福元）	森の中でゆっくりとくつろげる施設として、利用上の安全や動植物の生息・生育環境に留意して整備する。
14	園地	鹿児島県大島郡宇検村（湯湾岳）	湯湾岳登山の出発地点として、トイレや休憩舎等を動植物の生息・生育環境に留意して整備する。
15	園地	鹿児島県大島郡瀬戸内町（油井岳）	大島海峡を展望する視点場として、展望台、トイレ等を整備する。
16	園地	鹿児島県大島郡瀬戸内町（高知山）	大島海峡を展望する視点場として、展望台、トイレ等を整備する。
17	園地	鹿児島県大島郡瀬戸内町（ホノホシ海岸）	ホノホシ海岸利用者のために駐車場、トイレ、園路等を海岸植生の保護に留意して整備する。
18	宿舎	鹿児島県大島郡瀬戸内町（ヤドリ浜）	奄美大島南部地域等の公園利用者の宿泊施設として整備する。

番号	種類	位置	整備方針
19	水泳場	鹿児島県大島郡瀬戸内町(ヤドリ浜)	海水浴利用等のためのトイレ、シャワー等を整備する。
20	園地	鹿児島県大島郡瀬戸内町加計呂麻島 (安脚場)	大島海峡を展望する視点場として、展望台、園路、トイレ等を整備する。
21	園地	鹿児島県大島郡瀬戸内町加計呂麻島 (待網崎)	大島海峡を展望する視点場として、展望台、園路、トイレ等を整備する。
22	園地	鹿児島県大島郡龍郷町(長雲峠)	園路や笠利湾を展望する展望台等を動植物の生息・生育環境に留意して整備する。
23	博物展示施設	鹿児島県大島郡龍郷町(長雲峠)	亜熱帯照葉樹林の自然等を学ぶことができ、かつ森林地域の利用上の注意事項等の情報提供を行う「奄美の森林利用の玄関口」としての機能を有する施設を整備する。
24	園地	鹿児島県大島郡喜界町(志戸桶海岸)	志戸桶海岸をはじめとする北部海岸地域での公園利用者のためにトイレ等を整備する。

番号	種類	位置	整備方針
25	園地	鹿児島県大島郡喜界町(百之台公園)	段丘斜面、耕作地、集落及び隆起裾礁の海岸が一望できる視点場として、展望台やトイレ等を整備する。
26	園地	鹿児島県大島郡喜界町(荒木海岸)	荒木海岸道路(歩道)の中間地点休憩場所として、トイレ等を整備する。
27	園地	鹿児島県大島郡喜界町(中西公園)	段丘斜面、耕作地、集落及び隆起裾礁の海岸が一望できる視点場として、利用者のために展望台、芝生広場、トイレ等を整備する。
28	園地	鹿児島県大島郡徳之島町(金見崎)	ソテツ群落の探勝や徳之島最北端からの展望を楽しむため、展望台、園路等を整備する。
29	園地	鹿児島県大島郡徳之島町(畦海岸)	海水浴や礁池内での自然観察等のため、駐車場、芝生広場、園路等を整備する。
30	野営場	鹿児島県大島郡徳之島町(畦海岸)	海水浴利用等のために炊事場、野外炉、トイレ等を整備する。

番号	種類	位置	整備方針
31	園地	鹿児島県大島郡天城町（ムシロ瀬）	露出した花崗岩の海岸景観を展望するための園路、トイレ等を整備する。
32	園地	鹿児島県大島郡天城町（犬の門蓋）	周遊観光者が海食崖等の海岸景観を展望するための園路、トイレ等を整備する。
33	園地	鹿児島県大島郡伊仙町（小原海岸）	周遊観光者が鍾乳洞や海食崖等の景観を展望するための園路、展望台、トイレ等を整備する。
34	園地	鹿児島県大島郡伊仙町（犬田布岬）	周遊観光者が海食崖等の海岸景観を展望するための展望台、トイレ等を整備する。
35	園地	鹿児島県大島郡伊仙町（義名山）	徳之島南部の森林地域での自然観察等のため、園路、トイレ等を整備する。
36	園地	鹿児島県大島郡伊仙町（喜念浜）	海水浴や礁池内での自然観察等のため、駐車場、園路等を整備する。
37	野営場	鹿児島県大島郡伊仙町（喜念浜）	海水浴利用等のために炊事場、野外炉、トイレ等を整備する。

番号	種類	位置	整備方針
38	園地	鹿児島県大島郡和泊町（フォーチャ）	周遊観光者のため、園路、トイレ等を整備する。
39	園地	鹿児島県大島郡知名町（田皆岬）	周遊観光者のため、園路、トイレ等を整備する。
40	野営場	鹿児島県大島郡知名町（沖泊海岸）	ゆっくりと海水浴や礁池内での自然観察等を楽しむ利用者のため、炊事棟、トイレ、シャワー、広場等を整備する。
41	園地	鹿児島県大島郡知名町（昇竜洞）	鍾乳洞利用者のため、駐車場等を整備する。
42	園地	鹿児島県大島郡知名町（屋子母海岸）	周遊観光者のため、トイレ、東屋等を整備する。
43	園地	鹿児島県大島郡与論町（大金久海岸）	大金久海岸や百合が浜の利用者のため、駐車場、案内所等を整備する。
44	野営場	鹿児島県大島郡与論町（大金久海岸）	与論島の海域利用者等のため、テントサイト（簡易宿泊施設を含む）、トイレ、シャワー等を整備する。

(ウ) 道路

a 車道

車道を次のとおりとする。

(表 19：道路（車道）表)

番号	路線名	区間	主要 経過地	整備方針
1	笠利崎線	起点－鹿児島県奄美市（笠利町用・国立公園境界） 終点－鹿児島県奄美市（笠利崎）	用海岸	奄美大島最北端である笠利崎や用海岸に至るルートとして、海岸部の風致維持に留意して整備・維持管理を図る。
2	大浜海浜公園線	起点－鹿児島県奄美市（名瀬大浜・国立公園境界） 終点－鹿児島県奄美市（大浜）	大浜海岸	市街地である名瀬から最も近い利用拠点である大浜に至るルートとして、海岸部の風致維持に留意して整備・維持管理を図る。
3	金作原線	起点－鹿児島県奄美市（知名瀬・国立公園境界） 終点－鹿児島県奄美市（里・国立公園境界）	金作原	森林部の主要な利用拠点である金作原に至るルートとして、動植物の生息・生育環境や自動車利用の適正化に留意して整備・維持管理・運用を図る。
4	朝戸網野子線	起点－鹿児島県奄美市（朝戸・国立公園境界） 終点－鹿児島県奄美市（住用町和瀬・国立公園境界） 起点－鹿児島県奄美市（住用町見里・国立公園境界） 終点－鹿児島県大島郡瀬戸内町（網野子・国立公園境界）	住用マングローブ	中部の森林地域と南部の森林地域を結ぶルートとして、動植物の生息・生育環境に留意して整備・維持管理を図る。
5	湯湾新村線	起点－鹿児島県奄美市住用町（国道分岐） 終点－鹿児島県大島郡宇検村（湯湾・国立公園境界）		太平洋側と東シナ海側を結ぶルートとして、路側帯からの展望景観、動植物の生息・生育環境に留意して整備・維持管理を図る。
6	福元線	起点－鹿児島県大島郡大和村（大柵・国立公園境界） 終点－鹿児島県大島郡大和村（福元）	小川岳	利用拠点である奄美フォレストポリスに至るルートとして、路傍からの展望、動植物の生息・生育環境に留意して整備・維持管理を図る。
7	大柵湯湾線	起点－鹿児島県大島郡大和村（大柵・国立公園境界） 終点－鹿児島県大島郡大和村（大柵・国立公園境界） 終点－鹿児島県大島郡宇検村（湯湾岳登山口） 終点－鹿児島県大島郡宇検村（湯湾・国立公園境界）	湯湾岳	森林部の利用拠点である湯湾岳に至るルートとして、動植物の生息・生育環境に留意して整備・維持管理を図る。
8	篠川下福線	起点－鹿児島県大島郡瀬戸内町（県道 85 号分岐） 終点－鹿児島県大島郡瀬戸内町（篠川・国立公園境界）		中南部の森林地域と大島海峡地域を結ぶルートとして、希少な動植物の生息・生育環境に留意して整備・維持管理を図る。
9	油井岳高知山線	起点－鹿児島県大島郡瀬戸内町（地蔵峠・国立公園境界） 終点－鹿児島県大島郡瀬戸内町（高知山） 終点－鹿児島県大島郡瀬戸内町（油井岳）	油井岳、高知山	大島海峡の主要な視点場である油井岳及び高知山に至るルートとして路側帯の視点場からの展望に留意して整備・維持管理を図る。

番号	路線名	区間	主要 経過地	整備方針
10	奄美自然観察の森 線	起点－鹿児島県大島郡龍郷町（瀬留・国立公園境界） 終点－鹿児島県大島郡龍郷町（奄美自然観察の森） 起点－鹿児島県大島郡龍郷町（嘉渡・国立公園境界） 終点－鹿児島県大島郡龍郷町（久場・長雲峠十字分岐点）	奄美自然観察の森	奄美自然観察の森に至るルートとして、動植物の生息・生育環境に留意して整備・維持管理を図る。
11	百之台線	起点－鹿児島県大島郡喜界町（川嶺・国立公園境界） 終点－鹿児島県大島郡喜界町（滝川・国立公園境界） 起点－鹿児島県大島郡喜界町（花良治・国立公園境界） 終点－鹿児島県大島郡喜界町（中西公園分岐点）	百之台	百之台段丘斜面上の展望台等の利用拠点や夫婦ガジュマルをはじめとする興味地点へ至るルートとして、視点場からの展望に留意して整備・維持管理を図る。

b 歩道

歩道を次のとおりとする。

(表 20：道路（歩道）表)

番号	路線名	区間	主要 経過地	整備方針
1	金作原線	起点－鹿児島県奄美市（知名瀬林道終点） 終点－鹿児島県奄美市（金作原）	金作原国有林	奄美大島中南部の亜熱帯照葉樹林の核心部を通過するルートで、亜熱帯照葉樹林の景観を堪能できる歩道として、動植物の生息・生育環境に留意して整備・維持管理を図る。 【歩道分類：探勝歩道】
2	宮古崎線	起点－鹿児島県大島郡大和村（国直・国立公園境界） 終点－鹿児島県大島郡大和村（宮古崎）		国直集落から宮古崎に至る歩道として、宮古崎のササ原の景観等に留意して整備・維持管理を図る。 【歩道分類：探勝歩道】
3	湯湾岳登山線	起点－鹿児島県大島郡宇検村（登山口） 終点－鹿児島県大島郡大和村宇検村（湯湾岳山頂） 終点－鹿児島県大島郡大和村（登山口）	湯湾岳	奄美大島の森林地域の核心部の一つである湯湾岳登山のための歩道として、奄美大島の森林地域の自然を堪能・学習できるよう、動植物の生息・生育環境の保護等に留意して整備・維持管理を図る。 【歩道分類：登山道等】
4	荒木海岸線	起点－鹿児島県大島郡喜界町（中里） 終点－鹿児島県大島郡喜界町（荒木集落・国立公園境界）	荒木海岸	荒木海岸の隆起珊瑚礁原と後背植生地を通る歩道として、喜界島の海岸の地形や植生の保護等に留意して整備・維持管理を図る。 【歩道分類：探勝歩道】
5	松原線	起点－鹿児島県大島郡天城町（登山口・国立公園境界） 終点－鹿児島県大島郡天城町（天城岳山腹）		徳之島の森林地域の核心部の一つである天城岳山腹を探勝するための歩道として、徳之島の森林地域の自然を堪能・学習できるよう、動植物の生息・生育環境の保護等に留意して整備・維持管理を図る。 【歩道分類：登山道】
6	三京線	起点－鹿児島県大島郡天城町（三京国有林入口） 終点－鹿児島県大島郡天城町（三京国有林）		オキナワウラジロガシ等で構成される高齢の亜熱帯照葉樹林を探勝する歩道として、動植物の生息・生育環境の保護等に留意して整備・維持管理を図る。【歩道分類：探勝歩道】